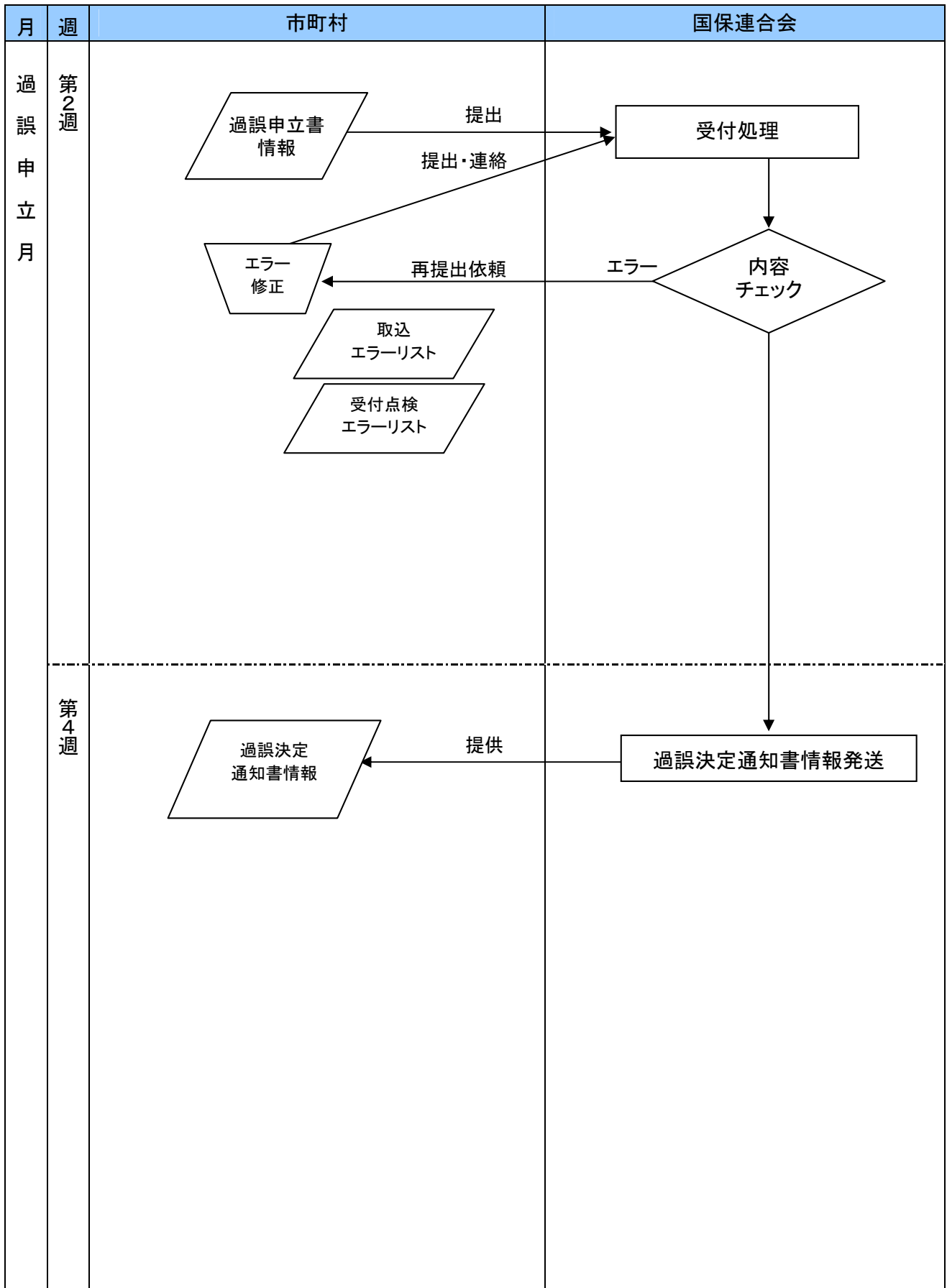


過誤申立書情報受け渡し概要図



## 2. 2 インタフェース一覧

### 2. 2. 1 都道府県等審査用資料情報（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	B711	事務点検結果票情報	全体の正常・警告・エラー件数等の結果情報	国保連合会 → 市町村	月次	伝送
(2)	B721	点検済障害児通所給付費・入所給付費等請求書情報	点検結果を付加した障害児通所給付費・入所給付費等請求書情報	国保連合会 → 市町村	月次	伝送
(3)	B731	点検済明細書等情報	点検結果を付加した明細書等情報	国保連合会 → 市町村	月次	伝送
(4)	B741	点検済障害児相談支援給付費請求書情報	点検結果を付加した障害児相談支援給付費請求書情報（基本情報レコードのみ）サービス提供年月が平成 24 年 4 月以降使用	国保連合会 → 市町村	月次	伝送
(5)	B742	点検済特例障害児相談支援給付費請求書情報	点検結果を付加した特例障害児相談支援給付費請求書情報（基本情報レコードのみ）サービス提供年月が平成 24 年 4 月以降使用	国保連合会 → 市町村	月次	伝送
(6)	B751	点検済特例障害児通所給付費等請求書情報	点検結果を付加した特例障害児通所給付費等請求書情報 サービス提供年月が平成 24 年 4 月以降使用	国保連合会 → 市町村	月次	伝送
(7)	B7A1	事務点検結果票	全体の正常・警告・エラー件数等の結果票	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(8)	B7B1	エラー一覧表	エラー対象者のエラー内容一覧表	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(9)	B7C1	警告一覧表	警告対象者の警告一覧表	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(10)	B7D1	支給量オーバーチェックリスト	決定支給量を超過している対象者一覧表	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(11)	B7E1	請求時効該当確認リスト	請求時効該当確認のリスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(12)	B7F1	時効却下リスト	時効却下のリスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF

### 2. 2. 2 都道府県等審査結果資料情報（入力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	B811	審査結果票情報	事務点検結果票情報に審査結果を付加した結果情報	市町村 → 国保連合会	月次	伝送
(2)	B821	審査結果一覧情報	明細書単位の審査結果の情報	市町村 → 国保連合会	月次	伝送

### 2. 2. 3 都道府県等請求情報（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	B9A1	障害児給付費等払込請求書	市町村が国保連合会へ納入するための払込請求書	国保連合会 → 市町村	月次	帳票
(2)	B9B1	障害児給付費等払込請求書内訳表	障害児給付費等払込請求書の内訳表	国保連合会 → 市町村	月次	帳票
(3)	B9C1	障害児給付費等支払手数料払込請求書	市町村が支払手数料を国保連合会へ納入するための払込請求書	国保連合会 → 市町村	月次	帳票
(4)	B9D1	障害児給付費等請求額通知書	市町村へサービス種類毎の請求決定額を通知するための帳票情報	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(5)	B9E1	障害児給付費等決定請求明細表	市町村へ障害児施設及びサービス種類毎の請求決定額を通知するための帳票情報	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(6)	B9F1	返戻等一覧表	返戻対象者、返戻要因の一覧表	国保連合会 → 市町村	月次	PDF

### 2. 2. 4 過誤申立書情報（入力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	BA11	過誤申立書情報	過誤を申立てるための理由と対象となる給付実績を特定するための情報を記載した情報	市町村 → 国保連合会	月次	伝送

### 2. 2. 5 過誤決定通知書情報（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	BBA1	過誤決定通知書	市町村へ過誤調整を行った結果を通知するための情報	国保連合会 → 市町村	月次	PDF

### 2. 2. 6 取込エラーリスト（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	BEA1	審査結果票情報取込エラーリスト	審査結果票情報取込時のエラーリスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(2)	BEB1	審査結果一覧情報取込エラーリスト	審査結果一覧情報取込時のエラーリスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(3)	BEC1	過誤申立書情報取込エラーリスト	過誤申立書情報取込時のエラーリスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF

## 2. 2. 7 受付点検エラーリスト（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	BFA1	審査結果票情報 受付点検エラーリスト	審査結果票情報受付点検時のエラーリスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(2)	BFB1	審査結果一覧情報 受付点検エラーリスト	審査結果一覧情報受付点検時のエラーリスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(3)	BFC1	過誤申立書情報 受付点検エラーリスト	過誤申立書情報受付点検時のエラーリスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF

## 2. 3 項目説明

本節では、「インタフェース仕様書 共通編 1. 2. 2(2)レコードフォーマット」のデータレコードフォーマットにおいて“データ”として記載されている項目の各交換情報のインタフェースについて記載する。

なお、障害児入所支援に関するインタフェースの項目説明は、インタフェース仕様書都道府県編を参照。

### 2. 3. 1 都道府県等審査用資料情報（出力情報）

#### (1) 事務点検結果票情報（B711）

##### ① 基本情報レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象 項目 (※1)	備考		
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B		
2	レコード種別コード	コード値	2	01を設定する(基本情報)	◎			
3	証記載都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号を設定する	◎	※C		
4	証記載都道府県等名	漢字	40	受給者証に記載された市町村名を設定する	◎			
5	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y		
6	計	点検件数	数値	12	点検件数を設定する	◎		
7		正常件数	数値	12	件数を設定する	◎		
8		警告件数	数値	12	件数を設定する	◎		
9		エラー件数	数値	12	件数を設定する	◎		
10		請求 額	給付費	数値	12	給付費を設定する	◎	
11			特別対策費	数値	12	特別対策費を設定する	○	※2
12			自治体助成分 請求額	数値	12	自治体助成分請求額を設定する	○	
13			高額障害児通所給 付費	数値	12	高額障害児通所給付費を設定する	○	
14	審査年月日	コード値	8	市町村審査年月日(西暦年月日 YYYYMMDD)を設定する		※Y		

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:サービス提供年月が平成25年4月以降は、設定しない。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

② 明細情報レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象 項目 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	レコード種別コード	コード値	2	02を設定する(明細情報)	◎	
3	証記載都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号を設定する	◎	※C
4	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y
5	明細行区分コード	コード値	2	明細行区分を設定する	◎	※2
6	点検件数	数値	12	点検件数を設定する	◎	
7	正常件数	数値	12	件数を設定する	◎	
8	警告件数	数値	12	件数を設定する	◎	
9	エラー件数	数値	12	件数を設定する	◎	
10	請求額 給付費	数値	12	給付費を設定する	◎	
11	特別対策費	数値	12	特別対策費を設定する	○	※3
12	自治体助成分 請求額	数値	12	自治体助成分請求額を設定する	○	
13	高額障害児通所給付費	数値	12	高額障害児通所給付費を設定する	○	

※1: 出力対象項目 ◎: 出力対象項目、○: 請求内容により出力対象となる項目

△: 事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白: 出力対象外項目

※2: 明細行区分コード

01: 給付費
03: 過誤調整
04: サービス提供実績記録票
05: 利用者負担上限額管理票
06: 特例障害児通所給付費(サービス提供年月が平成24年4月以降使用)
07: 障害児相談支援給付費(サービス提供年月が平成24年4月以降使用)
08: 特例障害児相談支援給付費(サービス提供年月が平成24年4月以降使用)

※3: サービス提供年月が平成25年4月以降は、設定しない。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

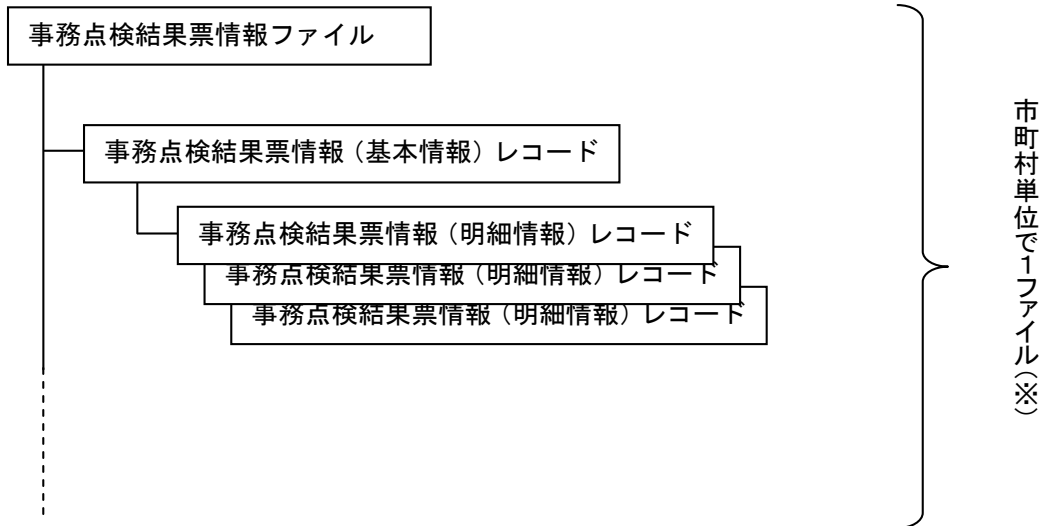
※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

## 事務点検結果票情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



※政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、  
政令市単位で1ファイルとする

- (2) 点検済障害児通所給付費・入所給付費等請求書情報 (B721)  
 点検済特例障害児通所給付費等請求書情報 (B751)

各請求書情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

- 1 : 基本情報レコード  
市町村、請求サービス事業所および請求金額等に関する情報を格納する。
- 2 : 明細情報レコード(複数レコード)  
サービス種類ごとの請求件数、単位数、利用者負担額、市町村請求額等を格納する。

① 基本情報レコード

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象項目 (※1)		備考
						B721	B751	
1	交換情報識別番号		英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	※B
2	レコード種別コード		コード 値	2	01を設定する(基本情報レコード)	◎	◎	
3	サービス提供年月		コード 値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	◎	※Y
4	都道府県等番号		コード 値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデジット1桁含む)	◎	◎	※C
5	事業所番号		コード 値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	※C
6	請求金額		数値	10	請求金額を設定する 請求金額=合計 給付費請求額+合計 特別対策費請求額+合計 自治体助成額	◎	◎	
7	小計 障害児給付費・ 特例障害児通所給付費	件数	数値	6	小計 件数	◎	◎	
8		単位数	数値	9	小計 単位数	◎	◎	
9		費用合計	数値	10	小計 費用合計	◎	◎	
10		給付費請求額	数値	10	小計 給付費請求額	◎	◎	
11		特別対策費請求額	数値	10	小計 特別対策費請求額	○	○	※2
12		利用者負担額	数値	10	小計 利用者負担額	◎	◎	
13		自治体助成額	数値	10	小計 自治体助成額	○	○	



項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象項目 (※1)		備考	
					B721	B751		
14	小計 費・高額障害児通所給付費 特定入所障害児食費等給付	件数	数値	6	小計 件数	○	○	
15		費用合計	数値	10	小計 費用合計	○		
16		給付費 請求額	数値	10	小計 給付費請求額	○	○	
17	合計	件数	数値	6	合計 件数	◎	◎	
18		単位数	数値	9	合計 単位数	◎	◎	
19		費用合計	数値	10	合計 費用合計	◎	◎	
20		給付費 請求額	数値	10	合計 給付費請求額	◎	◎	
21		特別対策費請求額	数値	10	合計 特別対策費請求額	○	○	※2
22		利用者負担額	数値	10	合計 利用者負担額	◎	◎	
23		自治体 助成額	数値	10	合計 自治体助成額	○	○	
24	受付年月	コード 値		6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	◎	※Y
25	点検結果	コード 値		1	点検結果を設定する	◎	◎	1:正常 2:警告 3:エラー

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:サービス提供年月が平成25年4月以降は、設定しない。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

② 明細情報レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象項目(※1)			備考
					給付種別=1		給付種別=2	
					B721 B751	B721 (地域)	B751	
1	交換情報 識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	◎	※B
2	レコード 種別コード	コード値	2	02を設定する(明細情報レコード)	◎	◎	◎	
3	サービス 提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	◎	◎	※Y
4	都道府県等番 号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号 (チェックデジット1桁含む)	◎	◎	◎	※C
5	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	◎	※C
6	給付種別	コード値	1	請求書における給付の種別を表す 1:障害児通所給付費、特例障害 児通所給付費 2:高額障害児通所給付費	◎	◎	◎	
7	サービス 種類コード	コード値	2	サービス種類コード	◎	◎	◎	※C
8	件数	数値	6	サービス種類毎の明細書の件数	◎	◎	○	
9	単位数	数値	9	サービス種類毎の単位数	◎	◎		
10	費用合計	数値	10	サービス種類毎の費用の額	◎ ※2	◎ ※2		
11	給付費請求額	数値	10	サービス種類毎の給付費請求額	◎	◎	○	
12	特別対策費請 求額	数値	10	サービス種類毎の特別対策費請求 額	○			※3
13	利用者負担額	数値	10	サービス種類毎の利用者負担額 (自治体助成がある場合、明細書 の決定利用者負担額から自治体助 成額を控除した額を設定する)	◎	◎		
14	自治体助成額	数値	10	サービス種類毎の自治体助成額	○			
15	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	◎	◎	※Y
16	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	◎	◎	◎	1:正常 2:警告 3:エラー

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:明細書における、サービス種類ごとの総費用額(100/100の額)の合計となる。

※3:サービス提供年月が平成25年4月以降は、設定しない。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

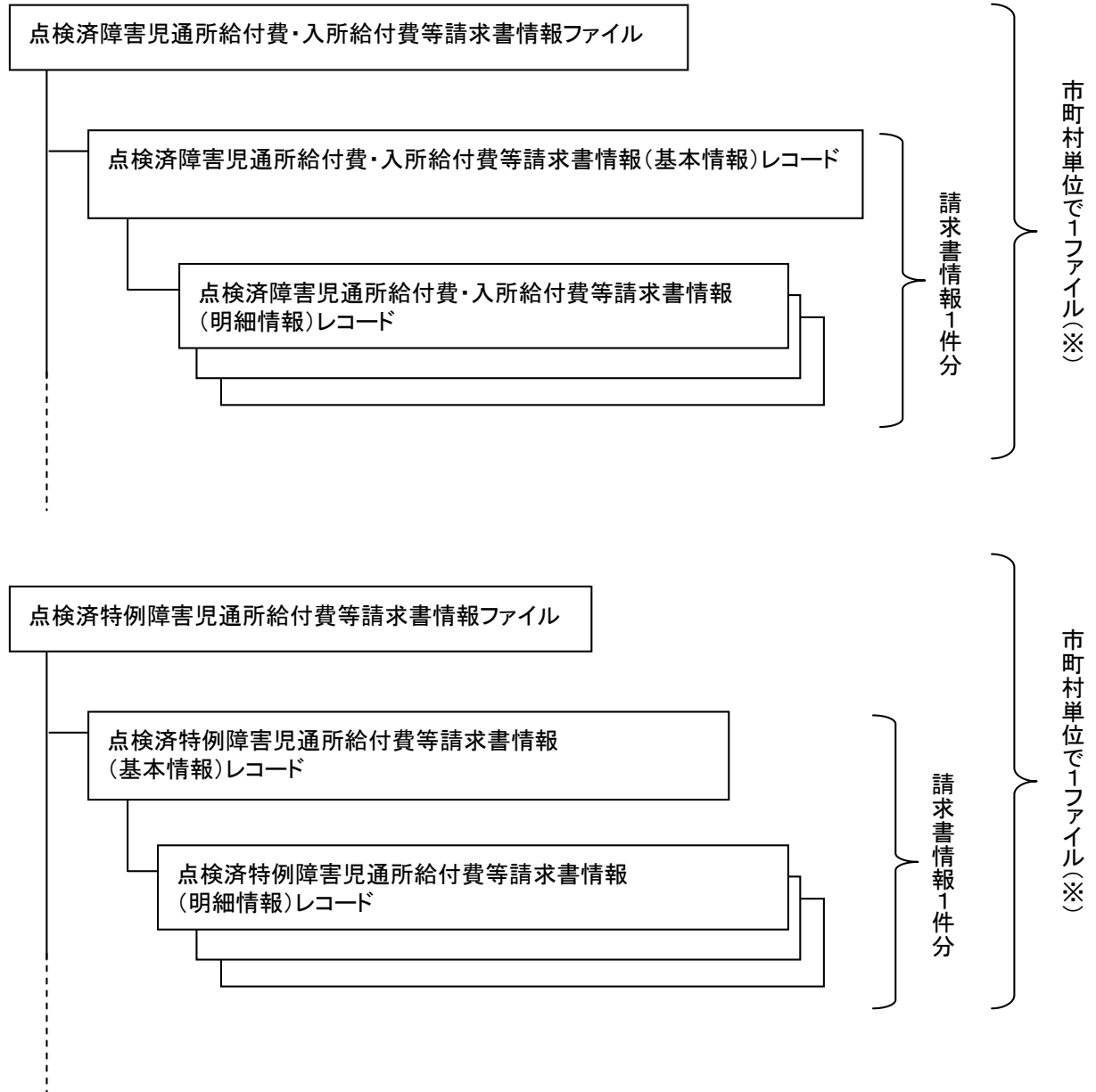
※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

点検済障害児通所給付費・入所給付費等請求書情報 ファイル構成図  
 点検済特例障害児通所給付費等請求書情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



※政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、政令市単位で1ファイルとする

## (3) 点検済障害児相談支援給付費請求書情報 (B741)

## 点検済特例障害児相談支援給付費請求書情報 (B742)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象項目 (※1)	備考
					B741 B742	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	レコード種別コード	コード値	2	01を設定する(基本情報レコード)	◎	
3	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	※Y
4	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェ ックデジット1桁含む)	◎	※C
5	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
6	件数	数値	6	件数を設定する	◎	
7	地域区分コード	コード値	2	地域区分コードを設定する	◎	※C
8	請求金額	数値	10	合計の請求金額を設定する	◎	
9	単位数単価	数値	5	整数部2桁、小数部3桁の半角数字 8.5 円の場合、08500(または 8500) を設定する	◎	※Y
10	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を 設定する	◎	※Y
11	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	◎	1:正常 2:警告 3:エラー

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

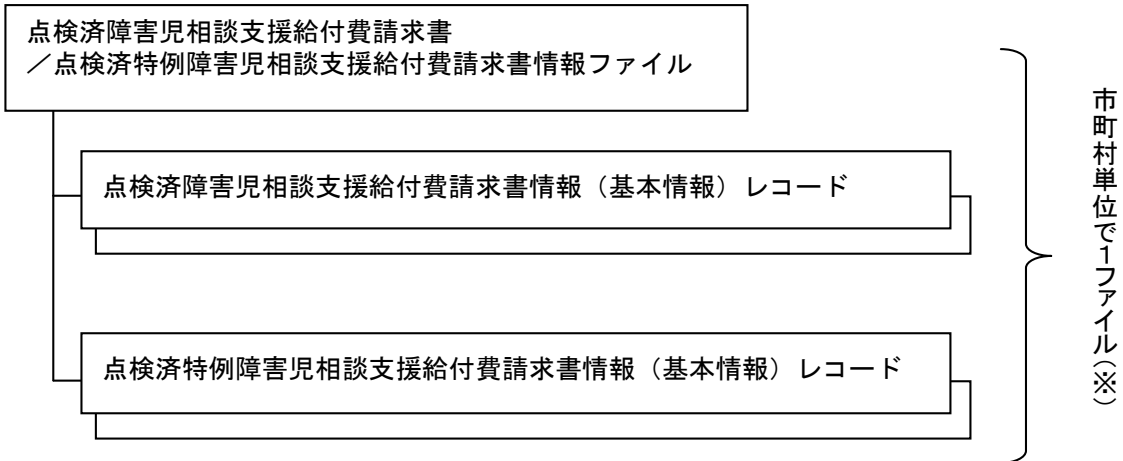
※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

# 点検済障害児相談支援給付費請求書

## ／点検済特例障害児相談支援給付費請求書情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



※政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、政令市単位で1ファイルとする

(4) 点検済明細書等情報 (B731)

点検済明細書等情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

- 1 : 基本情報レコード
  - ・障害児通所給付費・入所給付費等明細書情報の基本情報レコード
  - ・特例障害児通所給付費等明細書情報の基本情報レコード
  
- 2 : 日数情報レコード(複数レコード)
  - ・障害児通所給付費・入所給付費等明細書情報の日数情報レコード
  - ・特例障害児通所給付費等明細書情報の日数情報レコード
  
- 3 : 明細情報レコード(複数レコード)
  - ・障害通所給付費・入所給付費等明細書情報の明細情報レコード
  - ・特例障害児通所給付費等明細書情報の明細情報レコード
  
- 4 : 集計情報レコード(複数レコード)
  - ・障害児通所給付費・入所給付費等明細書情報の集計情報レコード
  - ・特例障害児通所給付費等明細書情報の集計情報レコード
  
- 5 : 契約情報レコード(複数レコード)
  - ・障害児通所給付費・入所給付費等明細書情報の契約情報レコード
  - ・特例障害児通所給付費等明細書情報の契約情報レコード
  
- 6 : 点検済障害児相談支援給付費請求書情報 明細情報レコード(複数レコード)
  
- 7 : 点検済特例障害児相談支援給付費請求書情報 明細情報レコード(複数レコード)
  
- 8 : 点検済サービス提供実績記録票情報 基本情報レコード
  
- 9 : 点検済サービス提供実績記録票情報 明細情報レコード(複数レコード)
  
- 10 : 点検済利用者負担上限額管理結果票情報 基本情報レコード
  
- 11 : 点検済利用者負担上限額管理結果票情報 明細情報レコード(複数レコード)

・各交換情報識別番号とレコード構成、入力識別番号の対応は、以下の通りである。

項番	レコード名称	交換情報識別番号
		障害児支援
		B731
1	基本情報レコード	◎:K122、K221
2	日数情報レコード	◎:K122、K221
3	明細情報レコード	◎:K122、K221
4	集計情報レコード	◎:K122、K221
5	契約情報レコード	○:K122、K221
6	点検済障害児相談支援給付費請求書情報 明細情報レコード	○:K311
7	点検済特例障害児相談支援給付費請求書情報 明細情報レコード	○:K321
8	点検済サービス提供実績記録票情報 基本情報レコード	◎:K611
9	点検済サービス提供実績記録票情報 明細情報レコード	◎:K611
10	点検済利用者負担上限額管理結果票情報 基本情報レコード	○:K411
11	点検済利用者負担上限額管理結果票情報 明細情報レコード	○:K411

・ 凡例:◎…必須レコード、○…実績内容により必要となるレコード、空白…不要なレコード  
また、入力識別番号の内容は以下の通りである。

< 入力識別番号一覧 >

項番	入力識別番号	情報名
1	K122	障害児通所給付費・入所給付費等明細書情報 サービス提供年月が平成 24 年 4 月以降使用
2	K221	特例障害児通所給付費等明細書情報 サービス提供年月が平成 24 年 4 月以降使用
3	K311	障害児相談支援給付費請求書情報 サービス提供年月が平成 24 年 4 月以降使用
4	K321	特例障害児相談支援給付費請求書情報 サービス提供年月が平成 24 年 4 月以降使用
5	K611	サービス提供実績記録票情報
6	K411	利用者負担上限額管理結果票情報

① 基本情報レコード

項番	項目名	属性 (※2)	バイト 数	内容	出力対象項目 (※1)		備考
					K122	K221	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	◎	※2
3	レコード種別コード	コード値	2	01を設定する(基本情報)	◎	◎	
4	給付実績情報作成区分コード	コード値	1	給付実績情報の作成区分を出力			1:新規 2:修正 3:取消
5	給付実績区分コード	コード値	1	給付実績の区分コードを設定する			1:現物 2:償還
6	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する			
7	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	◎	※Y
8	都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデジット1桁含む)	◎	◎	※C
9	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	※C
10	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	※C
11	助成自治体番号	コード値	6	助成自治体がある場合、市町村番号を設定する	○	○	※C
12	給付決定保護者氏名カナ	英数	25	給付決定保護者カナ氏名	△	△	
13	給付決定に係る障害児氏名カナ	英数	25	給付決定に係る障害児カナ氏名	△	△	
14	地域区分コード	コード値	2	地域区分コードを設定する	◎	◎	※C
15	就労継続支援A型事業者負担減免措置実施	コード値	1	設定しない			
16	利用者負担上限月額①	数値	6	利用者負担上限月額を設定する	◎	◎	
17	就労継続支援A型減免対象者	コード値	1	設定しない			
18	障害程度区分コード	英数	2	設定しない			



項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象項目 (※1)		備考	
						K122	K221		
19	上限額管理事業所	指定事業所番号	コード値	10	上限額管理事業所の事業所番号を設定する	○	○	※C ※4	
20		管理結果	コード値	1	上限額管理結果票の管理結果を設定する	○	○	※3 ※4	
21		管理結果額	数値	5	上限額管理結果票の管理結果額を設定する	○	○	※4	
22	日中支援加算欄	指定事業所番号	コード値	10	設定しない				
23		当該事業所への通所日数	数値	2	設定しない				
24	請求額集計欄 合計	給付単位数	数値	9	サービス種類コードごとの単位数を設定する	◎	◎		
25		総費用額	数値	10	サービスの総費用額を設定する	◎	◎		
26		上限月額調整(①②の内少ない数)	数値	6	上限月額調整(①②の内少ない数)の合計を設定する	◎	◎		
27		A型減免	事業者減免額	数値	6	設定しない			
28			減免後利用者負担額	数値	6	設定しない			
29		調整後利用者負担額	数値	6	調整後利用者負担額を設定する	○	○		
30		上限額管理後利用者負担額	数値	6	上限額管理後利用者負担額	○	○	※4	
31		決定利用者負担額	数値	6	算定した結果の利用者負担額を設定する(自治体助成分請求額を控除する前の利用者負担額である)	◎	◎		
32		請求額	給付費	数値	10	給付費の請求額を設定	◎	◎	
33			高額障害児通所給付費	数値	10	高額障害児通所給付費を設定		○	
34			特別対策費	数値	10	サービス提供年月が平成24年4月以降は、新体系定着支援に係る請求額を設定 サービス提供年月が平成21年10月以降は、事業運営安定化に係る請求額を設定 サービス提供年月が平成21年9月以前は、特別対策費である激変緩和加算に係る請求額を設定	○	○	※5
35	自治体助成分請求額		数値	6	利用者負担額のうち自治体が助成する額を設定する	○	○		

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象項目 (※1)		備考
						K122	K221	
36	特定入所障害児食費等 給付費(合計)	算定日額	数値	4	設定しない			
37		日数	数値	2	設定しない			
38		給付費請求額	数値	5	設定しない			
39		実費算定額	数値	6	設定しない			
40	受付年月		コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定	◎	◎	※Y
41	点検結果		コード値	1	点検結果を設定する	◎	◎	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の 取下

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.3.1(4)入力識別番号一覧」参照。

※3: “1”: 管理事業所で利用者負担額を充当したため、他事業所の利用者負担は発生しない。

“2”: 利用者負担額の合計額が、負担上限月額以下のため、調整事務は行わない。

“3”: 利用者負担額の合計額が、負担上限月額を超過するため、下記のとおり調整した。

※4: 利用者負担上限額管理を行った場合のみ設定する。利用者負担上限額管理が必要ない場合(例えば、利用者負担上限月額が0円の場合)は設定しない。

※5: サービス提供年月が平成25年4月以降は、設定しない。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

② 日数情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象項目 (※1)	備考	
					K122 K221		
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2	
3	レコード種別コード	コード値	2	02を設定する(日数情報レコード)	◎		
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する			
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	※Y	
6	都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェック デジット1桁含む)	◎	※C	
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C	
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C	
9	サービス種類コード	コード値	2	サービス種類コード2桁を設定する	◎	※C	
10	サービス開始日等	開始年月日	コード値	8	サービス種類毎の開始年月日(入所年月 日等)(西暦年月日 YYYYMMDDを設定する)	◎	※Y
11		終了年月日	コード値	8	サービス種類毎の終了年月日(退所年月 日等)(西暦年月日 YYYYMMDDを設定する)	○	※Y
12		利用日数	数値	2	サービス種類毎に利用日数を設定する	◎	
13		入院日数	数値	2	設定しない		
14		外泊日数	数値	2	設定しない		
15	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y	
16	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	◎	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の取下	

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.3.1(4)入力識別番号一覧」参照。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

③ 明細情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象項目 (※1)		備考
					K122	K221	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎		※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎		※2
3	レコード種別コード	コード値	2	03を設定する(明細情報レコード)	◎		
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する			
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎		※Y
6	都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(フリックデジット1桁含む)	◎		※C
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎		※C
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎		※C
9	サービスコード	コード値	6	サービスコード6桁	◎		※C
10	単位数	数値	6	サービスコードごとの単位数	◎		
11	回数	数値	3	サービスコードごとの回数	◎		
12	サービス単位数	数値	9	サービスコードごとの算定額	◎		
13	摘要	漢字	100	サービスコードごとの摘要	○		
14	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎		※Y
15	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	◎		1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の取下

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.3.1(4)入力識別番号一覧」参照。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

④ 集計情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象項目 (※1)		備考	
					K122	K221		
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	◎	※2	
3	レコード種別コード	コード値	2	04を設定する(集計情報レコード)	◎	◎		
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する				
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	◎	※Y	
6	都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデジット1桁含む)	◎	◎	※C	
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	※C	
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	※C	
9	サービス種類コード	コード値	2	サービス種類コード2桁を設定する	◎	◎	※C	
10	請求額集計欄	集計欄分類番号	コード値	1	同一のサービス種類コードで複数の集計情報を作成する為の集計欄分類番号を設定	◎	◎	※3
11		サービス利用日数	数値	2	サービス利用日数を設定 本体報酬を算定しない日において、各種加算のみを算定した場合も1日とカウントする 上限額管理加算、欠席時対応加算等も1日とカウントする	◎	◎	
12		給付単位数	数値	9	サービス種類コードごと集計欄分類番号ごとの単位数を設定する	◎	◎	
13		単位数単価	数値	5	整数部2桁小数部3桁の半角数字 8.5 円の場合、08500(または8500)を設定する	◎	◎	※Y
14		給付率	数値	3	0を設定する(サービス提供年月が平成24年3月以前:給付率を設定)	◎	◎	
15		総費用額	数値	10	サービスの総費用額を設定する	◎	◎	
16		1割相当額(サービス提供年月が平成24年3月以前:給付率に基づく請求額)	数値	10	総費用額の1割に相当する額を設定する(サービス提供年月が平成24年3月以前:総費用額×給付率/100)	◎	◎	

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象項目 (※1)		備考
						K122	K221	
17	利用者負担額 ②(サービス提供年月が平成24年3月以前:給付率に基づく利用者負担額②)		数値	6	1割相当額を設定する (サービス提供年月が平成24年3月以前:総費用額－給付率に基づく請求額)	◎	◎	※6
18	上限月額調整 (①②の内少ない数)		数値	6	利用者負担上限月額と利用者負担額②のうち少ないほうを設定する	◎	◎	
19	A型 減免	事業者 減免額	数値	6	設定しない			
20		減免後利用者 負担額	数値	6	設定しない			
21	調整後利用者 負担額		数値	6	調整後利用者負担額を設定する	○	○	
22	上限額管理後 利用者負担額		数値	6	上限額管理後利用者負担額を設定する	○	○	※5
23	決定利用者 負担額		数値	6	算定した結果の利用者負担額を設定する(自治体助成分請求額を控除する前の利用者負担額である)	◎	◎	
24	給付費		数値	10	給付費の請求額を設定	◎	◎	
25	高額障害児 通所給付費		数値	10	高額障害児通所給付費の請求額を設定する		○	
26	請求額	特別対策費	数値	10	サービス提供年月が平成24年4月以降は、新体系定着支援に係る請求額を設定 サービス提供年月が平成21年10月以降は、事業運営安定化に係る請求額を設定 サービス提供年月が平成21年9月以前は、特別対策費である激変緩和加算に係る請求額を設定	○	○	※7
27	自治体助成分 請求額		数値	6	利用者負担額のうち自治体が助成する額を設定する	○	○	※4
28	算定日額		数値	4	設定しない			
29	日数		数値	2	設定しない			
30	給付費請求額		数値	5	設定しない			
31	実費算定額		数値	6	設定しない			

項番	項目名		属性 (※2)	バイト 数	内容	出力対象項目 (※1)		備考
						K122	K221	
32	利用日数管理票	対象期間(開始)	コード値	6	設定しない			
33		対象期間(終了)	コード値	6	設定しない			
34		当月の利用日数	数値	2	設定しない			
35		原則日数の総和	数値	3	設定しない			
36	受付年月		コード値	6	請求受付年月(西暦年月YYYYMM)を設定する	◎	◎	※Y
37	点検結果		コード値	1	点検結果を設定する	◎	◎	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の取下

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.3.1(4)入力識別番号一覧」参照。

※3:【サービス提供年月が平成25年4月以降の場合】

- 1 : 2および7以外の情報は1を設定する。
- 2 : 単位数単価が10円以外の地域に所在する事業所において、下記障害児支援サービスを行った場合、同一サービス種類において単位数単価を分けて集計する必要があるため下記サービスを集計欄分類番号=2で集計する。
  - (1)児童発達支援
    - ①人工内耳装用児支援加算
  - (2)医療型障害児入所支援
    - ①重度障害児支援加算
    - ②重度重複障害児加算
  - (3)障害児入所支援
    - ①重度障害児支援加算
    - ②重度重複障害児加算
    - ③強度行動障害児特別支援加算
    - ④自活訓練加算
- 7 : 単位数単価が10円以外の地域に所在する事業所において、1人の障害児に対し下記のような形態で障害児支援サービスを行った場合、同一サービス種類において単位数単価を分けて集計する必要があるため集計欄分類番号=7で集計する。
  - (1)児童発達支援
    - ①児童発達支援センターにおいて、主として重症心身障害児以外を受け入れる事業所と重症心身障害児を受け入れる事業所の両方でサービスを提供した場合
    - ②児童発達支援センター以外において、主として重症心身障害児以外を受け入れる事

業所と重症心身障害児を受け入れる事業所の両方でサービスを提供した場合

(2)放課後等デイサービス

- ①主として重症心身障害児以外を受け入れる事業所と重症心身障害児を受け入れる事業所の両方でサービスを提供した場合

【サービス提供年月が平成24年4月以降、平成25年3月以前の場合】

- 1 : 2、4、6および7以外の情報は1を設定する。  
2 : 同一サービス種類で単位数単価が異なる場合、2を設定する。具体的には単位数単価が10円以外の地域に所在する事業所において、下記障害児支援サービスを行った場合となる。

(1)児童発達支援

- ①人工内耳装用児支援加算

(2)医療型障害児入所支援

- ①重度障害児支援加算  
②重度重複障害児加算

(3)障害児入所支援

- ①重度障害児支援加算  
②重度重複障害児加算  
③強度行動障害児特別支援加算  
④自活訓練加算

- 4 : 同一サービス種類で給付率が異なる場合(新体系定着支援に係る請求額)  
6 : 7のパターンにおける新体系定着支援に係る請求額を集計欄分類番号=6で集計する。  
7 : 単位数単価が10円以外の地域に所在する事業所において、1人の障害児に対し下記のような形態で障害児支援サービスを行った場合、同一サービス種類において単位数単価を分けて集計する必要があるため集計欄分類番号=7で集計する。

(1)児童発達支援

- ①児童発達支援センターにおいて、主として重症心身障害児以外を受け入れる事業所と重症心身障害児を受け入れる事業所の両方でサービスを提供した場合  
②児童発達支援センター以外において、主として重症心身障害児以外を受け入れる事業所と重症心身障害児を受け入れる事業所の両方でサービスを提供した場合

(2)放課後等デイサービス

- ①主として重症心身障害児以外を受け入れる事業所と重症心身障害児を受け入れる事業所の両方でサービスを提供した場合



※4: 自治体助成分請求額設定ルール

自治体助成分請求額の計算方法としては、国制度(利用者負担額調整など)を適用した後の決定利用者負担額に対してサービス種類ごとに定率を助成する方式とする。

自治体助成分請求額＝決定利用者負担額×市町村助成率(小数点以下切捨)

例)施設(入所)と施設(通所)のサービス提供を受ける利用者で、施設(通所)の利用者負担額のうち半分を都道府県等が助成する場合

	施設(入所)	施設(通所)
決定利用者負担額	7,500	4,800
自治体助成分請求額		2,400

4,800(円) × 50(%)

↓  
実際の利用者負担額は、7,500+4,800-2,400=9,900 となる。

※5: 利用者負担上限額管理を行った場合のみ設定する。利用者負担上限額管理が必要ない場合(例えば、利用者負担上限月額が0円の場合)は設定しない。

※6: 法第二十一条の五の十一が適用される場合、「都道府県等が定める額」もしくは「1割相当額」のうち小さい額を設定する。

※7: サービス提供年月が平成25年4月以降は、設定しない。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

⑤ 契約情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力 対象 項目 (※1)	備考
					K122 K221	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2
3	レコード種別コード	コード値	2	05を設定する(契約情報レコード)	◎	
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する		
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	※Y
6	都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チ ェックデジット1桁含む)	◎	※C
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証 番号	◎	※C
9	決定サービスコード	コード値	6	決定サービスコード6桁を設定する	◎	※C
10	契約支給量	数値	5	整数部上3桁、小数部下2桁を設定す る 100.5時間→10050 12日→01200(または1200) 5回→00500(または500)	◎	※3
11	契約開始年月日	コード値	8	契約を開始した年月日(西暦年月日 YYYYMMDDを設定する)	◎	※4 ※Y
12	契約終了年月日	コード値	8	契約を終了した年月日(西暦年月日 YYYYMMDDを設定する)	○	※4 ※Y
13	事業者記入欄番号	数値	2	受給者証の事業者記入欄番号を設定 する	◎	※5
14	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を 設定する	◎	※Y
15	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	◎	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の取下

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.3.1(4)入力識別番号一覧」参照。

※3:契約支給量には、受給者証の事業者記入欄に記載した契約支給量を設定する。

※4:契約開始年月日、契約終了年月日には、受給者証の事業者記入欄に記載した契約日、サービス提供終了日を設定する。

※5:受給者証の事業者記入欄に記載した欄番号を設定する。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

⑥ 点検済障害児相談支援給付費請求書／点検済特例障害児相談支援給付費請求書情報  
明細情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象 項目(※1)	備考	
					K311、K321		
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2	
3	レコード種別コード	コード値	2	02を設定する(明細情報レコード)	◎		
4	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	※Y	
5	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックジット1桁含む)	◎	※C	
6	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C	
7	項番	数値	4	1からの連番を設定する	◎		
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C	
9	給付決定保護者氏名カナ	英数	25	給付決定保護者カナ氏名	△		
10	給付決定に係る児童氏名カナ	英数	25	給付決定に係る児童カナ氏名	△		
11	モニタリング日	コード値	8	障害児支援の場合は計画作成日、継続障害児支援の場合は直近のモニタリング日を設定する。ただし、同一月内に障害児支援と継続障害児支援の両方を実施した場合には直近のモニタリング日を設定する。(西暦年月日 YYYYMMDD を設定する)	○	※Y	
12	請求額計算欄	サービスコード	コード値	6	サービスコードを設定	◎	※C
13		単位数	数値	4	単位数を設定	◎	
14		請求額	数値	6	明細1行ごとの請求額を設定(小数点以下切捨て)	◎	
15	単位数単価	数値	5	整数部2桁、小数部3桁の半角数字 8.5 円の場合、08500(または 8500)を設定する	◎		
16	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y	
17	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	◎	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の 取下	

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.3.1(4)入力識別番号一覧」参照。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

⑦ 点検済サービス提供実績記録票情報 基本情報レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	※1	
3	レコード種別コード	コード値	2	01を設定する(基本情報レコード)		
4	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	※Y	
5	都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデ ジット1桁含む)	※C	
6	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	※C	
7	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	※C	
8	様式種別番号	コード値	4	様式番号 2 桁、枝番 2 桁を設定	※2	
9	補足給付関係情報	補足給付適用の有無	コード値	1	設定しない	
10		補足給付額(円/日)	数値	4	設定しない	
11		食費の単価 朝食 (円/日)	数値	5	設定しない	
12		食費の単価 昼食 (円/日)	数値	5	設定しない	
13		食費の単価 夕食 (円/日)	数値	5	設定しない	
14		食費の単価 一日 (円/日)	数値	5	設定しない	
15		光熱水費の単価 一日 (円/日)	数値	6	設定しない	
16		光熱水費の単価 一月 (円/月)	数値	6	設定しない	
17	合計1(身体介護・行動援護・重度訪問)	内訳 100%	数値	5	設定しない	
18		内訳 70%	数値	5	設定しない	
19		内訳 重訪	数値	5	設定しない	
20		合計 算定時間数計	数値	5	設定しない	

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
21	合計2(通院介護(伴う)、同行援護(伴う))	内訳 100%	数値	5	設定しない
22		内訳 70%	数値	5	設定しない
23		内訳 重訪	数値	5	設定しない
24		合計 算定時間数計	数値	5	設定しない
25	合計3(家事援助)	内訳 100%	数値	5	設定しない
26		内訳 90%	数値	5	設定しない
27		合計 算定時間数計	数値	5	設定しない
28	合計4(通院介護(伴わず)、同行援護(伴わず))	内訳 100%	数値	5	設定しない
29		内訳 90%	数値	5	設定しない
30		合計 算定時間数計	数値	5	設定しない
31	合計5(通院等乗降介助)	内訳 100%	数値	3	設定しない
32		内訳 90%	数値	3	設定しない
33		合計 算定回数計	数値	3	設定しない
34	提供実績の合計	算定 移動介護分	数値	3	設定しない
35		実績 送迎加算(回)	数値	2	片道単位の送迎回数を設定
36		実績 家庭連携加算(回) (サービス提供回数)	数値	2	家庭連携加算のサービス提供回数を設定
37		実績 家庭連携加算(回) (算定回数)	数値	2	家庭連携加算の算定回数を設定
38		合計 算定日数(日)	数値	2	算定日数の合計を設定
39		夜間支援体制加算(回)	数値	2	設定しない
40		日中支援加算(回) (サービス提供回数)	数値	2	設定しない
41		日中支援加算(回) (算定回数)	数値	2	設定しない
42		通所型(回)	数値	2	設定しない

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
43	訪問型 1時間未満(回)	数値	2	設定しない	
44	訪問型 1時間以上(回)	数値	2	設定しない	
45	短期滞在加算(回)	数値	2	設定しない	
46	食事提供加算(回)	数値	2	食事提供加算の提供回数を設定	
47	入院・外泊時加算(回)	数値	2	設定しない	
48	入院時支援特別加算(回) (サービス提供回数)	数値	2	設定しない	
49	入院時支援特別加算(回) (算定回数)	数値	2	設定しない	
50	自立生活支援加算(回)	数値	2	設定しない	
51	自活訓練加算(回)	数値	2	設定しない	
52	訪問支援特別加算(回) (サービス提供回数)	数値	2	訪問支援特別加算のサービス提供回数の 合計を設定	
53	訪問支援特別加算(回) (算定回数)	数値	2	訪問支援特別加算の算定回数の合計を設 定	
54	施設外支援 当月(日)	数値	2	設定しない	
55	施設外支援 累計 (日/180日)	数値	3	設定しない	
56	帰宅時支援加算(回) (サービス提供回数)	数値	2	設定しない	
57	帰宅時支援加算(回) (算定回数)	数値	2	設定しない	
58	朝食(回)	数値	2	設定しない	
59	昼食(回)	数値	2	設定しない	
60	夕食(回)	数値	2	設定しない	
61	光熱水費(回)	数値	2	設定しない	
62	各小計 食事(円)	数値	7	設定しない	
63	各小計 光熱水費(円)	数値	7	設定しない	
64	実費合計額(円)	数値	8	設定しない	

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
65	入所時特別支援加算	利用開始日(年月日)	コード値	8	設定しない
66		30日目(年月日)	コード値	8	設定しない
67		当月算定日数(日)	コード値	2	設定しない
68	退所時特別支援加算	入所中算定日(年月日)	コード値	8	設定しない
69		退所日(年月日)	コード値	8	設定しない
70		退所後算定日(年月日)	コード値	8	設定しない
71	初期加算	利用開始日(年月日)	コード値	8	設定しない
72		30日目(年月日)	コード値	8	設定しない
73		当月算定日数(日)	数値	2	設定しない
74	地域移行加算	入所中算定日(年月日)	コード値	8	設定しない
75		退所日(年月日)	コード値	8	設定しない
76		退所後算定日(年月日)	コード値	8	設定しない
77	重度包括	実績単位数(単位)	数値	6	設定しない
78		実績割合(%)	数値	4	設定しない
79		支給決定量(単位)	数値	6	設定しない
80		報酬請求額(円)	数値	7	設定しない
81		利用者負担上限月額(円)	数値	6	設定しない
82		利用者負担額(円)	数値	6	設定しない
83		共同生活介護合計日数	数値	2	設定しない
84		短期入所合計日数	数値	2	設定しない
85		その他サービス合計 時間数	数値	5	設定しない
86		当該月の日数	数値	2	設定しない
87	サービス担当者会議 開催日	コード値	8	設定しない	

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
88	重度訪問介護 (様式3-2)集計欄	第1時間帯 早朝	数値	3	設定しない	
89		第1時間帯 日中	数値	3	設定しない	
90		第1時間帯 夜間	数値	3	設定しない	
91		第1時間帯 深夜	数値	3	設定しない	
92		第2時間帯 早朝	数値	3	設定しない	
93		第2時間帯 日中	数値	3	設定しない	
94		第2時間帯 夜間	数値	3	設定しない	
95		第2時間帯 深夜	数値	3	設定しない	
96		第3時間帯 早朝	数値	3	設定しない	
97		第3時間帯 日中	数値	3	設定しない	
98		第3時間帯 夜間	数値	3	設定しない	
99		第3時間帯 深夜	数値	3	設定しない	
100		第4時間帯 早朝	数値	3	設定しない	
101		第4時間帯 日中	数値	3	設定しない	
102		第4時間帯 夜間	数値	3	設定しない	
103		第4時間帯 深夜	数値	3	設定しない	
104		第5時間帯 早朝	数値	3	設定しない	
105		第5時間帯 日中	数値	3	設定しない	
106		第5時間帯 夜間	数値	3	設定しない	
107		第5時間帯 深夜	数値	3	設定しない	
108		第6時間帯 早朝	数値	3	設定しない	
109	第6時間帯 日中	数値	3	設定しない		
110	第6時間帯 夜間	数値	3	設定しない		
111	第6時間帯 深夜	数値	3	設定しない		
112	施設種類	コード値	2	設定しない		
113	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	※Y	
114	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	1:正常 2:警告 3:エラー	

※1:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.3.1(4)入力識別番号一覧」参照。

※2:様式番号については「インタフェース仕様書 サービス事業所編 1.2.3.6 サービス提供実績記録票情報 (4)様式と様式種別番号の対応」を参照。また、様式番号に対応する出力対象項目については「インタフェース仕様書 サービス事業所編 1.2.3.6 サービス提供実績記録票情報 (5)入力必須項目と様式の対応表(基本情報レコード)」を参照。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。



⑧ 点検済サービス提供実績記録票情報 明細情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	※1
3	レコード種別コード	コード値	2	02を設定する(明細情報レコード)	
4	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	※Y
5	都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデジット1桁含む)	※C
6	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	※C
7	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	※C
8	様式種別番号	コード値	4	様式番号 2 桁、枝番 2 桁を設定	※2
9	提供通番	数値	3	設定しない	
10	日付	コード値	2	日を設定	
11	サービス提供回数	数値	2	設定しない	
12	サービス内容	コード値	6	設定しない	
13	ヘルパー資格	コード値	2	設定しない	
14	運転フラグ	コード値	1	設定しない	
15	開始時間	数値	4	開始時間を数字 4 桁で設定 例) 10:00→1000	
16	終了時間	数値	4	終了時間を数字 4 桁で設定 例) 11:00→1100	
17	算定時間数	数値	4	設定しない	
18	乗降(回数)	数値	2	設定しない	
19	移動	数値	2	設定しない	
20	派遣人数	数値	1	設定しない	
21	前月からの継続サービス	コード値	1	設定しない	
22	送迎加算 往	数値	1	送迎(往路)を行った回数を設定	
23	送迎加算 復	数値	1	送迎(復路)を行った回数を設定	
24	家庭連携加算 (サービス提供時間数)	数値	4	家庭連携加算に関して、実際に支援に要した時間数を設定(整数部 2 桁+小数部 2 桁を設定、例: 1.5時間→0150(または 150))	
25	家庭連携加算 (算定時間数)	数値	2	家庭連携加算に関して、算定する時間数を設定	
26	自活訓練加算	コード値	1	設定しない	
27	短期滞在加算	コード値	1	設定しない	
28	訪問支援特別加算 (サービス提供時間数)	数値	4	実際にサービス提供した時間数を設定(整数部 2 桁+小数部 2 桁を設定、例: 1.5時間→0150(または 150))	

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
29	訪問支援特別加算 (算定時間数)	数値	2	算定する時間数を設定(整数)		
30	施設外支援	コード値	1	設定しない		
31	退所時特別支援加算	コード値	1	設定しない		
32	地域移行加算	コード値	1	設定しない		
33	食事提供加算	コード値	1	加算対象となる低所得者に対して食事を提供した場合1を設定		
34	入院・外泊時加算	コード値	1	設定しない		
35	提供形態	コード値	1	授業の終了後に行う場合、1を設定 休業日に行う場合、2を設定		
36	備考	漢字	100	備考欄に記載が必要な場合、設定		
37	サービス提供の状況	コード値	1	8:欠席(欠席時対応加算)		
38	夜間支援体制加算	コード値	1	設定しない		
39	入院時支援特別加算 (サービス提供回数)	コード値	1	設定しない		
40	入院時支援特別加算 (算定回数)	コード値	1	設定しない		
41	帰宅時支援加算 (サービス提供回数)	コード値	1	設定しない		
42	帰宅時支援加算 (算定回数)	コード値	1	設定しない		
43	自立生活支援加算	コード値	1	設定しない		
44	日中支援加算 (サービス提供回数)	コード値	1	設定しない		
45	日中支援加算 (算定回数)	コード値	1	設定しない		
46	算定日数	コード値	1	保育所等訪問支援を行った場合に1を設定		
47	自立訓練 訪問型時間数	数値	4	設定しない		
48	実費算定	朝食	コード値	1	設定しない	
49		昼食	コード値	1	設定しない	
50		夕食	コード値	1	設定しない	
51		光熱水費	コード値	1	設定しない	
52	重度包括	適用単価	数値	3	設定しない	
53		基本単位数	数値	4	設定しない	
54		加算	コード値	1	設定しない	
55		加算後単位数	数値	4	設定しない	
56		単位数	数値	4	設定しない	
57		1日計	数値	5	設定しない	

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
58	重度訪問 (様式3-2)	1時間(13時間)	コード値	1	設定しない	
59		2時間(14時間)	コード値	1	設定しない	
60		3時間(15時間)	コード値	1	設定しない	
61		4時間(16時間)	コード値	1	設定しない	
62		5時間(17時間)	コード値	1	設定しない	
63		6時間(18時間)	コード値	1	設定しない	
64		7時間(19時間)	コード値	1	設定しない	
65		8時間(20時間)	コード値	1	設定しない	
66		9時間(21時間)	コード値	1	設定しない	
67		10時間(22時間)	コード値	1	設定しない	
68		11時間(23時間)	コード値	1	設定しない	
69		12時間(24時間)	コード値	1	設定しない	
70	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	※Y	
71	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	1:正常 2:警告 3:エラー	

※1:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.3.1(4)入力識別番号一覧」参照。

※2:様式番号については「インタフェース仕様書 サービス事業所編 1.2.3.6 サービス提供実績記録票情報 (4)様式と様式種別番号の対応」を参照。また、様式番号に対する出力対象項目については「インタフェース仕様書 サービス事業所編 1.2.3.6 サービス提供実績記録票情報 (6)入力必須項目と様式の対応表(明細情報レコード)」を参照。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

⑨ 点検済利用者負担上限額管理結果票情報 基本情報レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象 項目 (※1)	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2	
3	レコード種別コード	コード値	2	01を設定する(基本情報レコード)	◎		
4	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	※Y	
5	上限額管理結果票 情報作成区分コード	コード値	1	上限額管理票の作成区分を設定する 1:新規 2:修正 3:取消	◎	※3	
6	都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックシート1 桁含む)	◎	※C	
7	上限額管理事業所番号	コード値	10	上限額管理を行った事業所の事業所番号を設定 する	◎	※C	
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C	
9	支給決定者氏名カナ	英数	25	支給決定者カナ氏名	△		
10	支給決定児童氏名カナ	英数	25	支給決定児童カナ氏名	△		
11	利用者負担上限月額	数値	5	利用者負担上限月額を設定する	◎		
12	利用者負担上限額 管理結果	コード値	1	上限額管理結果を設定する	◎	※4	
13	合計	総費用額	数値	10	サービスの総費用額	◎	※5
14		利用者負担額	数値	6	利用者負担額	◎	※5
15		管理結果後 利用者負担額	数値	6	管理結果後利用者負担額	◎	※5
16	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y	
17	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	◎	1:正常 2:警告 3:エラー	

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.3.1(4)入力識別番号一覧」参照。

※3:上限額管理票情報の作成区分を設定する。当該サービス提供年月の中で初めて送付する場合および、返戻となった上限額管理結果票を再提出する場合「新規」を設定する。一度決定した上限額管理結果票の内容に変更が発生し、再度送付する場合は、「修正」を設定する。同様に一度決定した情報自体を取り消す場合は「取消」を設定する。設定の詳細は「インタフェース仕様書 サービス事業所編 1.2.3.4 サービス提供実績記録票情報 (4)利用者負担上限額管理結果票情報レコード作成方法」参照。

※4: “1” : 管理事業所で利用者負担額を充当したため、他事業所の利用者負担は発生しない。

“2” : 利用者負担額の合計額が、負担上限月額以下のため、調整事務は行わない。

“3” : 利用者負担額の合計額が、負担上限月額を超過するため、下記のとおり調整した。

※5:事務処理上は管理結果により設定する必要が無い場合もあるが、インタフェース上は必須とし、計算結果を常に設定する。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

⑩ 点検済利用者負担上限額管理結果票情報 明細情報レコード (複数レコード)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象 項目 (※1)	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2	
3	レコード種別コード	コード値	2	02を設定する(明細情報レコード)	◎		
4	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	※Y	
5	都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チエ クテジツ1桁含む)	◎	※C	
6	上限額管理事業所番号	コード値	10	上限額管理を行った事業所の事業所番 号を設定する	◎	※C	
7	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番 号	◎	※C	
8	項番	数値	2	1から通番を設定する	◎		
9	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C	
10	集計・調整欄 利用者負担額	総費用額	数値	10	サービスの総費用額	◎	※3 ※4
11		利用者負担額	数値	6	利用者負担額	◎	※3 ※4
12		管理結果後 利用者負担額	数値	6	管理結果後利用者負担額	◎	※3
13	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設 定する	◎	※Y	
14	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	◎	1:正常 2:警告 3:エラー	

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.3.1(4)入力識別番号一覧」参照。

※3:事務処理上は管理結果により設定する必要が無い場合もあるが、インタフェース上は必須とし、計  
算結果を常に設定する。

※4:サービス提供年月が平成21年10月以降の上限額管理結果票において、利用者負担上限額管理結果  
が“1”となった場合、関係事業所における総費用額および利用者負担額の設定は省略可能とし、省略す  
る場合には“0”を設定する。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

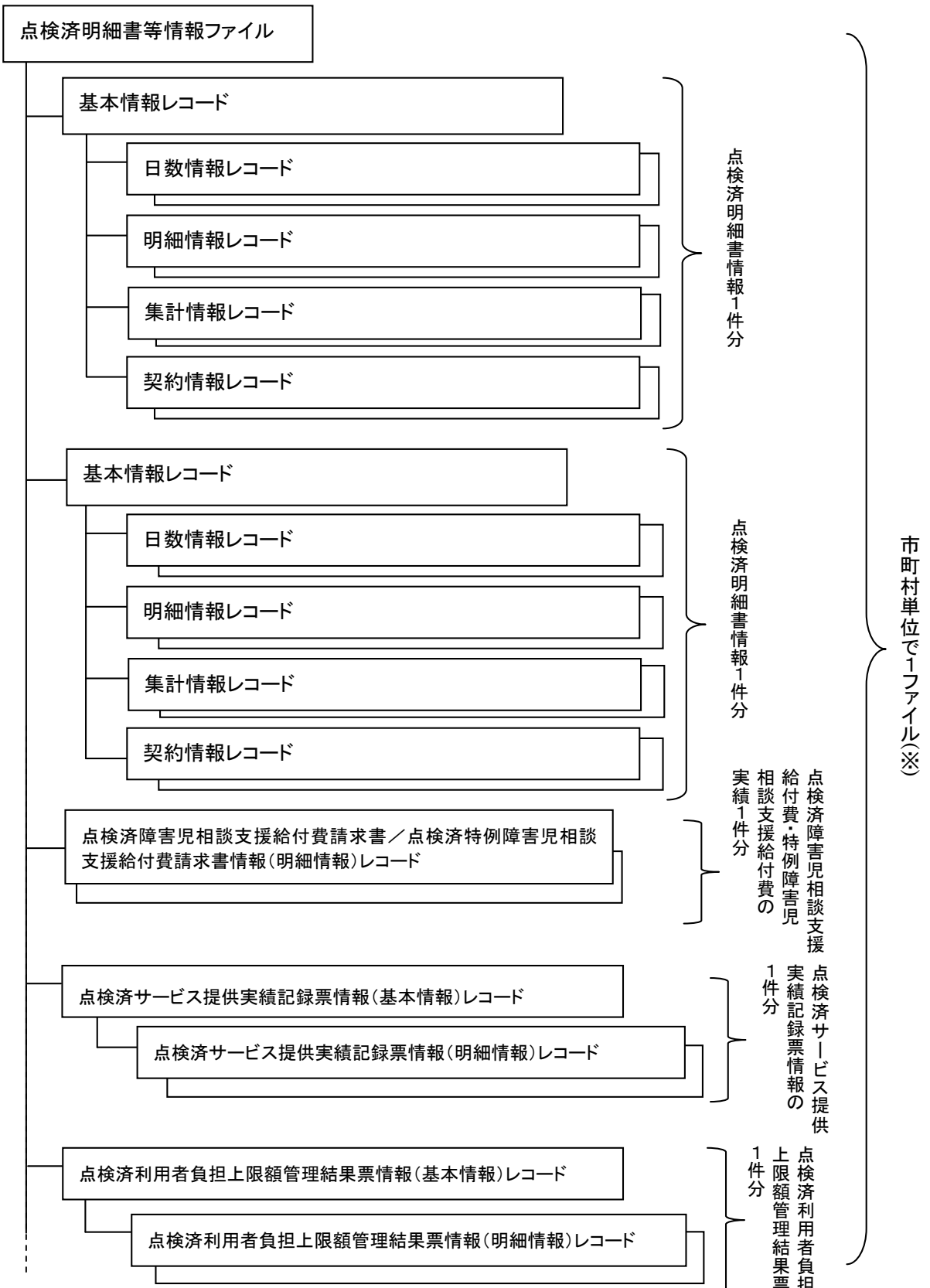
※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

# 点検済明細書等情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



※政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、政令市単位で1ファイルとする

(5) 事務点検結果票 (B7A1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(6) エラー一覧表 (B7B1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(7) 警告一覧表 (B7C1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(8) 支給量オーバーチェックリスト (B7D1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(9) 請求時効該当確認リスト (B7E1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(10) 時効却下リスト (B7F1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

## 2. 3. 2 都道府県等審査結果資料情報

### (1) 審査結果票情報 (B811)

国保連合会の点検結果通りの場合は、審査結果票情報を国保連合会に提出する。また、その場合は、審査結果一覧情報を提出する必要はない。

#### ① 基本情報レコード

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考	
1	交換情報識別番号		英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	レコード種別コード		コード値	2	01を設定する(基本情報)	◎		
3	証記載都道府県等番号		コード値	6	受給者証に記載された市町村番号を設定する	◎	※C	
4	証記載都道府県等名		漢字	40	受給者証に記載された市町村名を設定する	◎		
5	受付年月		コード値	6	請求受付年月(西暦年月YYYYMM)を設定する	◎	※Y	
6	計	点検件数	数値	12	点検件数を設定する	◎		
7		正常件数	数値	12	件数を設定する	◎		
8		警告件数	数値	12	件数を設定する	◎		
9		エラー件数	数値	12	件数を設定する	◎		
10		請求額	給付費	数値	12	給付費を設定する	◎	
11			特別対策費	数値	12	特別対策費を設定する	○	※2
12		自治体助成分請求額		数値	12	自治体助成分請求額を設定する	○	
13	高額障害児通所給付費		数値	12	高額障害児通所給付費を設定する	○		
14	審査年月日		コード値	8	審査年月日(西暦年月日YYYYMMDD)を設定	◎	※Y	

※1: 必須入力 ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要

※2: サービス提供年月が平成25年4月以降は、設定しない。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

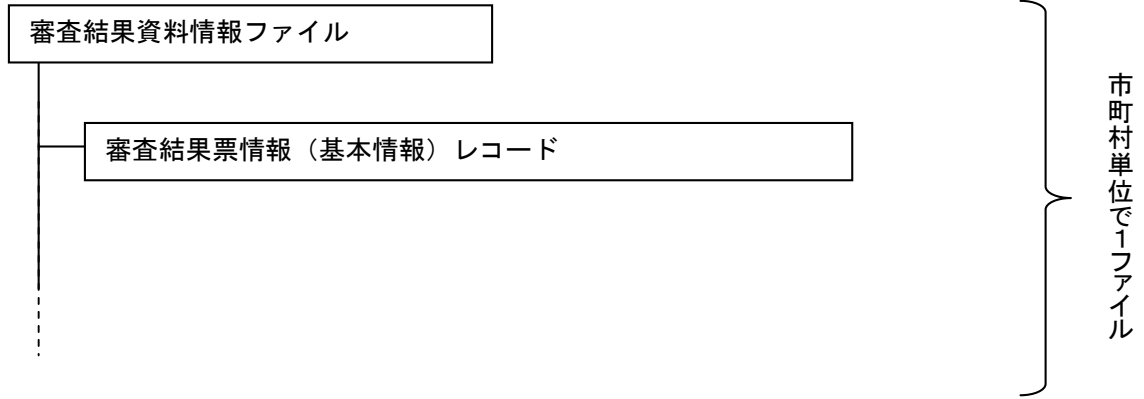
※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。



## 審査結果票情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



(2) 審査結果一覧情報 (B821)

審査結果一覧情報は、点検済明細書等情報の下記レコードを対象に審査結果情報を作成する。

< 審査結果一覧情報作成対象レコード >

項番	審査結果一覧情報作成レコード	入力識別番号
(1)	障害児通所給付費・入所給付費等明細書情報 サービス提供年月が平成 24 年 4 月以降使用	K122
(2)	特例障害児通所給付費等明細書情報 サービス提供年月が平成 24 年 4 月以降使用	K221
(3)	障害児相談支援給付費請求書情報 サービス提供年月が平成 24 年 4 月以降使用	K311
(4)	特例障害児相談支援給付費請求書情報 サービス提供年月が平成 24 年 4 月以降使用	K321

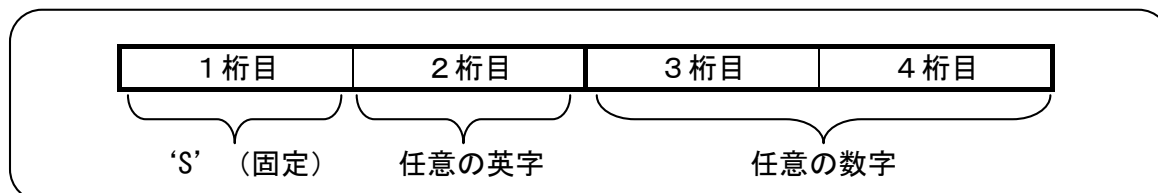
①審査結果一覧情報レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2
3	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y
4	審査年月日	コード値	8	審査年月日(西暦年月 YYYYMMDD)を設定する	◎	※Y
5	返戻事由コード	英数	4	市町村が定めた返戻事由コードを設定する	◎	※3
6	返戻事由	漢字	60	市町村が定めた返戻事由コードに対応する返戻事由を設定する	◎	
7	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	※Y
8	都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデジット1桁含む)	◎	※C
9	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
10	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C

※1: 必須入力 ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要

※2: 「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.3.2(2)審査結果一覧情報作成対象レコード」参照。

※3: 返戻事由コードの構成は下記のとおり。



※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

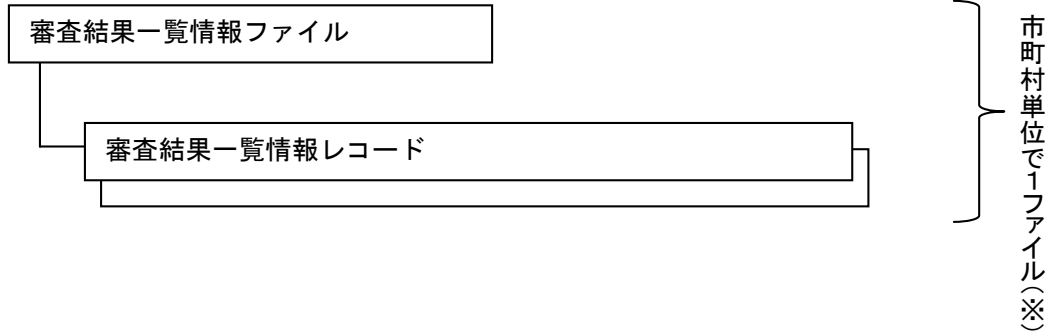
※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

## 審査結果一覧情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



※政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、  
政令市単位で1ファイルとする

### 2. 3. 3 都道府県等請求情報

(1) 障害児給付費等払込請求書 (B9A1) (帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません

(2) 障害児給付費等払込請求書内訳表 (B9B1) (帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません

(3) 障害児給付費等支払手数料払込請求書 (B9C1) (帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません

(4) 障害児給付費等請求額通知書 (B9D1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(5) 障害児給付費等決定請求明細表 (B9E1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(6) 返戻等一覧表 (B9F1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

2. 3. 4 過誤申立書情報 (BA11)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	申立年月日	コード値	8	過誤申立の申立年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y
3	事業所番号	コード値	10	サービス提供事業所番号を設定する	◎	※C
4	証記載都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号を設定する	◎	※C
5	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	◎	※C
6	サービス提供年月	コード値	6	過誤申立の対象となるサービス提供年月(西暦年月(YYYYMM))を設定する	◎	※Y
7	申立事由コード	英数	4	過誤申立の事由コードを設定する	◎	※2 ※C

※1: 必須入力 ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要

※2: 申立事由コードは、4桁の英数字属性のコードとし、申立情報作成の都度入力を行う。

(1) 過誤申立事由コード構成(上2桁: 様式番号、下2桁: 申立理由番号)は、以下のとおり。

<p>【様式番号】(上2桁)</p> <p>41: 障害児通所給付費・入所給付費等明細書(様式第二) (サービス提供年月が平成24年4月以降使用)</p> <p>60: 障害児相談支援給付費請求書(様式第三) (サービス提供年月が平成24年4月以降使用)</p> <p>70: 特例障害児通所給付費等明細書(様式第五) (サービス提供年月が平成24年4月以降使用)</p> <p>71: 特例障害児相談支援給付費請求書(様式第六) (サービス提供年月が平成24年4月以降使用)</p>	<p>【申立理由番号】(下2桁)</p> <p>01: 台帳誤り修正による市町村申立の過誤調整</p> <p>02: 請求誤りによる実績取り下げ</p> <p>09: 時効による市町村申立の取り下げ</p> <p>11: 台帳誤り修正による事業所申立の実績取り下げ</p> <p>32: 提供実績記録票誤りによる実績の取り下げ</p> <p>33: 上限の誤りによる実績取り下げ</p> <p>90: その他の事由による台帳過誤</p> <p>99: その他の事由による実績の取り下げ</p>
--	--

(2) 明細書を過誤とした場合は、サービス提供実績記録票も過誤とする。

(3) 利用者負担上限額管理結果票は過誤対象ではなく、事業所インタフェースで修正/取消を行う。

(4) 請求支払額確定後の利用者負担上限額管理結果票の修正はエラーとなるが、利用者負担上限額管理結果票を修正する場合は、過誤申立を行い、請求明細書と利用者負担上限額管理票を再度提出する。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

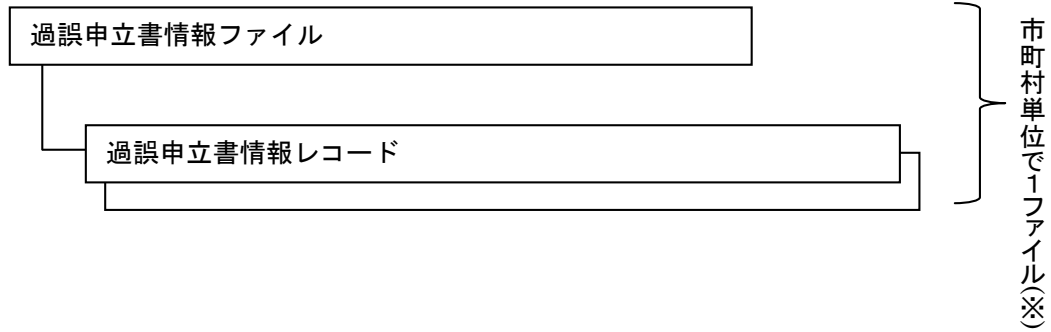
※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

## 過誤申立書情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



※政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、  
政令市単位で1ファイルとする

### 2. 3. 5 過誤決定通知書 (BBA1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

## 2. 3. 6 取込エラーリスト

### (1) 審査結果票情報取込エラーリスト (BEA1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

### (2) 審査結果一覧情報取込エラーリスト (BEB1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

### (3) 過誤申立書情報取込エラーリスト (BEC1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

## 2. 3. 7 受付点検エラーリスト

### (1) 審査結果票情報受付点検エラーリスト (BFA1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

### (2) 審査結果一覧情報受付点検エラーリスト (BFB1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

### (3) 過誤申立書情報受付点検エラーリスト (BFC1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

### Ⅲ. 市町村事務共同処理

#### 1 台帳管理業務

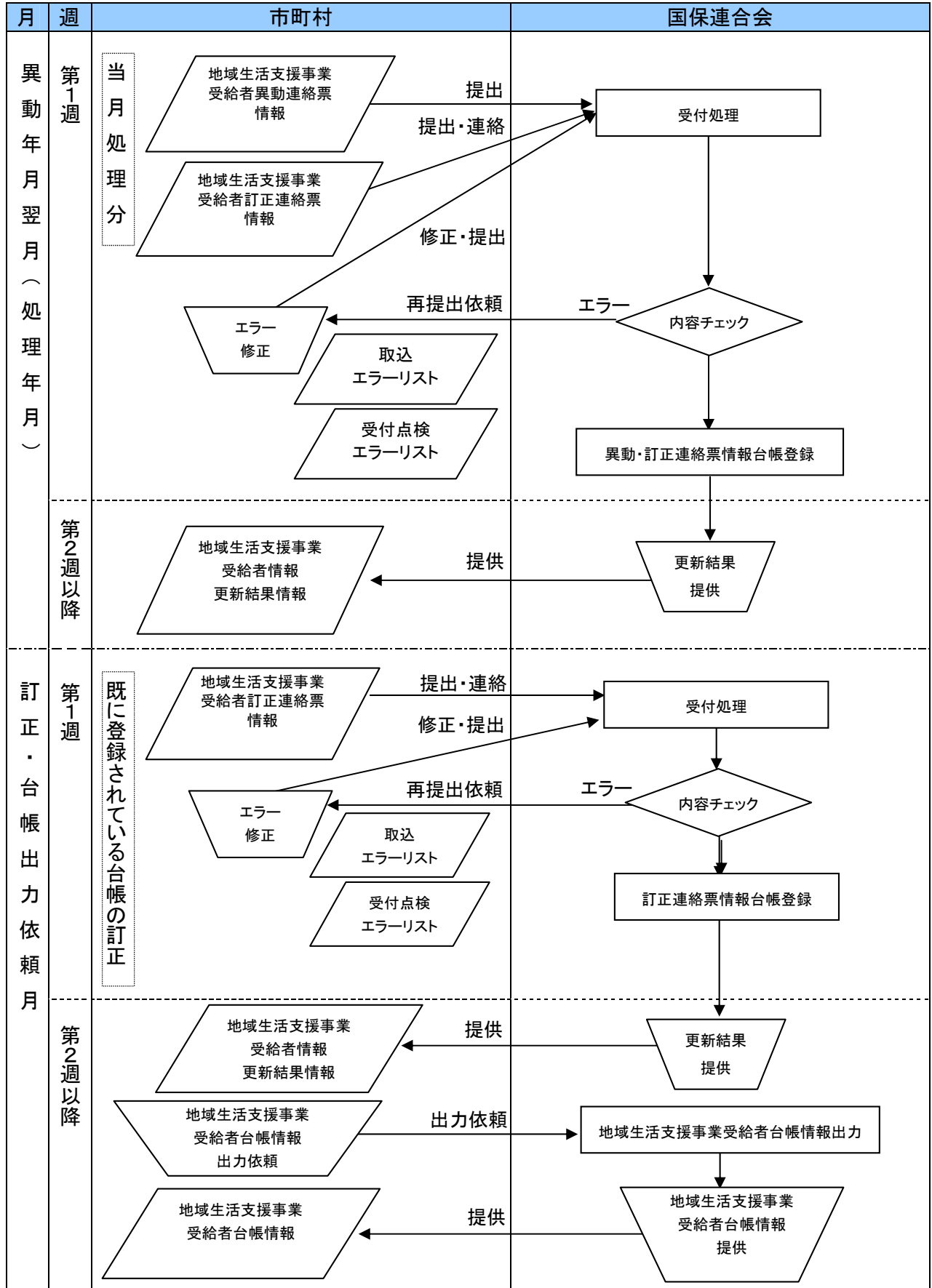


1. 1 受け渡し概要図

1. 1. 1 地域生活支援事業受給者情報受け渡し概要

市町村	国保連合会
<p>1. 市町村は、地域生活支援事業の受給者情報に異動が発生した場合、国保連合会に地域生活支援事業受給者異動連絡票情報(基本情報・支給決定情報)を提出する。 なお、当月提出分の異動連絡票情報に訂正がある場合は国保連合会に連絡の上、地域生活支援事業受給者情報訂正連絡票情報(基本情報・支給決定情報)を提出する。</p> <p>3. 市町村は、エラー内容の修正を行い、再度、国保連合会に提出する。(以降、エラーが無くなるまで繰り返す)</p>	<p>2. 国保連合会は、受け付けた地域生活支援事業受給者異動連絡票情報等について内容のチェックを行い、エラーを発見した場合は取込エラーリスト、受付点検エラーリストを提供し、市町村に再提出を依頼する。</p> <p>4. 異動・訂正連絡票情報により、台帳を更新した結果を市町村に提供する。</p>
<p>5. 市町村は、地域生活支援事業受給者台帳の誤りを発見した場合、国保連合会に連絡の上、地域生活支援事業受給者訂正連絡票情報を提出する。なお、当該訂正が給付実績に影響がある場合には、過誤申立書情報も提出する。</p> <p>7. 市町村は、エラー内容の修正を行い、再度、国保連合会に提出する。(以降、エラーが無くなるまで繰り返す)</p> <p>9. 市町村は、国保連合会が保有している地域生活支援事業受給者情報の出力を依頼する。なお、出力を依頼する時期は、当月処理分の異動連絡票情報を含まないのであれば、第1週とすることも可能。</p>	<p>6. 国保連合会は受け付けた地域生活支援事業受給者訂正連絡票情報を基に地域生活支援事業受給者台帳の内容を更新する。その際、エラーを発見した場合は取込エラーリスト、受付点検エラーリストを提供し、市町村に再提出を依頼する。</p> <p>8. 地域生活支援事業受給者訂正連絡票情報により、台帳を更新した結果を市町村に提供する。</p> <p>10. 市町村からの出力依頼により、地域生活支援事業受給者台帳の内容を出力し、提供する。</p>
<p>備考</p>	

地域生活支援事業受給者情報受け渡し概要図

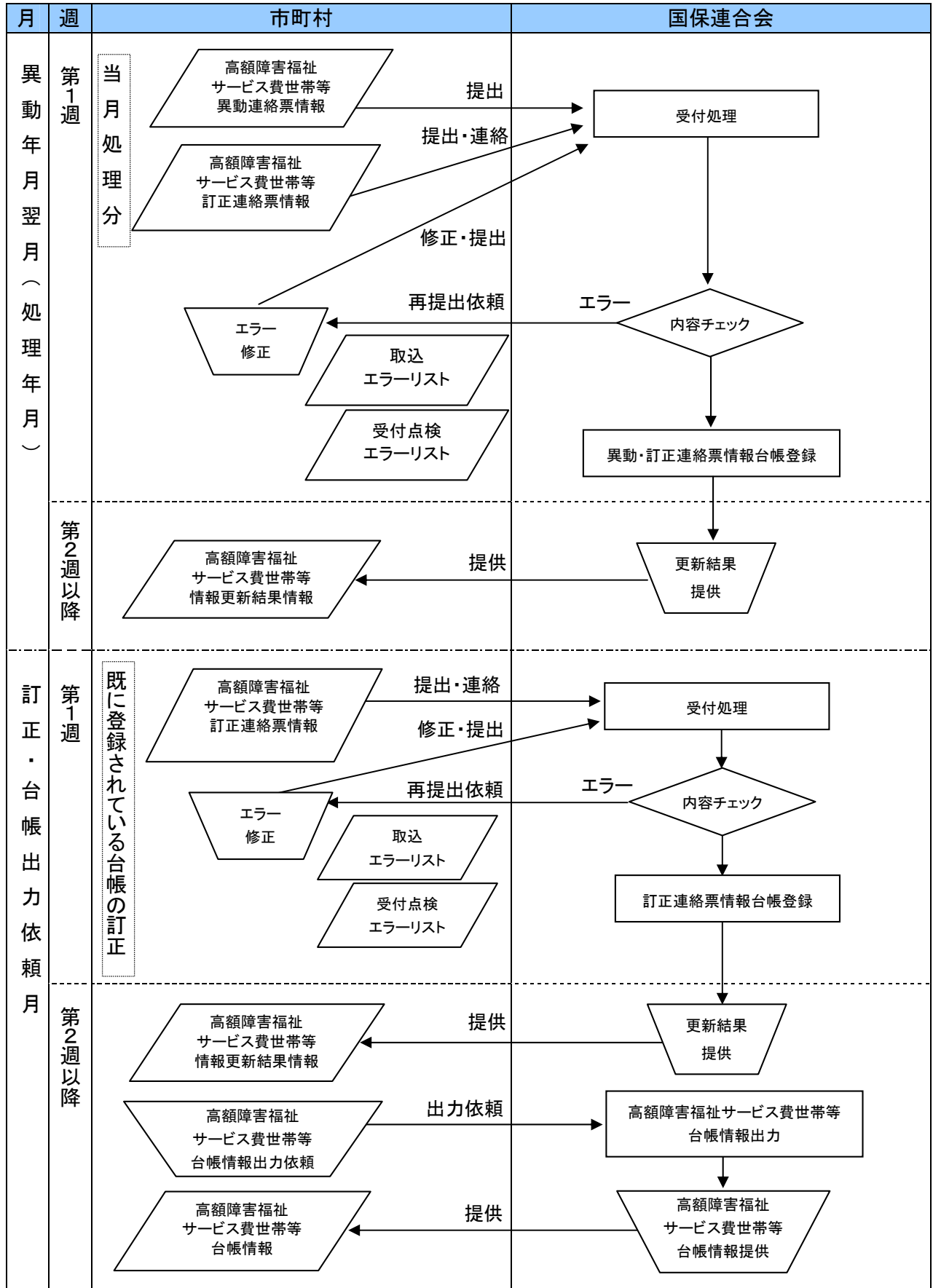


1. 1. 2 高額障害福祉サービス費世帯等情報・高額障害児給付費世帯等情報受け渡し概要

市町村	国保連合会
<p>1. 市町村は、高額障害福祉サービス費・高額障害児給付費の算定に必要な世帯等情報に異動が発生した場合、国保連合会に高額障害福祉サービス費世帯等異動連絡票情報・高額障害児給付費世帯等異動連絡票情報を提出する。</p> <p>なお、当月提出分の異動連絡票情報に訂正がある場合は国保連合会に連絡の上、高額障害福祉サービス費世帯等訂正連絡票情報・高額障害児給付費世帯等訂正連絡票情報を提出する。</p> <p>3. 市町村は、エラー内容の修正を行い、再度、国保連合会に提出する。（以降、エラーが無くなるまで繰り返す）</p>	<p>2. 国保連合会は、受け付けた高額障害福祉サービス費世帯等異動連絡票情報・高額障害児給付費世帯等異動連絡票情報等について内容のチェックを行い、エラーを発見した場合は取込エラーリスト、受付点検エラーリストを提供し、市町村に再提出を依頼する。</p> <p>4. 異動・訂正連絡票情報により、台帳を更新した結果を市町村に提供する。</p>
<p>5. 市町村は、高額障害福祉サービス費・高額障害児給付費の算定に必要な世帯等情報に誤りを発見した場合、国保連合会に連絡の上、高額障害福祉サービス費世帯等訂正連絡票情報・高額障害児給付費世帯等訂正連絡票情報を提出する。</p> <p>7. 市町村は、エラー内容の修正を行い、再度、国保連合会に提出する。（以降、エラーが無くなるまで繰り返す）</p> <p>9. 市町村は、国保連合会が保有している世帯等台帳情報の出力を依頼する。</p> <p>なお、出力を依頼する時期は、当月処理分の異動連絡票情報を含まないのであれば、第1週とすることも可能。</p>	<p>6. 国保連合会は受け付けた高額障害福祉サービス費世帯等訂正連絡票情報・高額障害児給付費世帯等訂正連絡票情報を基に台帳の内容を更新する。その際、エラーを発見した場合は取込エラーリスト、受付点検エラーリストを提供し、市町村に再提出を依頼する。</p> <p>8. 高額障害福祉サービス費世帯等訂正連絡票情報・高額障害児給付費世帯等訂正連絡票情報により、台帳を更新した結果を市町村に提供する。</p> <p>10. 市町村からの出力依頼により、高額障害福祉サービス費世帯等台帳情報・高額障害児給付費世帯等台帳情報の内容を出力し、提供する。</p>
備考	

高額障害福祉サービス費世帯等情報・高額障害児給付費世帯等異情報受け渡し概要図

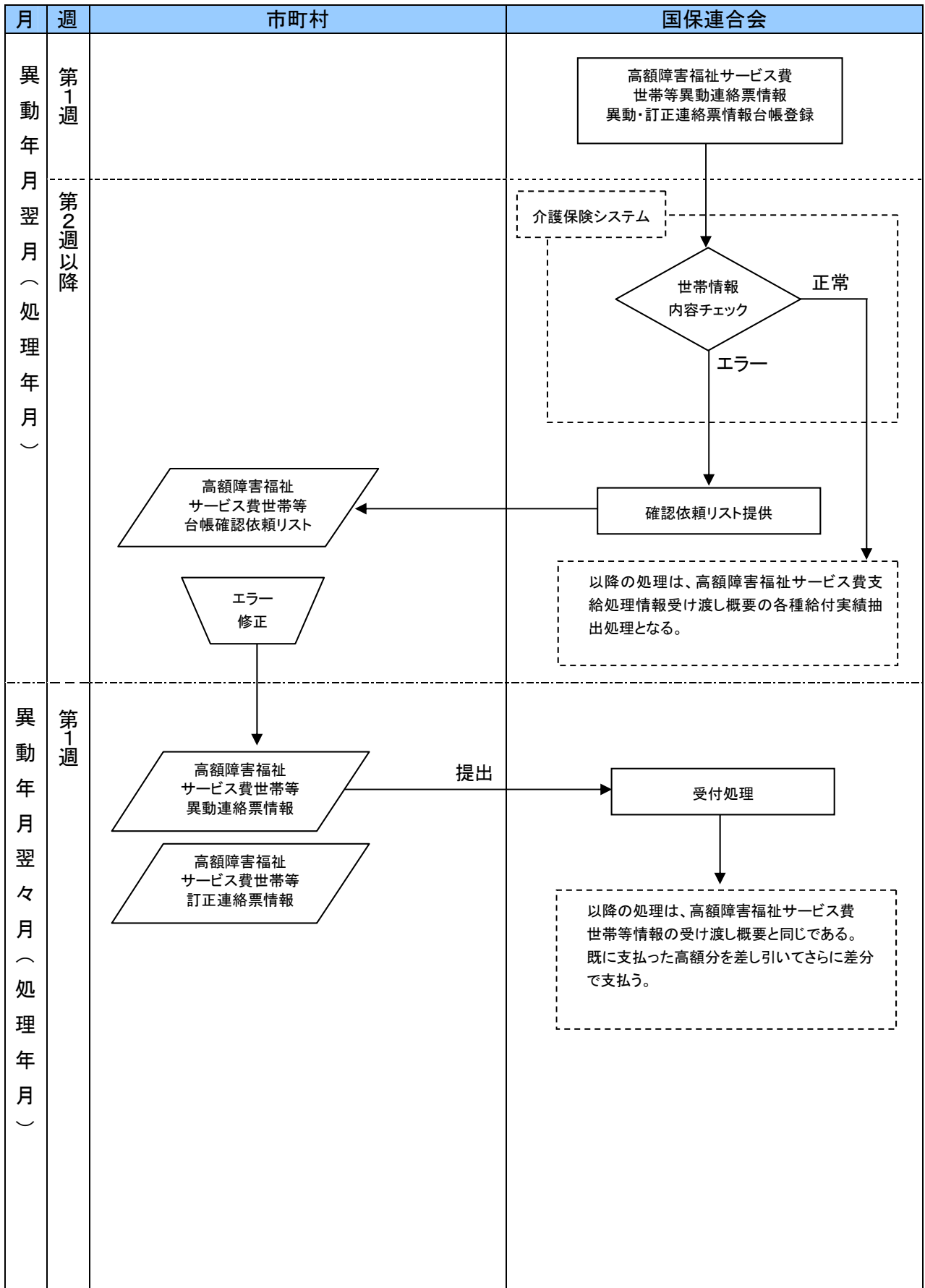
下記内容は、高額障害福祉サービス費世帯等情報での説明である。



1. 1. 3 高額障害福祉サービス費世帯等台帳確認依頼リスト受け渡し概要

市町村	国保連合会
<p>4. 市町村は、高額障害福祉サービス費世帯等台帳確認リストを確認し、誤りを修正し、高額障害福祉サービス費世帯等異動・訂正連絡票情報を再度提出する。(※2)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国保連合会は、高額障害福祉サービス費世帯等異動・訂正連絡票情報を台帳に更新後、台帳の情報に基づき介護保険システムに「保険者番号」と「被保険者番号」を送付する。(※1)</li> <li>2. 介護保険システム側で「保険者番号」と「被保険者番号」が存在しない場合、支払等システムにそのエラー情報を提供する。(エラーの場合は、介護保険の給付実績以外の情報にて高額計算を行う)。</li> <li>3. 国保連合会は、介護保険システム側より提供されたエラー情報を基に高額障害福祉サービス費世帯等台帳確認依頼リストを作成し、市町村に提供する。</li> </ol>
<p><b>備考</b>            ※1:高額計算に必要な介護保険の給付実績の情報を提供してもらうため、「保険者番号」と「被保険者番号」を介護保険システムに送付する。            ※2:再度介護保険の給付実績を入手し高額計算を行うには、市町村が介護保険システム側でエラーとなった当該対象者のデータに対して台帳過誤を行う必要がある。</p>	

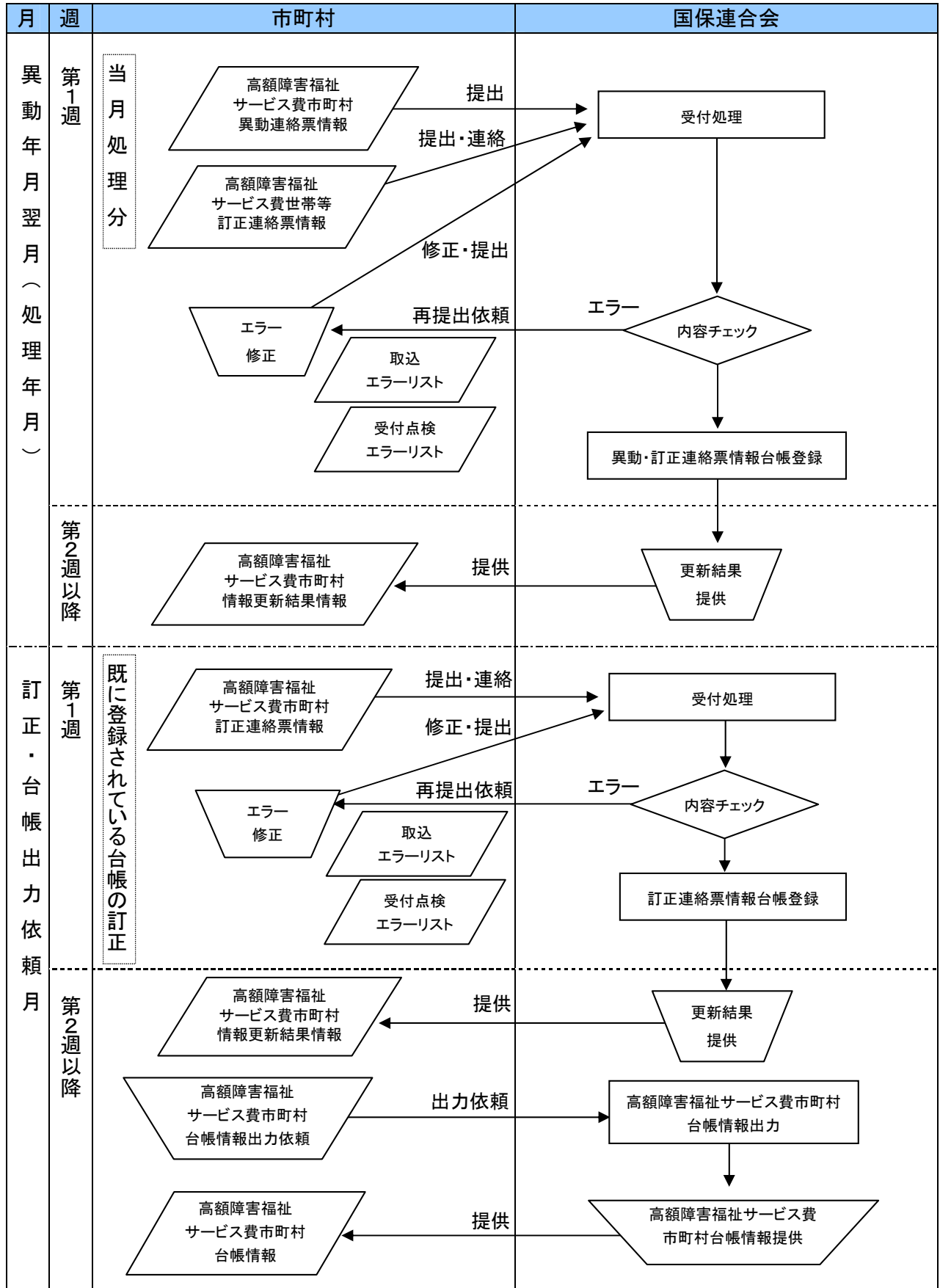
高額障害福祉サービス費世帯等台帳確認依頼リスト受け渡し概要図



1. 1. 4 高額障害福祉サービス費市町村情報・高額障害児給付費都道府県等情報  
受け渡し概要

市町村	国保連合会
<p>1. 市町村は、高額障害福祉サービス費・高額障害児給付費の支払処理に必要な問合せ等情報に異動が発生した場合、高額障害福祉サービス費市町村異動連絡票情報・高額障害児給付費都道府県等異動連絡票情報を提出する。なお、当月提出分の異動連絡票情報に訂正がある場合は国保連合会に連絡の上、訂正連絡票情報を提出する。</p> <p>3. 市町村、エラー内容の修正を行い、再度、国保連合会に提出する。(以降、エラーが無くなるまで繰り返す)</p>	<p>2. 国保連合会は、受け付けた高額障害福祉サービス費市町村異動連絡票情報・高額障害児給付費都道府県等異動連絡票情報等について内容チェックを行い、エラーを発見した場合は取込エラーリスト、受付点検エラーリストを提供し、市町村に再提出を依頼する。</p> <p>4. 異動・訂正連絡票情報により、台帳を更新した結果を市町村に提供する。</p>
<p>5. 市町村は、高額障害福祉サービス費・高額障害児給付費の支払処理に必要な問合せ情報等に誤りを発見した場合、国保連合会に連絡の上、高額障害福祉サービス費市町村訂正連絡票情報・高額障害児給付費都道府県等訂正連絡票情報を提出する。</p> <p>7. 市町村は、エラー内容の修正を行い、再度、国保連合会に提出する。(以降、エラーが無くなるまで繰り返す)</p> <p>9. 市町村は、国保連合会が保有している高額障害福祉サービス費市町村・高額障害児給付費都道府県等台帳情報の出力を依頼する。尚、出力を依頼する時期は、当月処理分の異動連絡票情報を含まないのであれば、第1週とすることも可能。</p>	<p>6. 国保連合会は受け付けた訂正連絡票情報を基に高額障害福祉サービス費・高額障害児給付費の支払処理に必要な問合せ等情報を基に台帳の内容を修正する。その際、エラーが発生した場合は取込エラーリスト、受付点検エラーリストを提供し、市町村にエラー内容を確認し、エラーを修正する。</p> <p>8. 訂正連絡票情報により、台帳を更新した結果を市町村に提供する。</p> <p>10. 市町村からの出力依頼により、高額障害福祉サービス費市町村・高額障害児給付費都道府県等台帳情報の内容を出力し、提供する。</p>
備考	

高額障害福祉サービス費市町村情報・高額障害児給付費都道府県等情報受け渡し概要  
 下記内容は、高額障害福祉サービス費市町村情報での説明である。

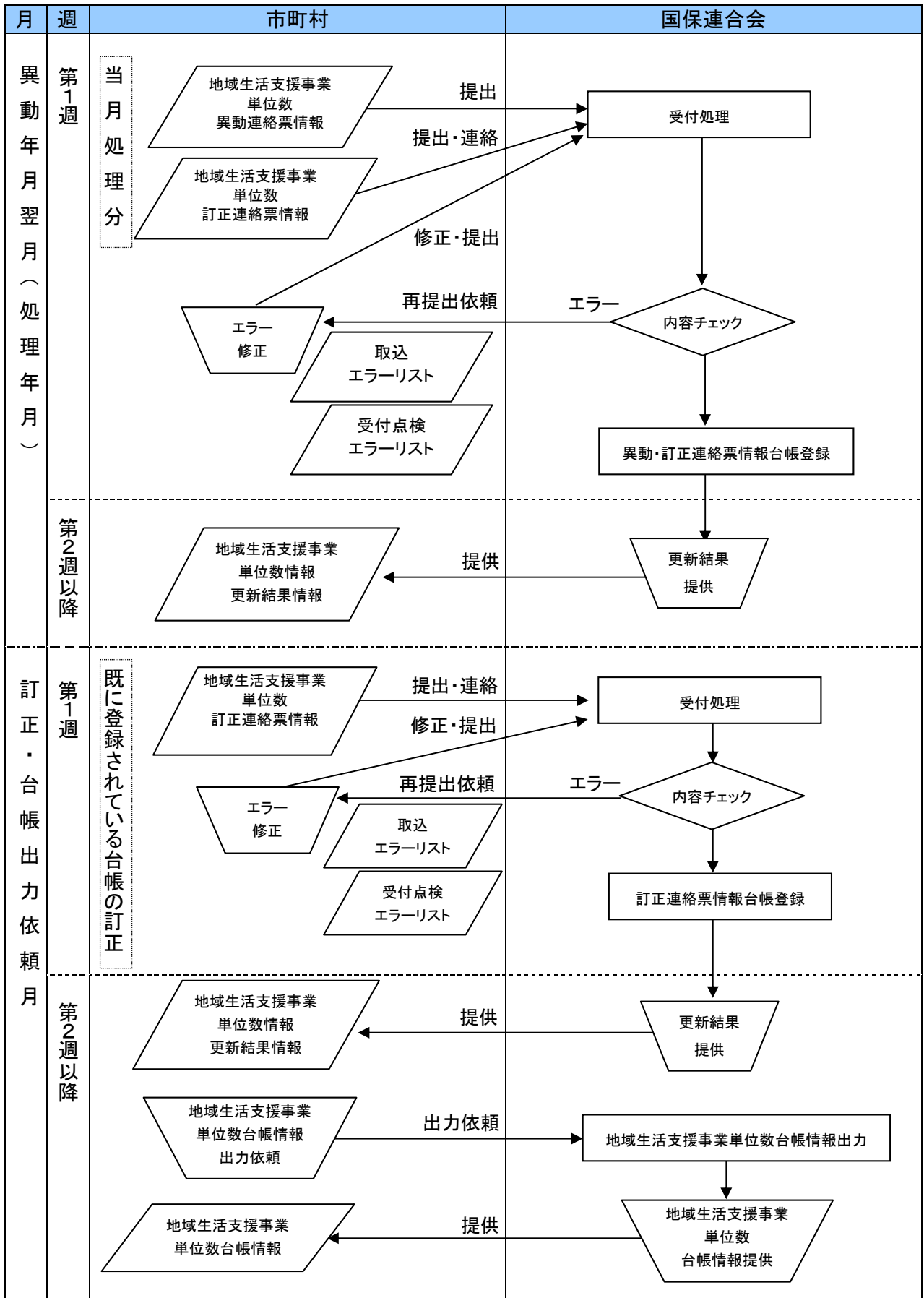




1. 1. 5 地域生活支援事業単位数情報受け渡し概要

市町村	国保連合会
<p>1. 市町村は、地域生活支援事業の単位数情報に異動が発生した場合、国保連合会に地域生活支援事業単位数異動連絡票情報を提出する。 なお、当月提出分の異動連絡票情報に訂正がある場合は国保連合会に連絡の上、地域生活支援事業単位数訂正連絡票情報を提出する。</p> <p>3. 市町村は、エラー内容の修正を行い、再度、国保連合会に提出する。(以降、エラーが無くなるまで繰り返す)</p>	<p>2. 国保連合会は、受け付けた地域生活支援事業単位数異動連絡票情報等について内容のチェックを行い、エラーを発見した場合は取込エラーリスト、受付点検エラーリストを提供し、市町村に再提出を依頼する。</p> <p>4. 異動・訂正連絡票情報により、台帳を更新した結果を市町村に提供する。</p>
<p>5. 市町村は、地域生活支援事業単位数台帳の誤りを発見した場合、国保連合会に連絡の上、地域生活支援事業単位数訂正連絡票情報を提出する。</p> <p>7. 市町村は、エラー内容の修正を行い、再度、国保連合会に提出する。(以降、エラーが無くなるまで繰り返す)</p> <p>9. 市町村は、国保連合会が保有している単位数台帳情報の出力を依頼する。 なお、出力を依頼する時期は、当月処理分の異動連絡票情報を含まないのであれば、第1週とすることも可能。</p>	<p>6. 国保連合会は受け付けた地域生活支援事業単位数訂正連絡票情報を基に地域生活支援事業単位数台帳の内容を更新する。その際、エラーを発見した場合は取込エラーリスト、受付点検エラーリストを提供し、市町村に再提出を依頼する。</p> <p>8. 地域生活支援事業単位数訂正連絡票情報により、台帳を更新した結果を市町村に提供する。</p> <p>10. 市町村からの出力依頼により、地域生活支援事業単位数台帳の内容を出力し、提供する。</p>
備考	

地域生活支援事業単位数情報受け渡し概要図



## 1. 2 インタフェース一覧

### 1. 2. 1 異動情報（入力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	F111	地域生活支援事業受給者異動連絡票情報(基本情報)	地域生活支援事業情報処理用の受給者異動情報(基本情報)	市町村 → 国保連合会	月次	伝送
(2)	F121	地域生活支援事業受給者異動連絡票情報(支給決定情報)	地域生活支援事業情報処理用の受給者異動情報(支給決定情報)	市町村 → 国保連合会	月次	伝送
(3)	F131	高額障害福祉サービス費世帯等異動連絡票情報	高額障害福祉サービス費用の受給者の漢字氏名・住所・世帯集約番号等の世帯の異動情報	市町村 → 国保連合会	月次	伝送
(4)	C131	高額障害児給付費世帯等異動連絡票情報	高額障害児給付費の受給者の漢字氏名・住所・世帯集約番号等の世帯の異動情報	市町村 → 国保連合会	月次	伝送
(5)	F141	高額障害福祉サービス費市町村異動連絡票情報	市町村の口座・問い合わせ先の異動情報	市町村 → 国保連合会	変更時	伝送
(6)	C141	高額障害児給付費都道府県等異動連絡票情報	市町村の口座・問い合わせ先の異動情報	市町村 → 国保連合会	変更時	伝送
(7)	F151	地域生活支援事業単位数異動連絡票情報	地域生活支援事業の単位数の異動情報	市町村 → 国保連合会	変更時	伝送

### 1. 2. 2 訂正情報（入力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	F211	地域生活支援事業受給者訂正連絡票情報(基本情報)	地域生活支援事業情報処理用の受給者訂正情報(基本情報)	市町村 → 国保連合会	訂正時	伝送
(2)	F221	地域生活支援事業受給者訂正連絡票情報(支給決定情報)	地域生活支援事業情報処理用の受給者訂正情報(支給決定情報)	市町村 → 国保連合会	訂正時	伝送
(3)	F231	高額障害福祉サービス費世帯等訂正連絡票情報	高額障害福祉サービス費用の受給者の漢字氏名・住所・世帯集約番号等の世帯の訂正情報	市町村 → 国保連合会	訂正時	伝送
(4)	C231	高額障害児給付費世帯等訂正連絡票情報	高額障害児給付費の受給者の漢字氏名・住所・世帯集約番号等の世帯の訂正情報	市町村 → 国保連合会	訂正時	伝送
(5)	F241	高額障害福祉サービス費市町村訂正連絡票情報	市町村の口座・問い合わせ先の訂正情報	市町村 → 国保連合会	訂正時	伝送
(6)	C241	高額障害児給付費都道府県等訂正連絡票情報	市町村の口座・問い合わせ先の訂正情報	市町村 → 国保連合会	訂正時	伝送
(7)	F251	地域生活支援事業単位数訂正連絡票情報	地域生活支援事業の単位数の訂正情報	市町村 → 国保連合会	訂正時	伝送

1. 2. 3 更新結果情報（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	F311	地域生活支援事業受給者情報更新結果情報(基本情報)	地域生活支援事業情報処理用の受給者更新情報(基本情報)	国保連合会 → 市町村	月次	伝送
(2)	F321	地域生活支援事業受給者情報更新結果情報(支給決定情報)	地域生活支援事業情報処理用の受給者更新情報(支給決定情報)	国保連合会 → 市町村	月次	伝送
(3)	F331	高額障害福祉サービス費世帯等情報更新結果情報	高額障害福祉サービス費用の受給者の漢字氏名・住所・世帯集約番号等の世帯の更新情報	国保連合会 → 市町村	月次	伝送
(4)	C331	高額障害児給付費世帯等情報更新結果情報	高額障害児給付費用の受給者の漢字氏名・住所・世帯集約番号等の世帯の更新情報	国保連合会 → 市町村	月次	伝送
(5)	F341	高額障害福祉サービス費市町村情報更新結果情報	市町村の口座・問い合わせ先の更新情報	国保連合会 → 市町村	変更時	伝送
(6)	C341	高額障害児給付費都道府県等情報更新結果情報	市町村の口座・問い合わせ先の更新情報	国保連合会 → 市町村	変更時	伝送
(7)	F351	地域生活支援事業単位数情報更新結果情報	地域生活支援事業の単位数の更新情報	国保連合会 → 市町村	変更時	伝送

1. 2. 4 国保連合会台帳情報（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	F411	地域生活支援事業受給者台帳連絡票情報(基本情報)	地域生活支援事業情報処理用の受給者台帳情報(基本情報)	国保連合会 → 市町村	依頼時	伝送
(2)	F421	地域生活支援事業受給者台帳連絡票情報(支給決定情報)	地域生活支援事業情報処理用の受給者台帳情報(支給決定情報)	国保連合会 → 市町村	依頼時	伝送
(3)	F431	高額障害福祉サービス費世帯等台帳情報	高額障害福祉サービス費用の受給者の漢字氏名・住所・世帯集約番号等の世帯の台帳情報	国保連合会 → 市町村	依頼時	伝送
(4)	C431	高額障害児給付費世帯等台帳情報	高額障害児給付費用の受給者の漢字氏名・住所・世帯集約番号等の世帯の台帳情報	国保連合会 → 市町村	依頼時	伝送
(5)	F441	高額障害福祉サービス費市町村台帳情報	市町村の口座・問い合わせ先の台帳情報	国保連合会 → 市町村	依頼時	伝送
(6)	C441	高額障害児給付費都道府県等台帳情報	市町村の口座・問い合わせ先の台帳情報	国保連合会 → 市町村	依頼時	伝送
(7)	F451	地域生活支援事業単位数台帳情報	地域生活支援事業の単位数の台帳情報	国保連合会 → 市町村	依頼時	伝送

1. 2. 5 取込エラーリスト（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	FGA1	地域生活支援事業受給者 台帳取込エラーリスト	地域生活支援事業受給者異動・訂正 連絡票情報（基本情報・支給決定情 報）取込時のエラーリスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(2)	FGB1	高額障害福祉サービス費 世帯等台帳 取込エラーリスト	高額障害福祉サービス費世帯等異 動・訂正連絡票情報取込時のエラー リスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(3)	CEA1	高額障害児給付費世帯等 台帳 取込エラーリスト	高額障害児給付費世帯等異動・訂正 連絡票情報取込時のエラーリスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(4)	FGC1	高額障害福祉サービス費 市町村台帳 取込エラーリスト	高額障害福祉サービス費市町村異 動・訂正連絡票情報取込時のエラー リスト	国保連合会 → 市町村	変更時	PDF
(5)	CEB1	高額障害児給付費都道府 県等台帳 取込エラーリスト	高額障害児給付費都道府県等異動・ 訂正連絡票情報取込時のエラーリ スト	国保連合会 → 市町村	変更時	PDF
(6)	FGD1	地域生活支援事業単位数 台帳取込エラーリスト	地域生活支援事業単位数異動・訂正 連絡票情報取込時のエラーリスト	国保連合会 → 市町村	変更時	PDF

1. 2. 6 受付点検エラーリスト（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	FHA1	地域生活支援事業受給者 台帳受付点検エラーリス ト（基本情報）	地域生活支援事業受給者異動・訂正 連絡票情報（基本情報）受付点検時 のエラーリスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(2)	FHB1	地域生活支援事業受給者 台帳受付点検エラーリス ト（支給決定情報）	地域生活支援事業受給者異動・訂正 連絡票情報（支給決定情報）受付点 検時のエラーリスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(3)	FHC1	高額障害福祉サービス費 世帯等台帳 受付点検エラーリスト	高額障害福祉サービス費世帯等異 動・訂正連絡票情報受付点検時のエ ラーリスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(4)	CFA1	高額障害児給付費世帯等 台帳 受付点検エラーリスト	高額障害児給付費世帯等異動・訂正 連絡票情報受付点検時のエラーリ スト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(5)	FHD1	高額障害福祉サービス費 市町村台帳 受付点検エラーリスト	高額障害福祉サービス費市町村異 動・訂正連絡票情報受付点検時のエ ラーリスト	国保連合会 → 市町村	変更時	PDF
(6)	CFB1	高額障害児給付費都道府 県等台帳 受付点検エラーリスト	高額障害児給付費都道府県等異動・ 訂正連絡票情報受付点検時のエラ ーリスト	国保連合会 → 市町村	変更時	PDF
(7)	FHE1	地域生活支援事業単位数 台帳受付点検エラーリス ト	地域生活支援事業単位数異動・訂正 連絡票情報受付点検時のエラーリ スト	国保連合会 → 市町村	変更時	PDF

1. 2. 7 確認依頼リスト（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	FIA1	高額障害福祉サービス費世帯等 台帳確認依頼リスト	高額計算に必要な介護保険の給付実績の情報を提供してもらうため、「保険者番号」と「被保険者番号」を介護保険システムに送付するが、介護保険システム側で「保険者番号」と「被保険者番号」が存在しない場合エラーとなる。そのエラー情報を確認するためのリスト。	国保連合会 → 市町村	月次	PDF

### 1. 3 項目説明

本節では、「インタフェース仕様書 共通編 1. 2. 2(2)レコードフォーマット」のデータレコードフォーマットにおいて“データ”として記載されている項目の各交換情報のインタフェースについて記載する。

なお、障害児入所支援に関するインタフェースの項目説明は、インタフェース仕様書都道府県編を参照。

#### 1. 3. 1 異動情報（入力情報）

##### (1) 地域生活支援事業受給者異動連絡票情報（基本情報）(F111)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	異動年月日	コード値	8	受給者異動連絡票情報(基本情報)に変更等が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	◎	※Y	
3	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	◎	1:新規 2:変更 3:終了	
4	異動事由	コード値	2	受給者異動連絡票情報(基本情報)の異動事由を設定する	◎	※C	
5	証記載市町村番号	コード値	6	受給者証記載の市町村番号を設定する	◎	※C	
6	政令市市町村番号	コード値	6	政令市が受給者を行政区で分けて管理する場合のみ政令市の市町村番号を設定する	○	※C	
7	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	◎	※C	
8	障害区分コード	コード値	2	障害区分コードを設定する	◎	※C	
9	受給者情報	受給者氏名(カナ)	英数	25	受給者氏名カナを設定する	◎	※2
10		生年月日	コード値	8	生年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y
11	児童情報	児童氏名(カナ)	英数	25	児童氏名カナを設定する	○	※2
12		生年月日	コード値	8	生年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	○	※Y

※1:必須入力 ◎:必須、○:決定内容により必須、△:任意設定、空白:不要

※2:カナ名の設定ができない場合は、半角文字のダミーデータ等を設定する。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。



## (2) 地域生活支援事業受給者異動連絡票情報(支給決定情報)(F121)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	異動年月日	コード値	8	受給者異動連絡票情報(支給決定情報)に変更等が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	◎	※Y
3	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	◎	1:新規 2:変更 3:終了
4	異動事由	コード値	2	受給者異動連絡票情報(支給決定情報)の異動事由を設定する	◎	※C
5	証記載市町村番号	コード値	6	受給者証記載の市町村番号を設定する	◎	※C
6	政令市市町村番号	コード値	6	政令市が受給者を行政区で分けて管理する場合のみ政令市の市町村番号を設定する	○	※C
7	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	◎	※C
8	決定サービスコード	コード値	6	決定したサービスのコード(上2桁サービス種類部、下4桁サービス項目部)を設定する	◎	※C
9	決定支給量	数値	8	決定した支給量(上6桁整数部、下2桁小数部)を設定する	○	
10	支給量単位区分	コード値	1	決定した支給量の単位区分を設定する	○	※C
11	決定支給期間 (開始年月日)	コード値	8	決定サービスの有効期間の開始年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y
12	決定支給期間 (終了年月日)	コード値	8	決定サービスの有効期間の終了年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y

※1: 必須入力 ◎: 必須、○: 決定内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

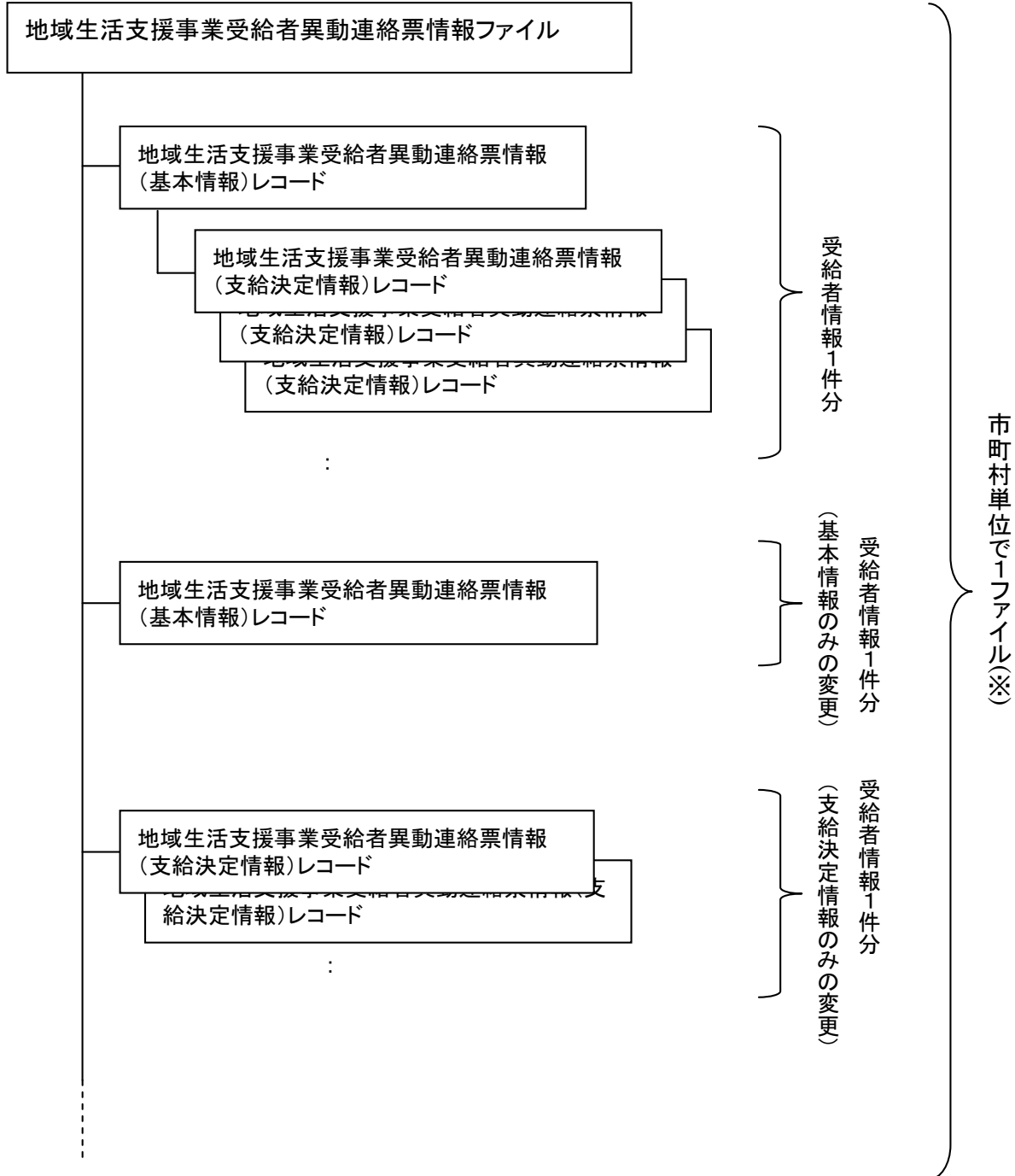
※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。



# 地域生活支援事業受給者異動連絡票情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



※政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、政令市単位で1ファイルとする

## (3) 高額障害福祉サービス費世帯等異動連絡票情報 (F131)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	異動年月日	コード値	8	世帯等情報に変更等が生じた年月 (西暦年月(YYYYMM))と連番(異動 順)を設定する	◎	※Y	
3	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	◎	1:新規 2:変更 ※2	
4	異動事由	コード値	2	世帯等情報の異動事由を設定する	◎	※C	
5	証記載市町村番号	コード値	6	受給者証記載の市町村番号を設定す る	◎	※C	
6	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	◎	※C	
7	受給者情報	受給者氏名 (漢字)	漢字	40	受給者氏名(漢字)を設定する	◎	
8		郵便番号	コード値	7	受給者の郵便番号を設定する	◎	
9		住所(カナ)	英数	75	受給者の住所(カナ)を設定する	◎	
10		住所(漢字)	漢字	128	受給者の住所(漢字)を設定する	◎	
11		電話番号	英数	15	受給者の電話番号を設定する	◎	
12	児童氏名(漢字)	漢字	40	児童氏名(漢字)を設定する	○		
13	世帯集約番号	英数	10	世帯集約番号を設定する	◎	※3	
14	特例世帯有無	コード値	1	特例世帯の有無を設定する	◎	※4	

項番	項目名	属性 (※2)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考	
15	世帯算定所得区分	英数	2	世帯基準となる所得区分コードを設定する	◎	※C	
16	世帯算定基準額	数値	6	高額障害福祉サービス費の算定基準額を設定する	◎		
17	介護保険情報	保険者番号	コード値	6	介護保険の保険者番号を設定する (介護保険情報との世帯合算に使用)	○	※5
18		被保険者番号	英数	10	介護保険の被保険者番号を設定する (介護保険情報との世帯合算に使用)	○	※5
19	支給申請書出力の有無	コード値	1	支給申請書出力の有無を設定する	◎	1:出力無し 2:一覧のみ 3:出力有り ※6	
20	帳票出力順序コード	英数	3	市町村コード等の任意のコードを設定する(帳票出力のソートで使用する)	○	※7	

※1: 必須入力(交換情報識別番号毎) ◎: 必須、○: パターン毎に必須、△: 任意設定、空白: 不要

※2: 受給者台帳が終了している場合、高額障害福祉サービス費世帯等異動連絡票情報、高額障害児給付費世帯等異動連絡票情報も終了していると判断されるため、“終了”を設けていない。

※3: 世帯集約番号は下記ルールにより、都道府県、市町村間で番号を協議し、設定する。

(1) 世帯集約番号構成(英数: 10桁)

1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目	6桁目	7桁目	8桁目	9桁目	10桁目
都道府県番号			市町村番号			連番			
都道府県番号		都道府県番号を設定する。							
市町村番号		都道府県内で一意の番号を設定する(都道府県と協議し番号を設定する)。							
連番		市町村内で重複しないように設定する。							

(2) 世帯集約番号について

市町村・都道府県が、高額障害福祉サービス費・高額障害児通所給付費・高額障害児入所給付費の支払を国保連合会に委託する場合、市町村は、受給者異動連絡票情報(基本情報・支給決定情報)に加え、高額障害福祉サービス費世帯等異動連絡票情報を国保連合会に提出する必要がある。

また、市町村・都道府県は、障害児支援受給者異動連絡票情報(基本情報・支給決定情報)に加え、高額障害児給付費世帯等異動連絡票情報を国保連合会に提出する必要がある。

なお、高額障害福祉サービス費世帯等異動連絡票情報と高額障害児給付費世帯等異動連絡票情報には、高額計算の世帯合算で使用する「世帯集約番号」を設定する必要がある。

(3) 世帯集約番号の設定方法

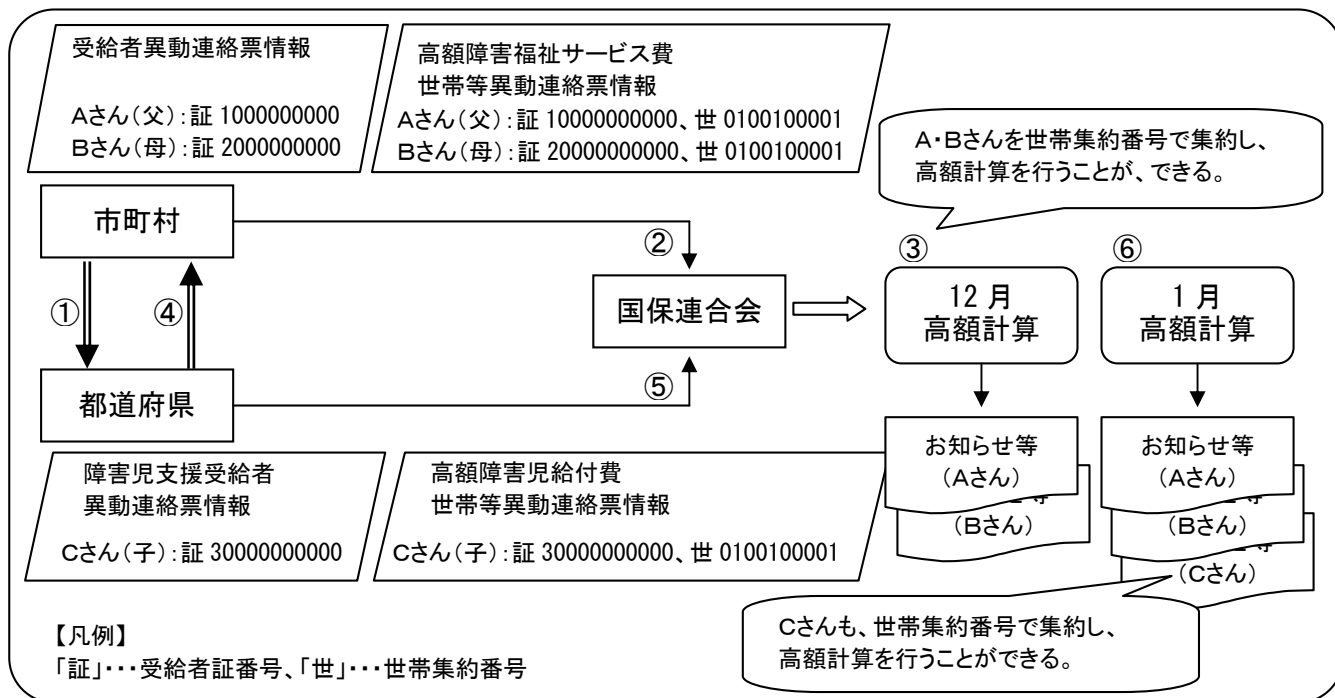
「世帯集約番号」を市町村、都道府県どちらで管理するか協議し、「世帯集約番号」を一元管理する。市町村・都道府県がそれぞれ連絡を取り合い、世帯の「世帯集約番号」を同一にする。具体的な流れは、以下のとおり。

<3人世帯の場合の例>

世帯員	Aさん(父): 居宅介護を10月に支給決定
	Bさん(母): 居宅介護を10月に支給決定
	Cさん(子): 障害児入所支援を11月に支給決定

- ①市町村は、A・Bさんの支給決定を行う際、世帯に障害児入所支援の受給者がいるか確認する。既に受給している場合は、都道府県に「世帯集約番号」の確認を行い、障害児入所支援受給者に付番した「世帯集約番号」をA・Bさんに付番する。
- ②市町村より、10月異動分(A・Bさん)の通常受給者異動連絡票情報(基本情報・支給決定情報)と高額障害福祉サービス費世帯等異動連絡票情報を国保連合会に提出する(世帯集約番号は世帯で同一)。
- ③国保連合会では、12月に高額計算を行い、A・Bさんのお知らせ等(詳細は「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 3.4(5)支給申請書の出力有無等の設定について」参照)を市町村に提供する。
- ④都道府県は、Cさんの支給決定を行う際、世帯に障害福祉サービスの受給者がいるか確認する。既に受給している場合は、市町村に「世帯集約番号」の確認を行い、障害福祉サービス受給者に付番した「世帯集約番号」をCさんに付番する。
- ⑤都道府県より、11月異動分(Cさん)の障害児支援受給者異動連絡票情報(基本情報・支給決定情報)と高額障害児給付費世帯等異動連絡票情報を国保連合会に提出する(この時Cさんの世帯集約番号は一致している)。
- ⑥国保連合会では、1月に高額計算を行い、A・B・Cさんのお知らせ等を市町村に提供する。(この世帯の場合、市町村で高額障害福祉サービス費と高額障害児入所給付費の申請受付を行うため)

<上記流れのイメージ図>



(4)世帯集約番号が合わない場合

市町村と都道府県が提出する「世帯集約番号」が一致しない場合は、高額計算の世帯合算を正しく行うことができない。

※4:世帯集約番号が同一の受給者について世帯合算処理を行う場合に「1」を設定

世帯集約番号が同一で、かつ、特例世帯有無の値が同一の受給者について世帯合算処理を行う場合に「2」～「8」を設定

世帯集約番号が同一で、かつ、特例世帯有無の値が「1」の受給者について世帯合算処理を行う場合に「9」を設定

※5:同一人が介護保険サービスと障害福祉サービス等を併用している場合に設定する。

※6:支給申請書出力有無の設定は「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ.市町村事務共同処理 3.4(5) 支給申請書の出力有無等の設定について」参照。

※7:任意のコードの設定を設定する。市町村毎に予めコード体系を決めて登録し、そのコード順に帳票が出力される。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ.市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

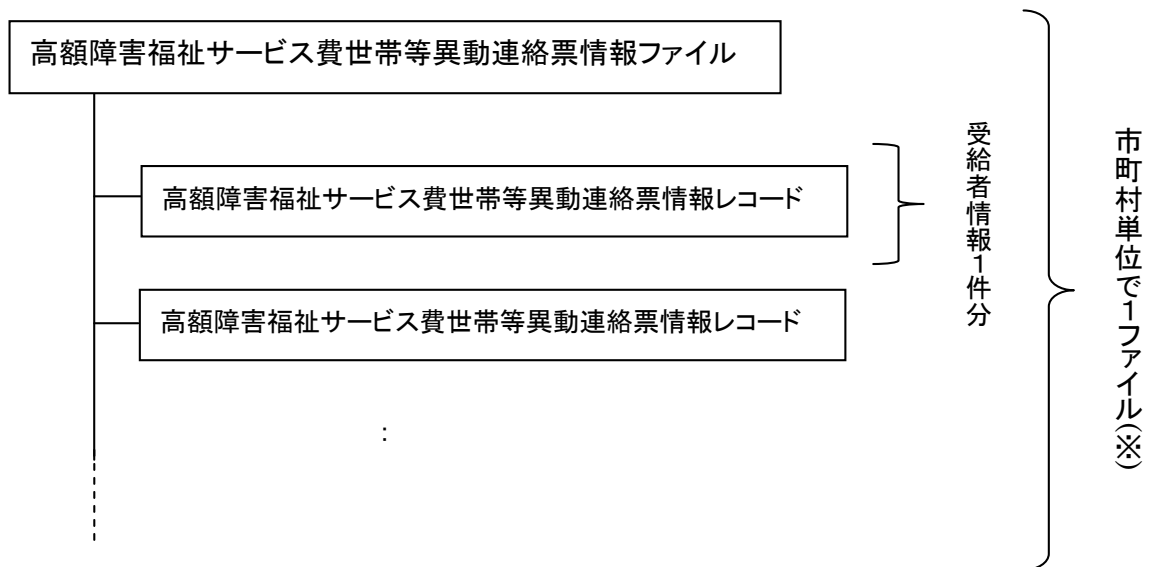
※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

## 高額障害福祉サービス費世帯等異動連絡票情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



※政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、  
政令市単位で1ファイルとする

## (4) 高額障害児給付費世帯等異動連絡票情報 (C131)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	異動年月日	コード値	8	世帯等情報に変更等が生じた年月 (西暦年月(YYYYMM))と連番(異動 順)を設定する	◎	※Y	
3	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	◎	1:新規 2:変更 ※2	
4	異動事由	コード値	2	世帯等情報の異動事由を設定する	◎	※C	
5	証記載都道府県等番号	コード値	6	受給者証記載の市町村番号を設定す る	◎	※C	
6	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	◎	※C	
7	受給者情報	受給者氏名(漢字)	漢字	40	受給者氏名(漢字)を設定する	◎	
8		郵便番号	コード値	7	受給者の郵便番号を設定する	◎	
9		住所(カナ)	英数	75	受給者の住所(カナ)を設定する	◎	
10		住所(漢字)	漢字	128	受給者の住所(漢字)を設定する	◎	
11		電話番号	英数	15	受給者の電話番号を設定する	◎	
12	児童氏名(漢字)	漢字	40	児童氏名(漢字)を設定する	○		
13	世帯集約番号	英数	10	世帯集約番号を設定する	◎	※3	
14	特例世帯有無	コード値	1	特例世帯の有無を設定する	◎	※4	
15	世帯算定所得区分	英数	2	世帯基準となる所得区分コードを設定 する	◎	※C	
16	世帯算定基準額	数値	6	算定基準額を設定する	◎		

項番	項目名		属性 (※2)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考
17	介護 保険 情報	保険者番号	コード値	6	介護保険の保険者番号を設定する (介護保険情報との世帯合算に使用)		
18		被保険者番号	英数	10	介護保険の被保険者番号を設定する (介護保険情報との世帯合算に使用)		
19	支給申請書出力の有無		コード値	1	支給申請書出力の有無を設定する	◎	1:出力無し 2:一覧のみ 3:出力有り ※5
20	帳票出力順序コード		英数	3	市町村コード等の任意のコードを設定 する(帳票出力のソートで使用する)	○	※6

※1: 必須入力(交換情報識別番号毎) ◎: 必須、○: パターン毎に必須、△: 任意設定、空白: 不要

※2: 受給者台帳が終了している場合、高額障害福祉サービス費世帯等異動連絡票情報、高額障害児給付費世帯等異動連絡票情報も終了していると判断されるため、“終了”を設けていない。

※3: 世帯集約番号は下記ルールにより、都道府県、市町村間で番号を協議し、設定する。

(1) 世帯集約番号構成(英数:10桁)

1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目	6桁目	7桁目	8桁目	9桁目	10桁目
都道府県番号			市町村番号			連番			
都道府県番号		都道府県番号を設定する。							
市町村番号		都道府県内で一意の番号を設定する(都道府県と協議し番号を設定する)。							
連番		市町村内で重複しないように設定する。							

(2) 世帯集約番号について

市町村・都道府県が、高額障害福祉サービス費・高額障害児通所給付費・高額障害児入所給付費の支払を国保連合会に委託する場合、市町村は、受給者異動連絡票情報(基本情報・支給決定情報)に加え、高額障害福祉サービス費世帯等異動連絡票情報を国保連合会に提出する必要がある。

また、市町村・都道府県は、障害児支援受給者異動連絡票情報(基本情報・支給決定情報)に加え、高額障害児給付費世帯等異動連絡票情報を国保連合会に提出する必要がある。

なお、高額障害福祉サービス費世帯等異動連絡票情報と高額障害児給付費世帯等異動連絡票情報には、高額計算の世帯合算で使用する「世帯集約番号」を設定する必要がある。

(3) 世帯集約番号の設定方法

「世帯集約番号」を市町村、都道府県どちらで管理するか協議し、「世帯集約番号」を一元管理する。市町村・都道府県がそれぞれ連絡を取り合い、世帯の「世帯集約番号」を同一にする。具体的な流れは、以下のとおり。

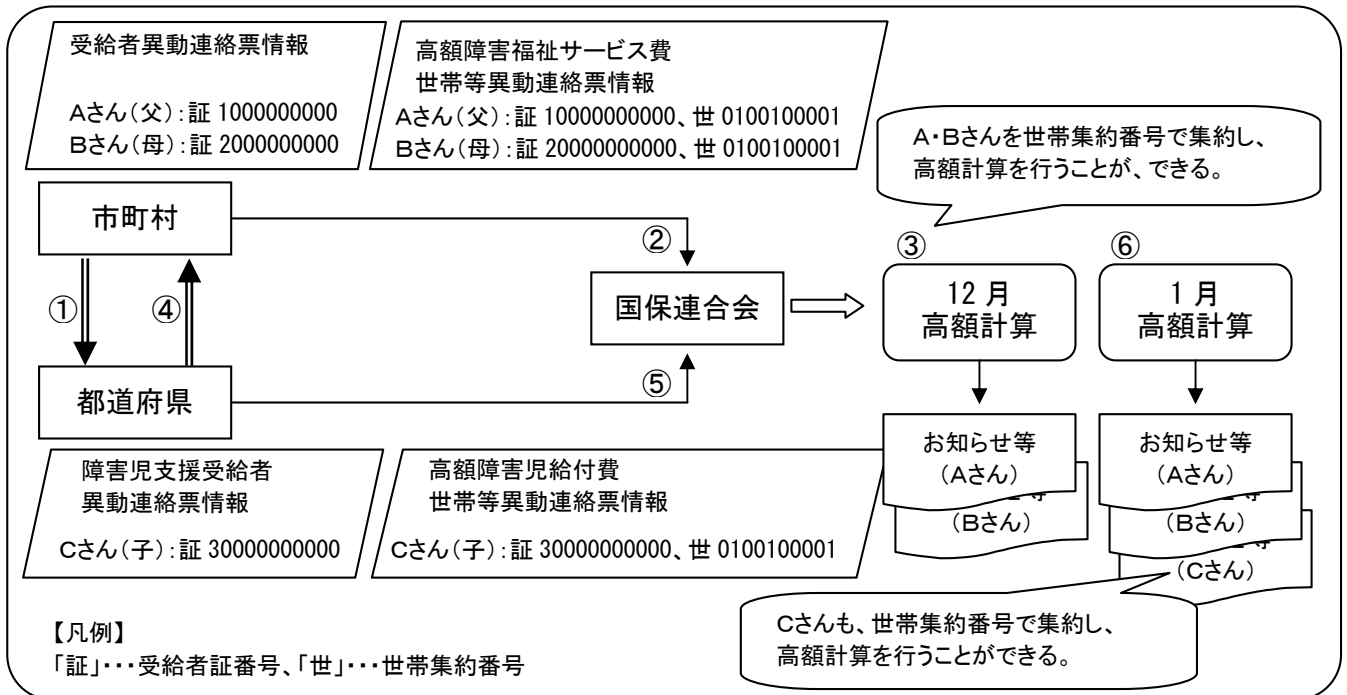


<3人世帯の場合の例>

世帯員	Aさん(父): 居宅介護を10月に支給決定
	Bさん(母): 居宅介護を10月に支給決定
	Cさん(子): 障害児入所支援を11月に支給決定

- ① 市町村は、A・Bさんの支給決定を行う際、世帯に障害児入所支援の受給者がいるか確認する。既に受給している場合は、都道府県に「世帯集約番号」の確認を行い、障害児入所支援受給者に付番した「世帯集約番号」をA・Bさんに付番する。
- ② 市町村より、10月異動分(A・Bさん)の通常受給者異動連絡票情報(基本情報・支給決定情報)と高額障害福祉サービス費世帯等異動連絡票情報を国保連合会に提出する(世帯集約番号は世帯で同一)。
- ③ 国保連合会では、12月に高額計算を行い、A・Bさんのお知らせ等(詳細は「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 3.4(5)支給申請書の出力有無等の設定について」参照)を市町村に提供する。
- ④ 都道府県は、Cさんの支給決定を行う際、世帯に障害福祉サービスの受給者がいるか確認する。既に受給している場合は、市町村に「世帯集約番号」の確認を行い、障害福祉サービス受給者に付番した「世帯集約番号」をCさんに付番する。
- ⑤ 都道府県より、11月異動分(Cさん)の障害児支援受給者異動連絡票情報(基本情報・支給決定情報)と高額障害児給付費世帯等異動連絡票情報を国保連合会に提出する(この時Cさんの世帯集約番号は一致している)。
- ⑥ 国保連合会では、1月に高額計算を行い、A・B・Cさんのお知らせ等を市町村に提供する。(この世帯の場合、市町村で高額障害福祉サービス費と高額障害児入所給付費の申請受付を行うため)

<上記流れのイメージ図>



(4)世帯集約番号が合わない場合

市町村と都道府県が提出する「世帯集約番号」が一致しない場合は、高額計算の世帯合算を正しく行うことができない。

※4:世帯集約番号が同一の受給者について世帯合算処理を行う場合に「1」を設定

世帯集約番号が同一で、かつ、特例世帯有無の値が同一の受給者について世帯合算処理を行う場合に「2」～「8」を設定

世帯集約番号が同一で、かつ、特例世帯有無の値が「1」の受給者について世帯合算処理を行う場合に「9」を設定

※5:支給申請書出力有無の設定は「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 3.4(5) 支給申請書の出力有無等の設定について」参照。

※6:任意のコードの設定を設定する。市町村毎に予めコード体系を決めて登録し、そのコード順に帳票が出力される。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

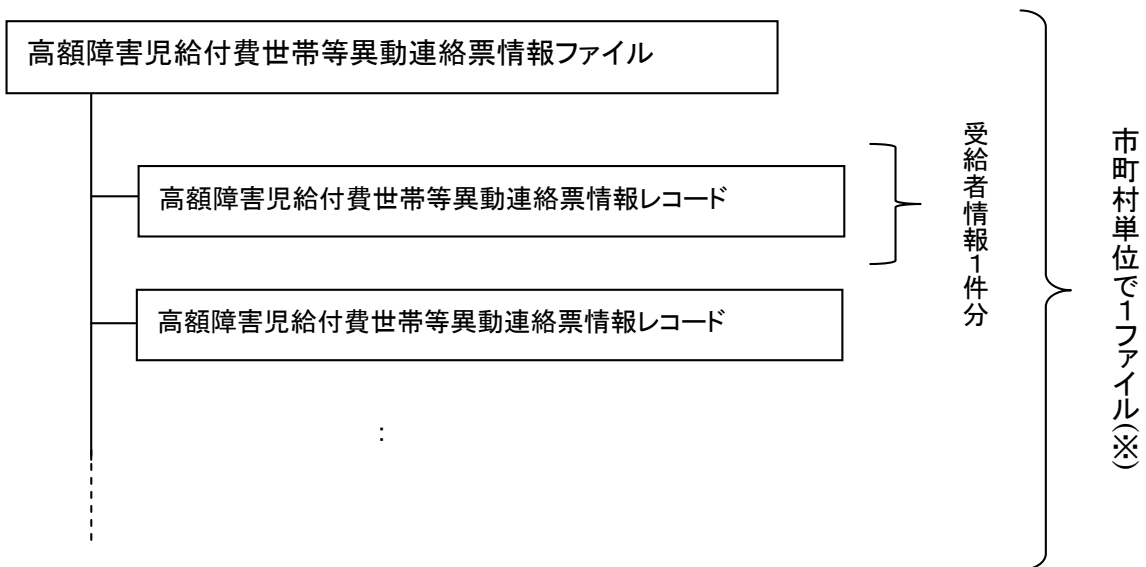
※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

## 高額障害児給付費世帯等異動連絡票情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



※政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、政令市単位で1ファイルとする

(5) 高額障害福祉サービス費市町村異動連絡票情報 (F141)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	異動年月日	コード値	8	高額障害福祉サービス費市町村異動連絡票情報に変更等が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	◎	※Y	
3	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	◎	1:新規 2:変更	
4	異動事由	コード値	2	高額障害福祉サービス費市町村異動連絡票情報の異動事由を設定する	◎	01 (固定値)	
5	市町村番号	コード値	6	市町村番号を設定する	◎	※C	
6	口座情報	金融機関コード	コード値	4	市町村の口座の金融機関コードを設定する	◎	※C
7		金融機関支店コード	コード値	3	市町村の口座の金融機関支店コードを設定する	◎	※C
8		口座種目	コード値	1	市町村の口座の口座種目を設定する	◎	※C
9		口座番号	コード値	7	市町村の口座の口座番号を設定する	◎	※C
10		口座名義人(カナ)	英数	40	市町村の口座の口座名義人(カナ)を設定する	◎	
11		振込依頼人コード	コード値	10	銀行が採番した振込依頼人識別のためのコードを設定する	○	※2
12	問い合わせ先情報	郵便番号	コード値	7	問い合わせ先の郵便番号を設定する	◎	
13		電話番号	英数	15	問い合わせ先の電話番号を設定する	◎	
14		住所(カナ)	英数	75	問い合わせ先の住所(カナ)を設定する	△	
15		住所(漢字)	漢字	128	問い合わせ先の住所(漢字)を設定する	◎	
16		名称1	漢字	40	問い合わせ先の市区町村名等を設定する	◎	
17		名称2	漢字	40	問い合わせ先の部署名等を設定する	◎	
18		備考	漢字	80	問い合わせ先の備考を設定する	△	

※1: 必須入力(交換情報識別番号毎) ◎: 必須、○: パターン毎に必須、△: 任意設定、空白: 不要

※2: 各種支払支援処理を委託して、市町村単位に振込データ作成を行う場合に設定する。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

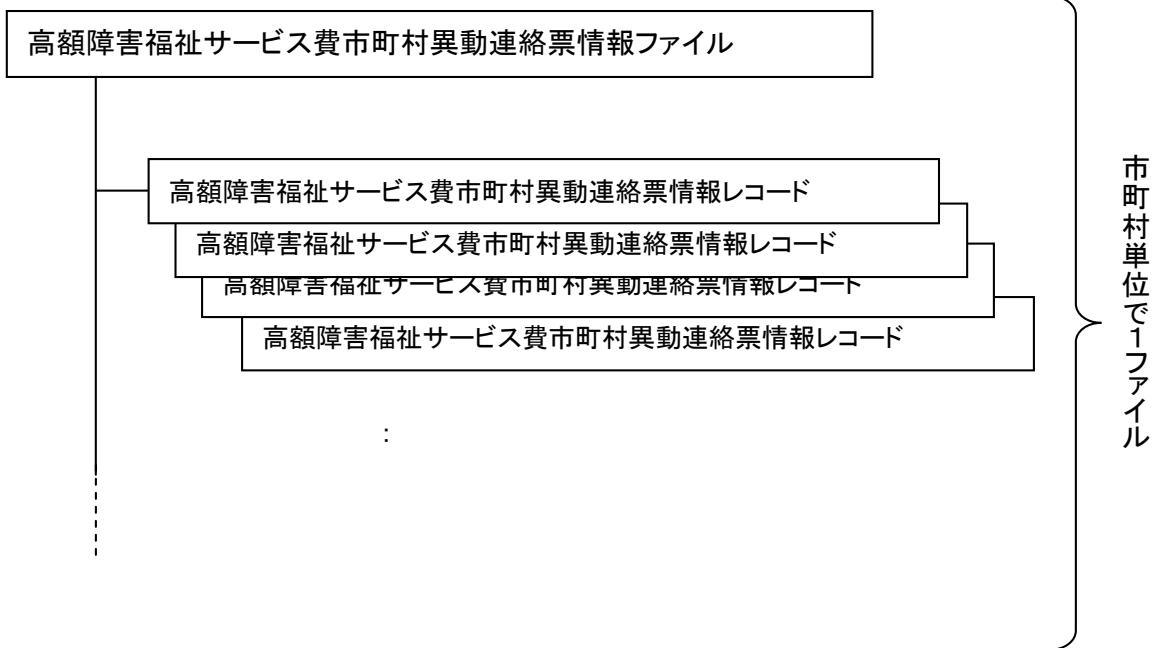
※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

# 高額障害福祉サービス費市町村異動連絡票情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



(6) 高額障害児給付費都道府県等異動連絡票情報 (C141)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	異動年月日	コード値	8	都道府県等情報の変更等が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	◎	※Y	
3	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	◎	1:新規 2:変更	
4	異動事由	コード値	2	都道府県等情報の異動事由を設定する	◎	01(固定値)	
5	都道府県等番号	コード値	6	市町村番号を設定する	◎	※C	
6	口座情報	金融機関コード	4	市町村の口座の金融機関コードを設定する	○	※2 ※C	
7		金融機関支店コード	3	市町村の口座の金融機関支店コードを設定する		※2 ※C	
8		口座種目	1	市町村の口座の口座種目を設定する		※2 ※C	
9		口座番号	7	市町村の口座の口座番号を設定する		※2 ※C	
10		口座名義人(カナ)	英数	40		市町村の口座の口座名義人(カナ)を設定する	※2
11		振込依頼人コード	コード値	10		銀行が採番した振込依頼人識別のためのコードを設定する	○

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考
12	郵便番号	コード値	7	問い合わせ先の郵便番号を設定する	◎	
13	電話番号	英数	15	問い合わせ先の電話番号を設定する	◎	
14	住所(カナ)	英数	75	問い合わせ先の住所(カナ)を設定する	△	
15	住所(漢字)	漢字	128	問い合わせ先の住所(漢字)を設定する	◎	
16	名称1	漢字	40	問い合わせ先の市区町村名を設定する	◎	
17	名称2	漢字	40	問い合わせ先の部署名等を設定する	◎	
18	備考	漢字	80	問い合わせ先の備考を設定する	△	

問い合わせ先情報

※1: 必須入力 ◎: 必須、○: パターン毎に必須、△: 任意設定、空白: 不要)

※2: 高額障害児給付費支給処理を委託した場合、必須。

※3: 各種支払支援処理を委託して、市町村単位に振込データ作成を行う場合、必須。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

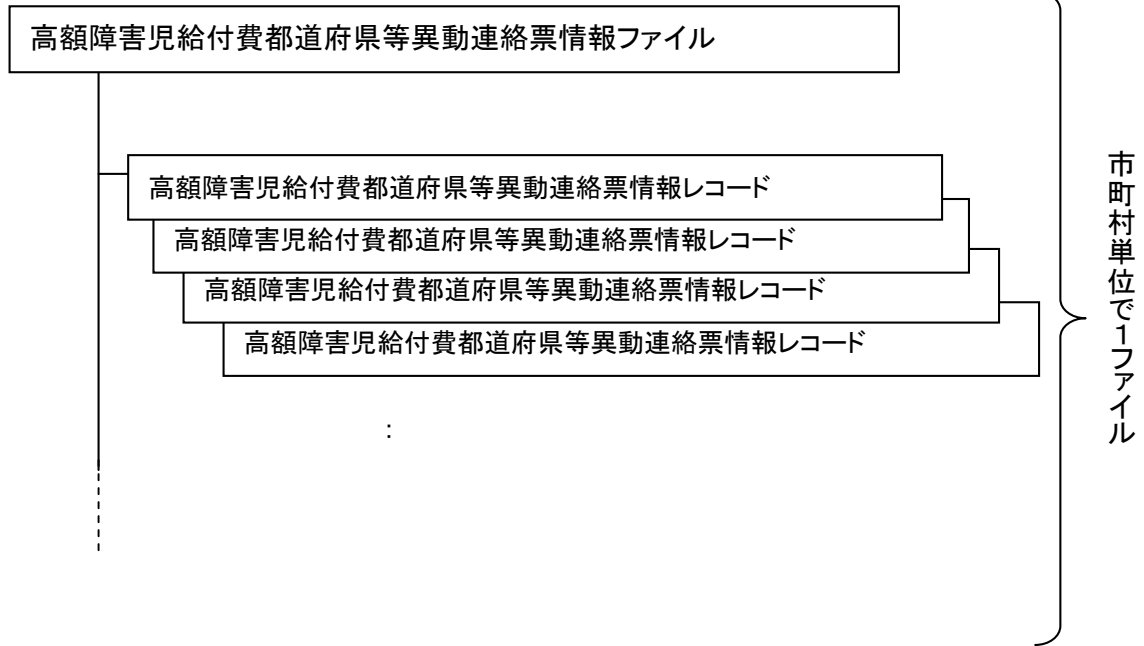
※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

# 高額障害児給付費都道府県等異動連絡票情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)





## (7) 地域生活支援事業単位数異動連絡票情報 (F151)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)			備考	
					新規	変更	終了		
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	◎	※B	
2	異動年月日	コード値	8	地域生活支援事業単位数情報に変更等が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	◎	◎	◎	※Y	
3	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	◎	◎	◎	1:新規 2:変更 3:終了	
4	異動事由	コード値	2	地域生活支援事業単位数情報の異動事由を設定する	◎	◎	◎	01(固定値)	
5	市町村番号	コード値	6	市町村番号を設定する	◎	◎	◎	※C	
6	決定情報	決定サービスコード	コード値	6	支給決定用のサービスコード(上2桁サービス種類部、下4桁サービス項目部)を設定する	◎	◎	◎	※2 ※C
7		決定サービス名称略称	漢字	50	支給決定用のサービス名称略称を設定する	△	△	△	
8		決定支給量換算単位	数値	8	サービス提供回数1回当たりの支給量(上6桁整数部、下2桁小数部)を設定する	◎	◎	◎	
9	請求情報	請求サービスコード	コード値	6	請求用のサービスコード(上2桁サービス種類部、下4桁サービス項目部)を設定する	◎	◎	◎	※2
10		請求サービス名称略称	漢字	50	請求用のサービス名称略称を設定する	△	△	△	
11		請求合成単位数	数値	6	請求用サービスコードに対する合成単位数を設定する	◎	◎	◎	
12		算定単位区分	コード値	2	請求算定を行う単位区分を設定する	◎	◎	◎	※C
13	有効期間 (開始年月日)	コード値	8	サービスコードの有効期間が開始する年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	◎	◎	◎	※Y	
14	有効期間 (終了年月日)	コード値	8	サービスコードの有効期間が終了する年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する			◎	※Y	
15	利用者負担 定率/定額 区分	利用者負担 定率/定額区分	コード値	1	利用者負担を定率か定額にするための区分を設定する	◎	◎	◎	1:定率 2:定額 ※2
16		給付率	数値	3	定率の場合に給付率を設定する(90~100の値を設定)	○	○	○	※2
17		利用者負担額	数値	6	定額の場合に利用者負担額を設定する	○	○	○	※2

※1:異動区分コードにより入力必須項目が異なる。

(◎:必須、○:パターン毎に必須、△:任意設定、空白:不要)

※2:地域生活支援事業単位数異動連絡票情報の作成方法は以下の通り。

(1)利用者負担について

利用者負担は、「定率」もしくは「定額」を対設定することができる。

①定率の場合

給付率は、「〇〇〇／100」の〇〇〇部分を「90～100」で設定する。

(利用者負担額を0円にする場合は「100」を設定)

※ただし、サービス種類単位(決定サービスコードの先頭2桁)で下記項目を同じ設定にすること。

・「利用者負担定率／定額区分」、「給付率」

②定額の場合

請求サービスコード単位で利用者負担額を設定する。

※ただし、サービス種類単位で「利用者負担定率／定額区分」を同じ設定にすること。

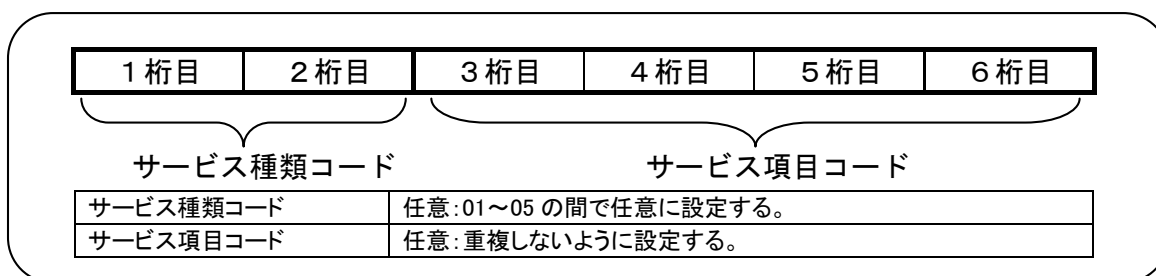
③定率／定額以外の場合

事前に定率または定額の設定ができない場合は、請求合成単位数に「999999」を設定することにより、点検エラーとならないようにすることが可能である。ただし、この場合、支払等システムでは単位数に係る点検を行うことができないため、市町村審査にて内容の確認を行う必要がある。

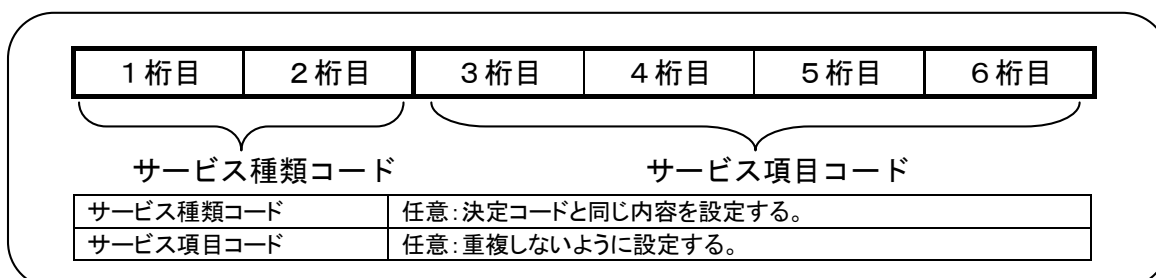
(2)利用者負担上限について

地域生活支援事業は、自治体ごとに利用者負担上限等の考え方が異なり、国保連合会での利用者負担上限のチェックは困難なため、市町村審査で行うこととする。(国保連合会では、地域生活支援事業受給者異動連絡票情報(支給決定情報)の「決定支給量」に対して請求明細書の「利用者負担額」が超過していないかチェックを行う)

(3)決定サービスコード構成



(4)請求サービスコード構成



(5)作成方法

例えば、移動支援サービス（定率）と日中預りサービス（定額）を作成する場合

- ・決定サービス：移動支援サービス、日中預りサービス
- ・請求サービス：移動支援1時間、移動支援2時間、移動支援3時間、日中預り1回

市町村番号	決定サービスコード	決定サービス名称略称	決定支給量換算単位	請求サービスコード	請求サービス名称略称	請求合成単位数	算定単位区分	利用者負担定率/定額区分	給付率	利用者負担額
111111	010001	移動支援サービス	00000100 (1時間)	010001	移動支援1時間	100	01 (1回につき)	1:定率	90	
111111	010001	移動支援サービス	00000200 (2時間)	010002	移動支援2時間	200	01 (1回につき)	1:定率	90	
111111	010001	移動支援サービス	00000300 (3時間)	010003	移動支援3時間	300	01 (1回につき)	1:定率	90	
111111	020001	日中預りサービス	00000100 (1回)	020001	日中預り1回	100	01 (1回につき)	2:定額		100

上記の通り、決定サービスに対する請求サービスコードを作成し、決定支給量換算単位や請求合成単位数、算定単位区分等を設定する。

決定支給量換算単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決定支給量超過チェックの際に国保連合会が使用する項目。</li> <li>・請求サービスコード1回等当たりの支給量(時間等)を設定。</li> <li>・最小単位を「00000025」とする。</li> </ul>
請求合成単位数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・請求サービスコードに対する合成単位を設定。</li> <li>・1単位当たりの単価は、10円とする(地域区分は適用しない)。</li> </ul>
算定単位区分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算定単位区分を設定。</li> </ul>

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

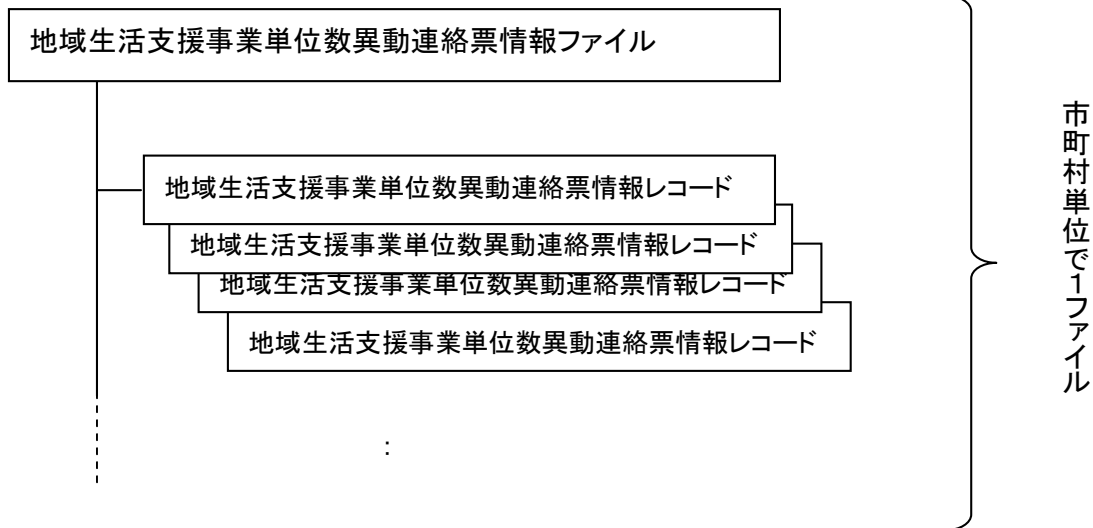
※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

# 地域生活支援事業単位数異動連絡票情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



1. 3. 2 訂正情報（入力情報）

(1) 地域生活支援事業受給者訂正連絡票情報（基本情報）(F211)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	訂正年月日	コード値	8	受給者異動連絡票情報（基本情報）に訂正が生じた年月（西暦年月（YYYYMM））と連番（異動順）を設定する	◎	※Y	
3	訂正区分コード	コード値	1	訂正区分コードを設定する	◎	2:修正 3:削除	
4	異動年月日	コード値	8	受給者異動連絡票情報（基本情報）に変更等が生じた年月（西暦年月（YYYYMM））と連番（異動順）を設定する	◎	※Y	
5	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	◎	1:新規 2:変更 3:終了	
6	異動事由	コード値	2	受給者異動連絡票情報（基本情報）の異動事由を設定する	◎	※C	
7	証記載市町村番号	コード値	6	受給者証記載の市町村番号を設定する	◎	※C	
8	政令市市町村番号	コード値	6	政令市が受給者を行政区で分けて管理する場合のみ政令市の市町村番号を設定する	○	※C	
9	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	◎	※C	
10	障害区分コード	コード値	2	障害区分コードを設定する	◎	※C	
11	受給者情報	受給者氏名(カナ)	英数	25	受給者氏名カナを設定する	◎	
12		生年月日	コード値	8	生年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する	◎	※Y
13	児童情報	児童氏名(カナ)	英数	25	児童氏名カナを設定する	○	
14		生年月日	コード値	8	生年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定する	○	※Y

※1:必須入力 ◎:必須、○:決定内容により必須、△:任意設定、空白:不要

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

## (2) 地域生活支援事業受給者訂正連絡票情報(支給決定情報)(F221)

項番	項目名	属性(※Z)	バイト数	内容	必須入力(※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	訂正年月日	コード値	8	受給者異動連絡票情報(支給決定情報)に訂正が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	◎	※Y
3	訂正区分コード	コード値	1	訂正区分コードを設定する	◎	2:修正 3:削除
4	異動年月日	コード値	8	受給者異動連絡票情報(支給決定情報)に変更等が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	◎	※Y
5	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	◎	1:新規 2:変更 3:終了
6	異動事由	コード値	2	受給者異動連絡票情報(支給決定情報)の異動事由を設定する	◎	※C
7	証記載市町村番号	コード値	6	受給者証記載の市町村番号を設定する	◎	※C
8	政令市市町村番号	コード値	6	政令市が受給者を行政区で分けて管理する場合のみ政令市の市町村番号を設定する	○	※C
9	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	◎	※C
10	決定サービスコード	コード値	6	決定したサービスのコード(上2桁サービス種類部、下4桁サービス項目部)を設定する	◎	※C
11	決定支給量	数値	8	決定した支給量(上6桁整数部、下2桁小数部)を設定する	○	
12	支給量単位区分	コード値	1	決定した支給量の単位区分を設定する	○	※C
13	決定支給期間(開始年月日)	コード値	8	決定サービスの有効期間の開始年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y
14	決定支給期間(終了年月日)	コード値	8	決定サービスの有効期間の終了年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y

※1:必須入力 ◎:必須、○:パターン毎に必須、△:任意設定、空白:不要

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

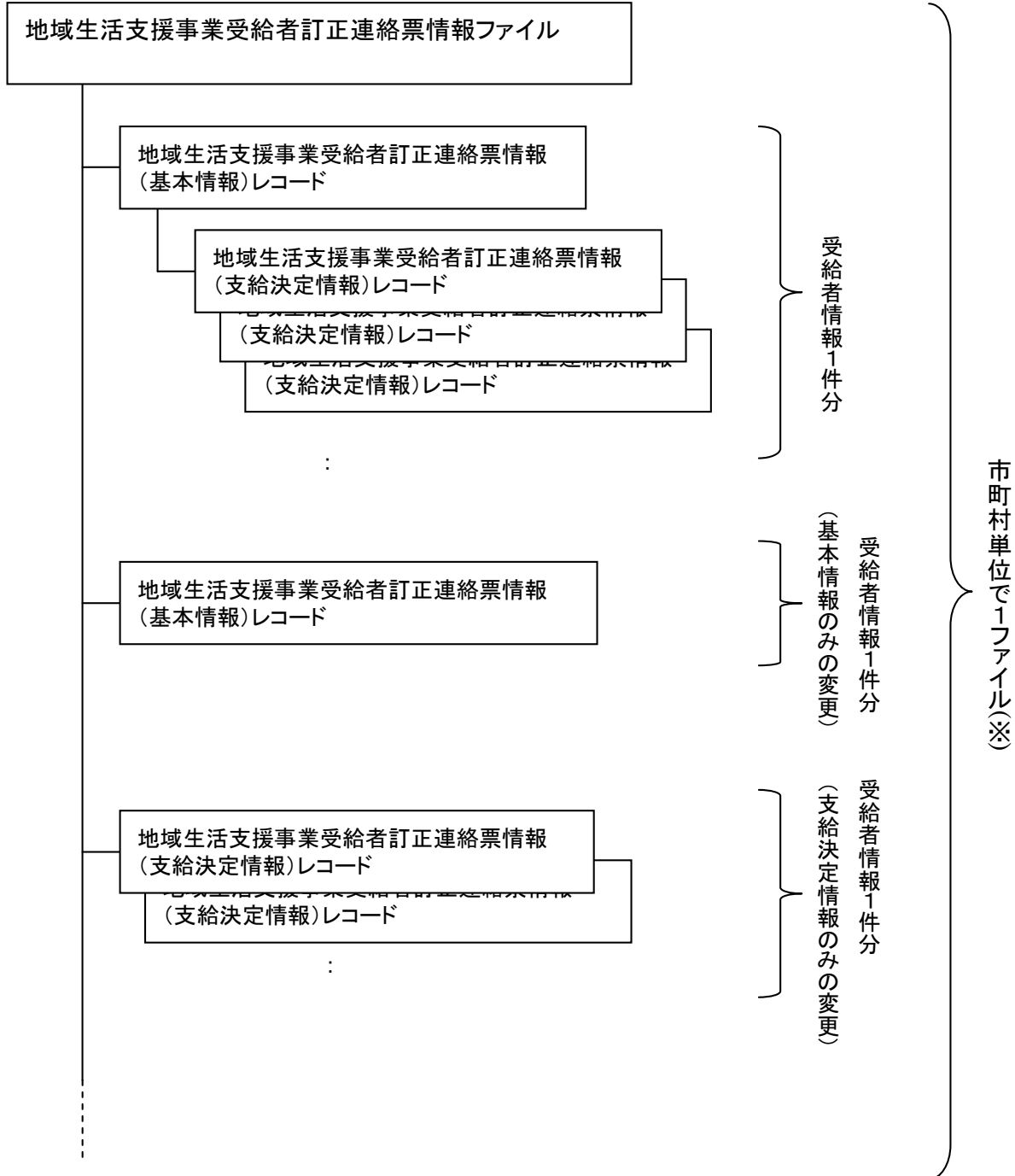
※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

# 地域生活支援事業受給者訂正連絡票情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



※政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、政令市単位で1ファイルとする

## (3) 高額障害福祉サービス費世帯等訂正連絡票情報 (F231)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	訂正年月日	コード値	8	世帯等情報に訂正が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	◎	※Y	
3	訂正区分コード	コード値	1	訂正区分コードを設定する	◎	2:修正 3:削除	
4	異動年月日	コード値	8	世帯等情報に変更等が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	◎	※Y	
5	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	◎	1:新規 2:変更	
6	異動事由	コード値	2	世帯等情報の異動事由を設定する	◎	※C	
7	証記載市町村番号	コード値	6	受給者証記載の市町村番号を設定する	◎	※C	
8	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	◎	※C	
9	受給者情報	受給者氏名(漢字)	漢字	40	受給者氏名(漢字)を設定する	◎	
10		郵便番号	コード値	7	受給者の郵便番号を設定する	◎	
11		住所(カナ)	英数	75	受給者の住所(カナ)を設定する	◎	
12		住所(漢字)	漢字	128	受給者の住所(漢字)を設定する	◎	
13		電話番号	英数	15	受給者の電話番号を設定する	◎	
14	児童氏名(漢字)	漢字	40	児童氏名(漢字)を設定する	○		



項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考
15	世帯集約番号		英数	10	世帯集約番号を設定する	◎	
16	特例世帯有無		コード値	1	特例世帯の有無を設定する	◎	
17	世帯算定所得区分		英数	2	世帯基準となる所得区分コードを設定する	◎	※C
18	世帯算定基準額		数値	6	高額障害福祉サービス費の算定基準額を設定する	◎	
19	介護 保険 情報	保険者番号	コード値	6	介護保険の保険者番号を設定する (介護保険情報との世帯合算に使用)	○	
20		被保険者番号	英数	10	介護保険の被保険者番号を設定する (介護保険情報との世帯合算に使用)	○	
21	支給申請書出力の有無		コード値	1	支給申請書出力の有無を設定する	◎	1:出力無し 2:一覧のみ 3:出力有り
22	帳票出力順序コード		英数	3	市町村コード等の任意のコードを設定する(帳票出力のソートで使用する)	○	

※1: 必須入力(交換情報識別番号毎) ◎: 必須、○: パターン毎に必須、△: 任意設定、空白: 不要

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

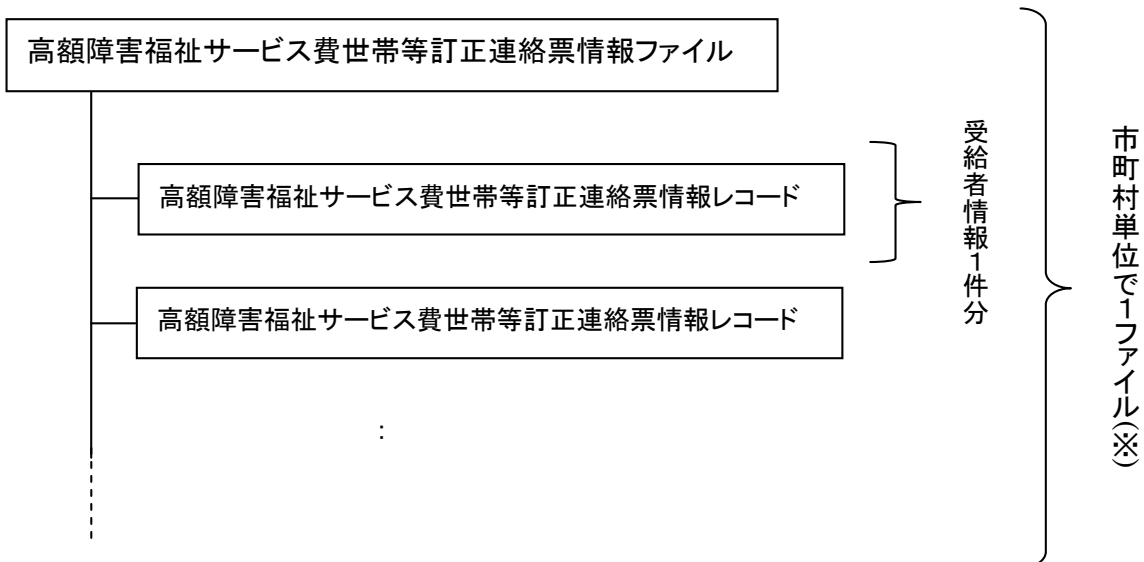
※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

# 高額障害福祉サービス費世帯等訂正連絡票情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



## (4) 高額障害児給付費世帯等訂正連絡票情報 (C231)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	訂正年月日	コード値	8	世帯等情報に更新が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	◎	※Y	
3	訂正区分コード	コード値	1	訂正区分コードを設定する	◎	2:修正 3:削除	
4	異動年月日	コード値	8	世帯等情報に変更等が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	◎	※Y	
5	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	◎	1:新規 2:変更	
6	異動事由	コード値	2	世帯等情報の異動事由を設定する	◎	※C	
7	証記載都道府県等番号	コード値	6	受給者証記載の市町村番号を設定する	◎	※C	
8	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	◎	※C	
9	受給者情報	受給者氏名(漢字)	漢字	40	受給者氏名(漢字)を設定する	◎	
10		郵便番号	コード値	7	受給者の郵便番号を設定する	◎	
11		住所(カナ)	英数	75	受給者の住所(カナ)を設定する	◎	
12		住所(漢字)	漢字	128	受給者の住所(漢字)を設定する	◎	
13		電話番号	英数	15	受給者の電話番号を設定する	◎	
14	児童氏名(漢字)	漢字	40	児童氏名(漢字)を設定する	○		

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考
15	世帯集約番号		英数	10	世帯集約番号を設定する	◎	
16	特例世帯有無		コード値	1	特例世帯の有無を設定する	◎	
17	世帯算定所得区分		英数	2	世帯基準となる所得区分コードを設定する	◎	※C
18	世帯算定基準額		数値	6	世帯算定基準額を設定する	◎	
19	介護 保険 情報	保険者番号	コード値	6	介護保険の保険者番号を設定する (介護保険情報との世帯合算に使用)		
20		被保険者番号	英数	10	介護保険の被保険者番号を設定する (介護保険情報との世帯合算に使用)		
21	支給申請書出力の有無		コード値	1	支給申請書出力の有無を設定する	◎	1:出力無し 2:一覧のみ 3:出力有り
22	帳票出力順序コード		英数	3	市町村コード等の任意のコードを設定する(帳票出力のソートで使用する)	○	

※1:必須入力 ◎:必須、○:パターン毎に必須、△:任意設定、空白:不要)

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

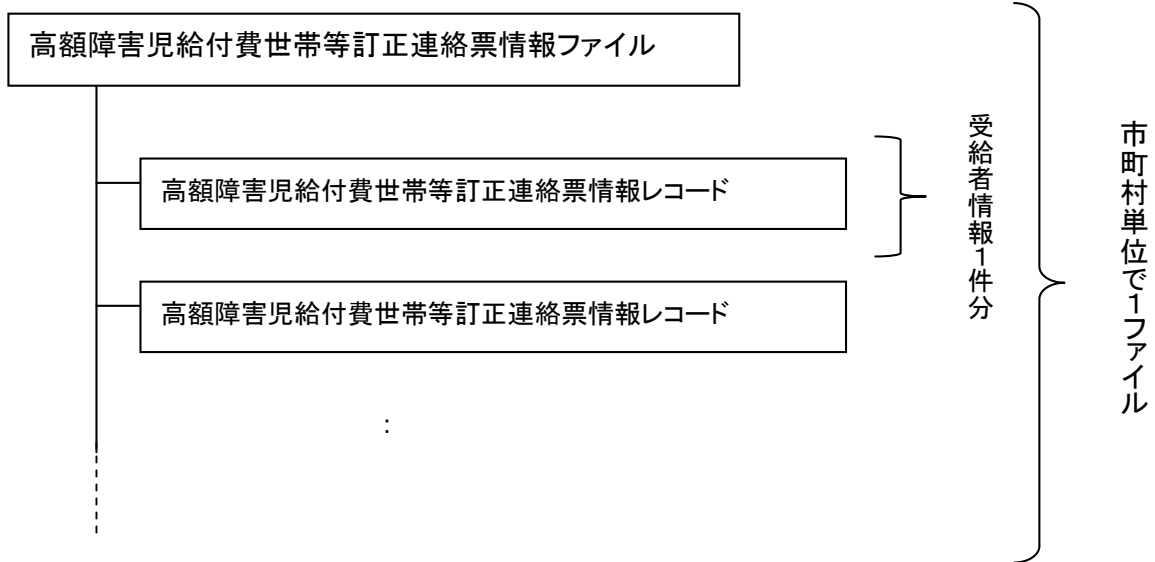
※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

# 高額障害児給付費世帯等訂正連絡票情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



## (5) 高額障害福祉サービス費市町村訂正連絡票情報 (F241)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	訂正年月日	コード値	8	市町村の問合せ情報に訂正が生じた年月 (西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を 設定する	◎	※Y	
3	訂正区分コード	コード値	1	訂正区分コードを設定する	◎	2:修正 3:削除	
4	異動年月日	コード値	8	市町村の問合せ情報に変更等が生じた年月 (西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順) を設定する	◎	※Y	
5	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	◎	1:新規 2:変更	
6	異動事由	コード値	2	市町村の問合せ情報の異動事由を設定する	◎	01(固定値)	
7	市町村番号	コード値	6	市町村番号を設定する	◎	※C	
8	口座情報	金融機関コード	コード値	市町村の口座の金融機関コードを設定する	◎	※C	
9		金融機関支店 コード	コード値	市町村の口座の金融機関支店コードを設定する	◎	※C	
10		口座種目	コード値	市町村の口座の口座種目を設定する	◎	※C	
11		口座番号	コード値	市町村の口座の口座番号を設定する	◎	※C	
12		口座名義人 (カナ)	英数	40	市町村の口座の口座名義人(カナ)を設定する	◎	
13		振込依頼人 コード	コード値	10	銀行が採番した振込依頼人識別のための コードを設定する	○	
14	問い合わせ先情報	郵便番号	コード値	7	問い合わせ先の郵便番号を設定する	◎	
15		電話番号	英数	15	問い合わせ先の電話番号を設定する	◎	
16		住所(カナ)	英数	75	問い合わせ先の住所(カナ)を設定する	△	
17		住所(漢字)	漢字	128	問い合わせ先の住所(漢字)を設定する	◎	
18		名称1	漢字	40	問い合わせ先の市区町村名等を設定する	◎	
19		名称2	漢字	40	問い合わせ先の部署名等を設定する	◎	
20		備考	漢字	80	問い合わせ先の備考を設定する	△	

※1: 必須入力(交換情報識別番号毎) ◎: 必須、○: パターン毎に必須、△: 任意設定、空白: 不要

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

## 高額障害福祉サービス費市町村訂正連絡票情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)

高額障害福祉サービス費市町村訂正連絡票情報ファイル

高額障害福祉サービス費市町村訂正連絡票情報レコード

高額障害福祉サービス費市町村訂正連絡票情報レコード

高額障害福祉サービス費市町村訂正連絡票情報レコード

高額障害福祉サービス費市町村訂正連絡票情報レコード

:

市町村単位で1ファイル

(6) 高額障害児給付費都道府県等訂正連絡票情報 (C241)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須 入力 (※1)	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	訂正年月日	コード値	8	都道府県等情報に更新が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	◎	※Y	
3	訂正区分コード	コード値	1	訂正区分コードを設定する	◎	2:修正 3:削除	
4	異動年月日	コード値	8	都道府県等情報の変更等が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	◎	※Y	
5	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	◎	1:新規 2:変更	
6	異動事由	コード値	2	都道府県等情報の異動事由を設定する	◎	01(固定値)	
7	都道府県等番号	コード値	6	市町村番号を設定する	◎	※C	
8	口座情報	金融機関コード	4	市町村の口座の金融機関コードを設定する	○	※2 ※C	
9		金融機関支店コード	3	市町村の口座の金融機関支店コードを設定する		※2 ※C	
10		口座種目	1	市町村の口座の口座種目を設定する		※2 ※C	
11		口座番号	7	市町村の口座の口座番号を設定する		※2 ※C	
12		口座名義人(カナ)	英数	40		市町村の口座の口座名義人(カナ)を設定する	※2
13		振込依頼人コード	コード値	10		銀行が採番した振込依頼人識別のためのコードを設定する	○



項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須 入力 (※1)	備考
14	郵便番号	コード値	7	問い合わせ先の郵便番号を設定する	◎	
15	電話番号	英数	15	問い合わせ先の電話番号を設定する	◎	
16	住所(カナ)	英数	75	問い合わせ先の住所(カナ)を設定する	△	
17	住所(漢字)	漢字	128	問い合わせ先の住所(漢字)を設定する	◎	
18	名称1	漢字	40	問い合わせ先の市区町村名等を設定する	◎	
19	名称2	漢字	40	問い合わせ先の部署名等を設定する	◎	
20	備考	漢字	80	問い合わせ先の備考を設定する	△	

問い合わせ先情報

※1: 必須入力 ◎: 必須、○: パターン毎に必須、△: 任意設定、空白: 不要)

※2: 高額障害児給付費支給処理を委託した場合、必須。

※3: 各種支払支援処理を委託して、市町村単位に振込データ作成を行う場合、必須。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

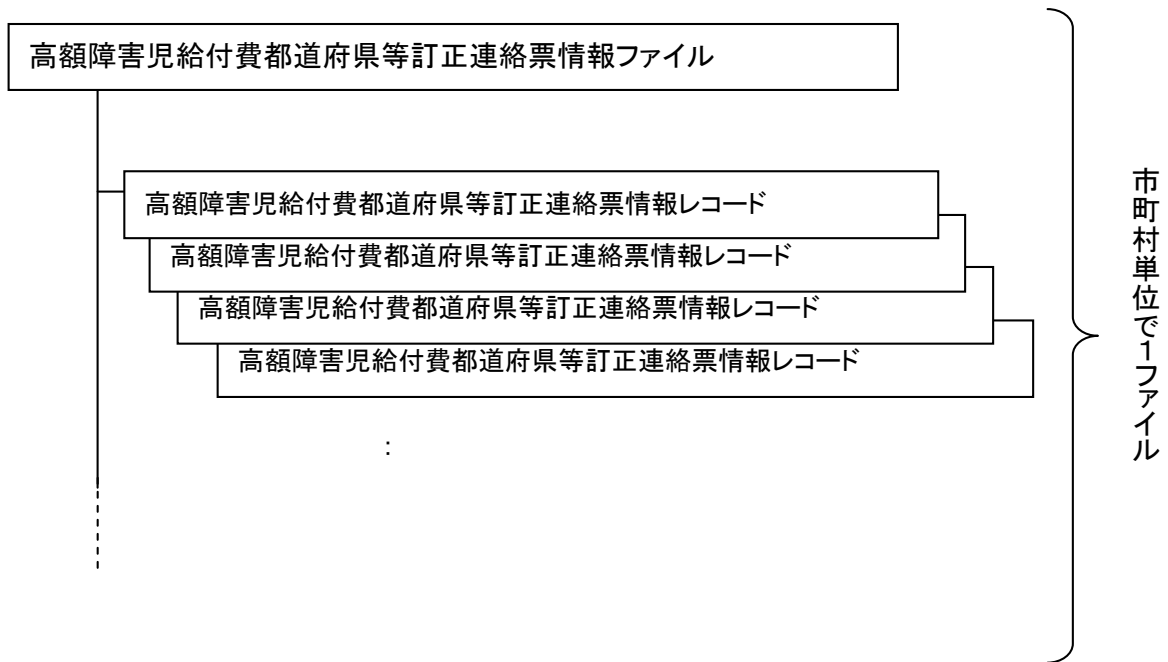
※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

# 高額障害児給付費都道府県等訂正連絡票情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



(7) 地域生活支援事業単位数訂正連絡票情報 (F251)

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)			備考
						新規	変更	終了	
1	交換情報識別番号		英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	◎	※B
2	訂正年月日		コード値	8	地域生活支援事業単位数情報に訂正が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	◎	◎	◎	※Y
3	訂正区分コード		コード値	1	訂正区分コードを設定する	◎	◎	◎	2:修正 3:削除
4	異動年月日		コード値	8	地域生活支援事業単位数情報に変更等が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	◎	◎	◎	※Y
5	異動区分コード		コード値	1	異動区分コードを設定する	◎	◎	◎	1:新規 2:変更 3:終了
6	異動事由		コード値	2	地域生活支援事業単位数情報の異動事由を設定する	◎	◎	◎	01(固定値)
7	市町村番号		コード値	6	市町村番号を設定する	◎	◎	◎	※C
8	決定 情報	決定サービスコード	コード値	6	支給決定用のサービスコード(上2桁サービス種類部、下4桁サービス項目部)を設定する	◎	◎	◎	※C
9		決定サービス名称略称	漢字	50	支給決定用のサービス名称略称を設定する	△	△	△	
10		決定支給量換算単位	数値	8	サービス提供回数1回当たりの支給量(上6桁整数部、下2桁小数部)を設定する	◎	◎	◎	
11	請求 情報	請求サービスコード	コード値	6	請求用のサービスコード(上2桁サービス種類部、下4桁サービス項目部)を設定する	◎	◎	◎	
12		請求サービス名称略称	漢字	50	請求用のサービス名称略称を設定する	△	△	△	
13		請求合成単位数	数値	6	請求用サービスコードに対する合成単位数を設定する	◎	◎	◎	
14		算定単位区分	コード値	2	請求算定を行う単位区分を設定する	◎	◎	◎	※C
15	有効期間(開始年月日)		コード値	8	サービスコードの有効期間が開始する年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	◎	◎	◎	※Y
16	有効期間(終了年月日)		コード値	8	サービスコードの有効期間が終了する年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する			◎	※Y
17	利用者 定額 情報	利用者負担率/定額区分	コード値	1	利用者負担を定率か定額にするための区分を設定する	◎	◎	◎	1:定率 2:定額
18		給付率	数値	3	定率の場合に給付率を設定する(90~100の値を設定)	○	○	○	
19		利用者負担額	数値	6	定額の場合に利用者負担額を設定する	○	○	○	

※1:異動区分コードにより入力必須項目が異なる。

(◎:全パターン共通で必須、○:パターン毎に必須、△:必要な場合に設定、空白:設定不要)

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ.市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

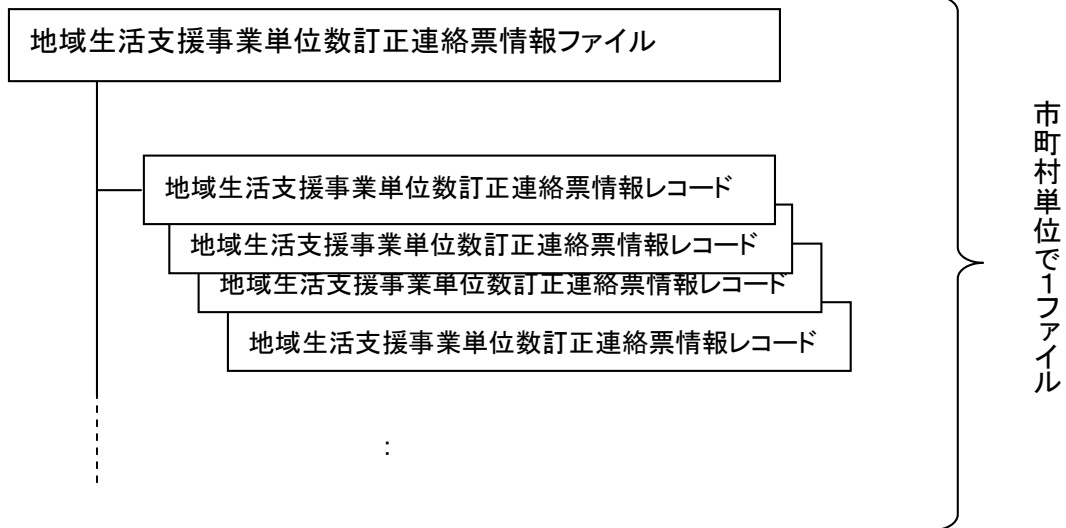
※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

# 地域生活支援事業単位数訂正連絡票情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



1. 3. 3 更新結果情報（出力情報）

(1) 地域生活支援事業受給者情報更新結果情報（基本情報）(F311)

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	交換情報識別番号		英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	異動年月日		コード値	8	受給者異動連絡票情報(基本情報)に変更等が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	※Y
3	異動区分コード		コード値	1	異動区分コードを設定する	1:新規 2:変更 3:終了
4	訂正年月日		コード値	8	受給者異動連絡票情報(基本情報)に訂正が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	※Y
5	訂正区分コード		コード値	1	訂正区分コードを設定する	2:修正 3:削除
6	異動事由		コード値	2	受給者異動連絡票情報(基本情報)の異動事由を設定する	※C
7	証記載市町村番号		コード値	6	受給者証記載の市町村番号を設定する	※C
8	政令市市町村番号		コード値	6	政令市が受給者を行政区で分けて管理する場合のみ政令市の市町村番号を設定する	※C
9	受給者証番号		英数	10	受給者証番号を設定する	※C
10	障害区分コード		コード値	2	障害区分コードを設定する	※C
11	受給者情報	受給者氏名(カナ)	英数	25	受給者氏名カナを設定する	
12		生年月日	コード値	8	生年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※Y
13	児童情報	児童氏名(カナ)	英数	25	児童氏名カナを設定する	
14		生年月日	コード値	8	生年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※Y

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

(2) 地域生活支援事業受給者情報更新結果情報(支給決定情報)(F321)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	異動年月日	コード値	8	受給者異動連絡票情報(支給決定情報)に変更等が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	※Y
3	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	1:新規 2:変更 3:終了
4	訂正年月日	コード値	8	受給者異動連絡票情報(支給決定情報)に訂正が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	※Y
5	訂正区分コード	コード値	1	訂正区分コードを設定する	2:修正 3:削除
6	異動事由	コード値	2	受給者異動連絡票情報(支給決定情報)の異動事由を設定する	※C
7	証記載市町村番号	コード値	6	受給者証記載の市町村番号を設定する	※C
8	政令市市町村番号	コード値	6	受給者が政令市(行政区)に属する場合にのみ政令市の市町村番号を設定する	※C
9	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	※C
10	決定サービスコード	コード値	6	決定したサービスのコード(上2桁サービス種類部、下4桁サービス項目部)を設定する	※C
11	決定支給量	数値	8	決定した支給量(上6桁整数部、下2桁小数部)を設定する	
12	支給量単位区分	コード値	1	決定した支給量の単位区分を設定する	※C
13	決定支給期間 (開始年月日)	コード値	8	決定サービスの有効期間の開始年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※Y
14	決定支給期間 (終了年月日)	コード値	8	決定サービスの有効期間の終了年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※Y

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

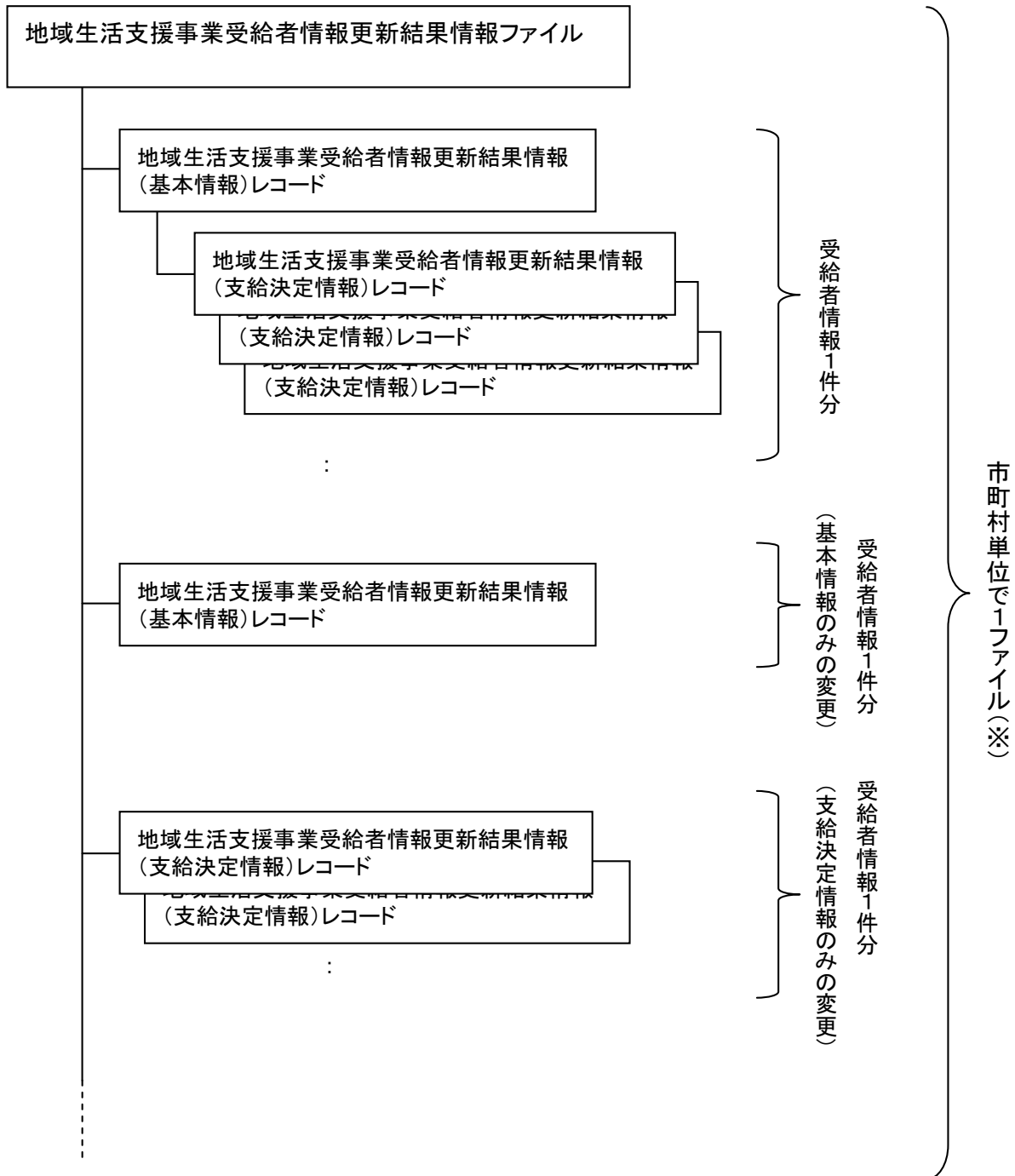
※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

# 地域生活支援事業受給者情報更新結果情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



※政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、政令市単位で1ファイルとする

(3) 高額障害福祉サービス費世帯等情報更新結果情報 (F331)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B	
2	異動年月日	コード値	8	世帯等情報に変更等が生じた年月(西暦年月 (YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	※Y	
3	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	1:新規 2:変更	
4	訂正年月日	コード値	8	世帯等情報に訂正が生じた年月(西暦年月 (YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	※Y	
5	訂正区分コード	コード値	1	訂正区分コードを設定する	2:修正 3:削除	
6	異動事由	コード値	2	世帯等情報の異動事由を設定する	※C	
7	証記載市町村番号	コード値	6	受給者証記載の市町村番号を設定する	※C	
8	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	※C	
9	受給者情報	受給者氏名 (漢字)	漢字	40	受給者氏名(漢字)を設定する	
10		郵便番号	コード値	7	受給者の郵便番号を設定する	
11		住所(カナ)	英数	75	受給者の住所(カナ)を設定する	
12		住所(漢字)	漢字	128	受給者の住所(漢字)を設定する	
13		電話番号	英数	15	受給者の電話番号を設定する	
14	児童氏名(漢字)	漢字	40	児童氏名(漢字)を設定する		



項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
15	世帯集約番号		英数	10	世帯集約番号を設定する	
16	特例世帯有無		コード値	1	特例世帯の有無を設定する	
17	世帯算定所得区分		英数	2	世帯基準となる所得区分コードを設定する	※C
18	世帯算定基準額		数値	6	高額障害福祉サービス費の算定基準額を設定する	
19	介護 保険 情報	保険者番号	コード値	6	介護保険の保険者番号を設定する(介護保険情報との世帯合算に使用)	
20		被保険者番号	英数	10	介護保険の被保険者番号を設定する(介護保険情報との世帯合算に使用)	
21	支給申請書出力の有無		コード値	1	支給申請書出力の有無を設定する	1:出力無し 2:一覧のみ 3:出力有り
22	帳票出力順序コード		英数	3	市町村コード等の任意のコードを設定する(帳票出力のソートで使用する)	

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

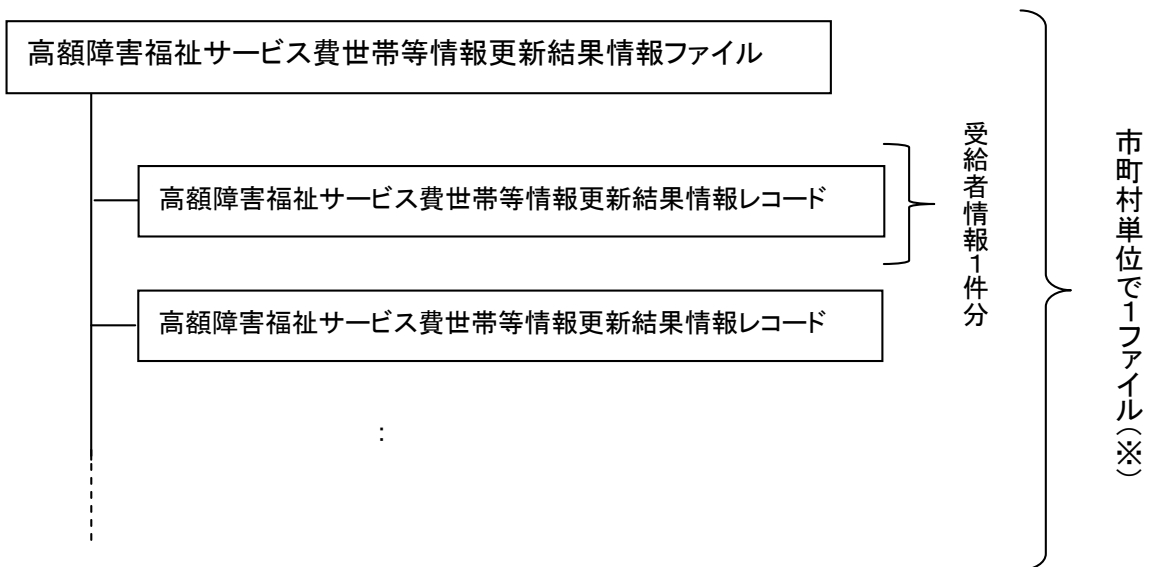
※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

## 高額障害福祉サービス費世帯等情報更新結果情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



※政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、政令市単位で1ファイルとする

## (4) 高額障害児給付費世帯等情報更新結果情報 (C331)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B	
2	異動年月日	コード値	8	世帯等情報に変更等が生じた年月(西暦年月 (YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	※Y	
3	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	1:新規 2:変更	
4	訂正年月日	コード値	8	世帯等情報に更新が生じた年月(西暦年月 (YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	※Y	
5	訂正区分コード	コード値	1	訂正区分コードを設定する	2:修正 3:削除	
6	異動事由	コード値	2	世帯等情報の異動事由を設定する	※C	
7	証記載都道府県等番号	コード値	6	受給者証記載の市町村番号を設定する	※C	
8	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	※C	
9	受給者情報	受給者氏名(漢字)	漢字	40	受給者氏名(漢字)を設定する	
10		郵便番号	コード値	7	受給者の郵便番号を設定する	
11		住所(カナ)	英数	75	受給者の住所(カナ)を設定する	
12		住所(漢字)	漢字	128	受給者の住所(漢字)を設定する	
13		電話番号	英数	15	受給者の電話番号を設定する	
14	児童氏名(漢字)	漢字	40	児童氏名(漢字)を設定する		

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
15	世帯集約番号		英数	10	世帯集約番号を設定する	
16	特例世帯有無		コード値	1	特例世帯の有無を設定する	
17	世帯算定所得区分		英数	2	世帯基準となる所得区分コードを設定する	※C
18	世帯算定基準額		数値	6	世帯算定基準額を設定する	
19	介護 保険 情報	保険者番号	コード値	6	介護保険の保険者番号を設定する(介護保険 情報との世帯合算に使用)	
20		被保険者番号	英数	10	介護保険の被保険者番号を設定する(介護保 険情報との世帯合算に使用)	
21	支給申請書出力の有無		コード値	1	支給申請書出力の有無を設定する	1:出力無し 2:一覧のみ 3:出力有り
22	帳票出力順序コード		英数	3	市町村コード等の任意のコードを設定する(帳 票出力のソートで使用する)	

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

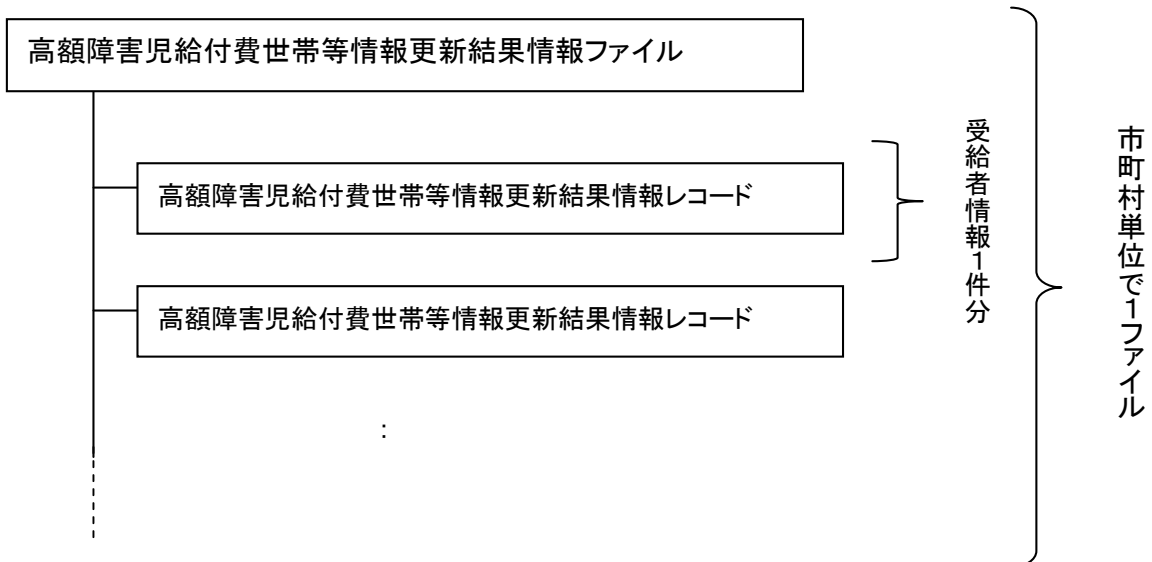
※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

# 高額障害児給付費世帯等情報更新結果情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



## (5) 高額障害福祉サービス費市町村情報更新結果情報 (F341)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	異動年月日	コード値	8	市町村の問合せ等情報の変更等が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	※Y
3	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	1:新規 2:変更
4	訂正年月日	コード値	8	市町村の問合せ等情報に訂正が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	※Y
5	訂正区分コード	コード値	1	訂正区分コードを設定する	2:修正 3:削除
6	異動事由	コード値	2	市町村の問合せ等情報の異動事由を設定する	01(固定値)
7	市町村番号	コード値	6	市町村番号を設定する	※C
8	金融機関コード	コード値	4	市町村の口座の金融機関コードを設定する	※C
9	金融機関支店コード	コード値	3	市町村の口座の金融機関支店コードを設定する	※C
10	口座種目	コード値	1	市町村の口座の口座種目を設定する	※C
11	口座番号	コード値	7	市町村の口座の口座番号を設定する	※C
12	口座名義人(カナ)	英数	40	市町村の口座の口座名義人(カナ)を設定する	
13	振込依頼人コード	コード値	10	銀行が採番した振込依頼人識別のためのコードを設定する	
14	郵便番号	コード値	7	問い合わせ先の郵便番号を設定する	
15	電話番号	英数	15	問い合わせ先の電話番号を設定する	
16	住所(カナ)	英数	75	問い合わせ先の住所(カナ)を設定する	
17	住所(漢字)	漢字	128	問い合わせ先の住所(漢字)を設定する	
18	名称1	漢字	40	問い合わせ先の市区町村名等を設定する	
19	名称2	漢字	40	問い合わせ先の部署名等を設定する	
20	備考	漢字	80	問い合わせ先の備考を設定する	

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

# 高額障害福祉サービス費市町村情報更新結果情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)

高額障害福祉サービス費市町村情報更新結果情報ファイル

高額障害福祉サービス費市町村情報更新結果情報レコード

高額障害福祉サービス費市町村情報更新結果情報レコード

高額障害福祉サービス費市町村情報更新結果情報レコード

高額障害福祉サービス費市町村情報更新結果情報レコード

:

市町村単位で1ファイル

## (6) 高額障害児給付費都道府県等情報更新結果情報 (C341)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B	
2	異動年月日	コード値	8	都道府県等情報の変更等が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	※Y	
3	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	1:新規 2:変更	
4	訂正年月日	コード値	8	都道府県等情報に更新が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	※Y	
5	訂正区分コード	コード値	1	訂正区分コードを設定する	2:修正 3:削除	
6	異動事由	コード値	2	都道府県等情報の異動事由を設定する	01(固定値)	
7	都道府県等番号	コード値	6	市町村番号を設定する	※C	
8	口座情報	金融機関コード	4	市町村の口座の金融機関コードを設定する	※C	
9		金融機関支店コード	3	市町村の口座の金融機関支店コードを設定する	※C	
10		口座種目	1	市町村の口座の口座種目を設定する	※C	
11		口座番号	7	市町村の口座の口座番号を設定する	※C	
12		口座名義人(カナ)	英数	40	市町村の口座の口座名義人(カナ)を設定する	※C
13		振込依頼人コード	コード値	10	銀行が採番した振込依頼人識別のためのコードを設定する	



項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
14	郵便番号	コード値	7	問い合わせ先の郵便番号を設定する	
15	電話番号	英数	15	問い合わせ先の電話番号を設定する	
16	住所(カナ)	英数	75	問い合わせ先の住所(カナ)を設定する	
17	住所(漢字)	漢字	128	問い合わせ先の住所(漢字)を設定する	
18	名称1	漢字	40	問い合わせ先の市区町村名等を設定する	
19	名称2	漢字	40	問い合わせ先の部署名等を設定する	
20	備考	漢字	80	問い合わせ先の備考を設定する	

問い合わせ先情報

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

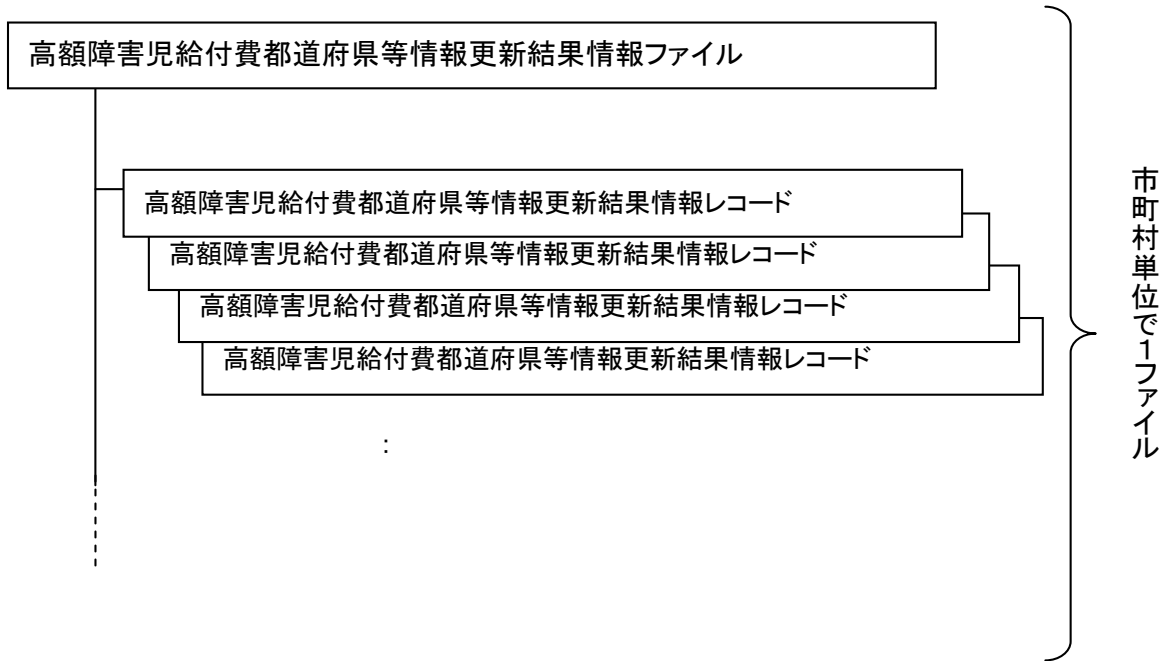
※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

# 高額障害児給付費都道府県等情報更新結果情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



(7) 地域生活支援事業単位数情報更新結果情報 (F351)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B	
2	異動年月日	コード値	8	地域生活支援事業単位数情報に変更等が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	※Y	
3	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	1:新規 2:変更 3:終了	
4	訂正年月日	コード値	8	地域生活支援事業単位数情報に訂正が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	※Y	
5	訂正区分コード	コード値	1	訂正区分コードを設定する	2:修正 3:削除	
6	異動事由	コード値	2	地域生活支援事業単位数情報の異動事由を設定する	01(固定値)	
7	市町村番号	コード値	6	市町村番号を設定する	※C	
8	決定情報	決定サービスコード	コード値	6	支給決定用のサービスコード(上2桁サービス種類部、下4桁サービス項目部)を設定する	※C
9		決定サービス名称略称	漢字	50	支給決定用のサービス名称略称を設定する	
10		決定支給量換算単位	数値	8	サービス提供回数1回当たりの支給量(上6桁整数部、下2桁小数部)を設定する	
11	請求情報	請求サービスコード	コード値	6	請求用のサービスコード(上2桁サービス種類部、下4桁サービス項目部)を設定する	
12		請求サービス名称略称	漢字	50	請求用のサービス名称略称を設定する	
13		請求合成単位数	数値	6	請求用サービスコードに対する合成単位数を設定する	
14		算定単位区分	コード値	2	請求算定を行う単位区分を設定する	※C
15	有効期間(開始年月日)	コード値	8	サービスコードの有効期間が開始する年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※Y	
16	有効期間(終了年月日)	コード値	8	サービスコードの有効期間が終了する年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※Y	
17	利用者負担率/定額情報	利用者負担定率/定額区分	コード値	1	利用者負担を定率か定額にするための区分を設定する	1:定率 2:定額
18		給付率	数値	3	定率の場合に給付率を設定する(90~100の値を設定)	
19		利用者負担額	数値	6	定額の場合に利用者負担額を設定する	

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

## 地域生活支援事業単位数情報更新結果情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)

地域生活支援事業単位数情報更新結果情報ファイル

地域生活支援事業単位数情報更新結果情報レコード

地域生活支援事業単位数情報更新結果情報レコード

地域生活支援事業単位数情報更新結果情報レコード

地域生活支援事業単位数情報更新結果情報レコード

:

市町村単位で1ファイル

1. 3. 4 国保連合会台帳情報（出力情報）

（1）地域生活支援事業受給者台帳情報（基本情報）（F411）

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	交換情報識別番号		英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	異動年月日		コード値	8	受給者台帳情報(基本情報)に変更等が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	※Y
3	異動区分コード		コード値	1	異動区分コードを設定する	1:新規 2:変更 3:終了
4	訂正年月日		コード値	8	受給者台帳情報(基本情報)に訂正が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	※Y
5	訂正区分コード		コード値	1	訂正区分コードを設定する	2:修正 3:削除
6	異動事由		コード値	2	受給者台帳情報(基本情報)の異動事由を設定する	※C
7	証記載市町村番号		コード値	6	受給者証記載の市町村番号を設定する	※C
8	政令市市町村番号		コード値	6	政令市が受給者を行政区で分けて管理する場合のみ政令市の市町村番号を設定する	※C
9	受給者証番号		英数	10	受給者証番号を設定する	※C
10	障害区分コード		コード値	2	障害区分コードを設定する	※C
11	受給者 情報	受給者氏名(カナ)	英数	25	受給者氏名カナを設定する	
12		生年月日	コード値	8	生年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※Y
13	児童 情報	児童氏名(カナ)	英数	25	児童氏名カナを設定する	
14		生年月日	コード値	8	生年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※Y

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

(2) 地域生活支援事業受給者台帳情報(支給決定情報)(F421)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	異動年月日	コード値	8	受給者異動連絡票情報(支給決定情報)に変更等が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	※Y
3	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	1:新規 2:変更 3:終了
4	訂正年月日	コード値	8	受給者異動連絡票情報(支給決定情報)に訂正が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	※Y
5	訂正区分コード	コード値	1	訂正区分コードを設定する	2:修正 3:削除
6	異動事由	コード値	2	受給者異動連絡票情報(支給決定情報)の異動事由を設定する	※C
7	証記載市町村番号	コード値	6	受給者証記載の市町村番号を設定する	※C
8	政令市市町村番号	コード値	6	政令市が受給者を行政区で分けて管理する場合のみ政令市の市町村番号を設定する	※C
9	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	※C
10	決定サービスコード	コード値	6	決定したサービスのコード(上2桁サービス種類部、下4桁サービス項目部)を設定する	※C
11	決定支給量	数値	8	決定した支給量(上6桁整数部、下2桁小数部)を設定する	
12	支給量単位区分	コード値	1	決定した支給量の単位区分を設定する	※C
13	決定支給期間(開始年月日)	コード値	8	決定サービスの有効期間の開始年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※Y
14	決定支給期間(終了年月日)	コード値	8	決定サービスの有効期間の終了年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※Y

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

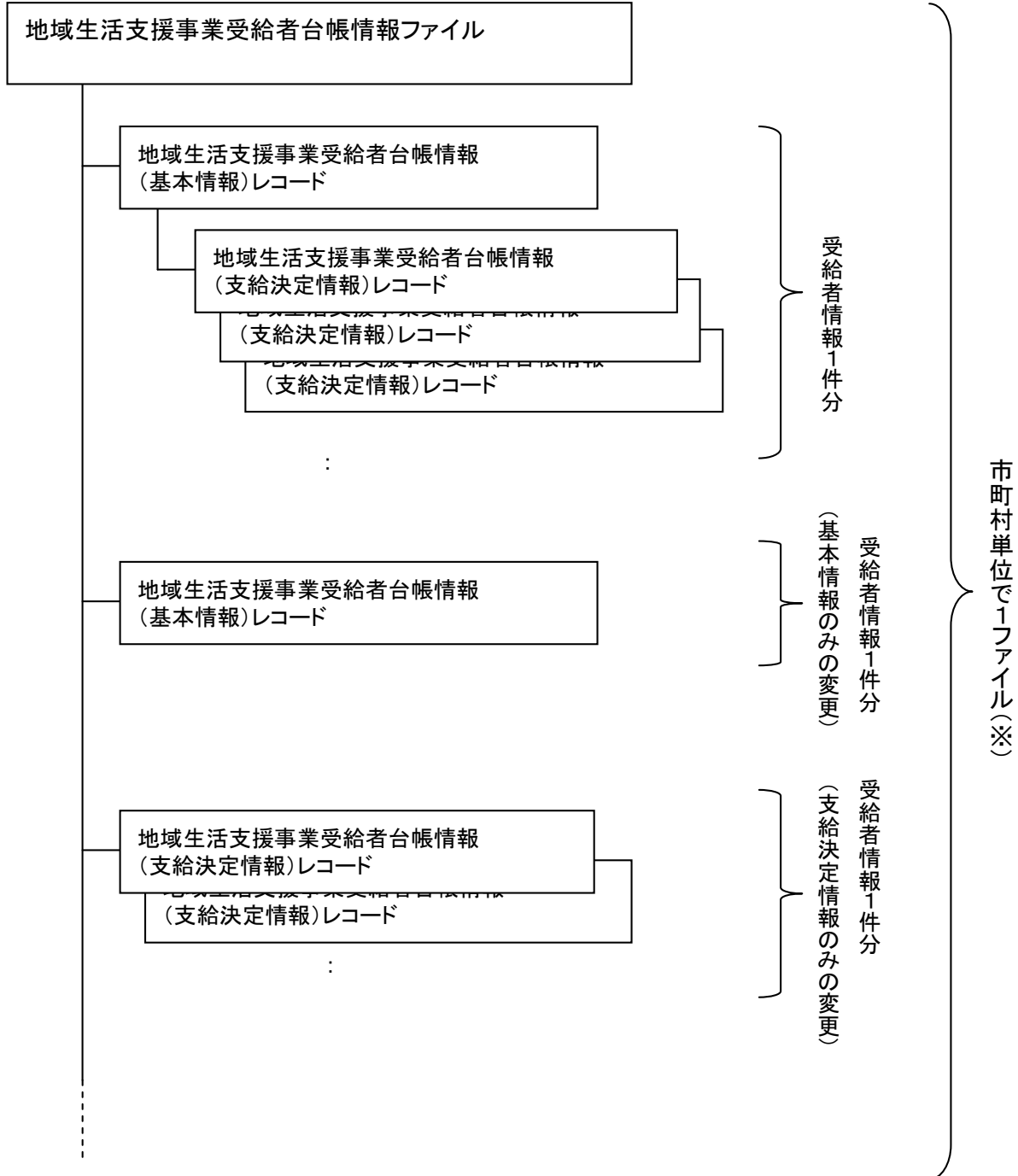
※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

# 地域生活支援事業受給者台帳情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



※政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、政令市単位で1ファイルとする

## (3) 高額障害福祉サービス費世帯等台帳情報 (F431)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B	
2	異動年月日	コード値	8	世帯等台帳情報に変更等が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	※Y	
3	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	1:新規 2:変更	
4	訂正年月日	コード値	8	世帯等台帳情報に訂正が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	※Y	
5	訂正区分コード	コード値	1	訂正区分コードを設定する	2:修正 3:削除	
6	異動事由	コード値	2	世帯等台帳情報の異動事由を設定する	※C	
7	証記載市町村番号	コード値	6	受給者証記載の市町村番号を設定する	※C	
8	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	※C	
9	受給者情報	受給者氏名 (漢字)	漢字	40	受給者氏名(漢字)を設定する	
10		郵便番号	コード値	7	受給者の郵便番号を設定する	
11		住所(カナ)	英数	75	受給者の住所(カナ)を設定する	
12		住所(漢字)	漢字	128	受給者の住所(漢字)を設定する	
13		電話番号	英数	15	受給者の電話番号を設定する	
14	児童氏名(漢字)	漢字	40	児童氏名(漢字)を設定する		



項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
15	世帯集約番号	英数	10	世帯集約番号を設定する		
16	特例世帯有無	コード値	1	特例世帯の有無を設定する		
17	世帯算定所得区分	英数	2	世帯基準となる所得区分コードを設定する	※C	
18	世帯算定基準額	数値	6	高額障害福祉サービス費の算定基準額を設定する		
19	介護 保険 情報	保険者番号	コード値	6	介護保険の保険者番号を設定する(介護保険情報との世帯合算に使用)	
20		被保険者番号	英数	10	介護保険の被保険者番号を設定する(介護保険情報との世帯合算に使用)	
21	支給申請書出力の有無	コード値	1	支給申請書出力の有無を設定する	1:出力無し 2:一覧のみ 3:出力有り	
22	帳票出力順序コード	英数	3	市町村コード等の任意のコードを設定する(帳票出力のソートで使用する)		

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

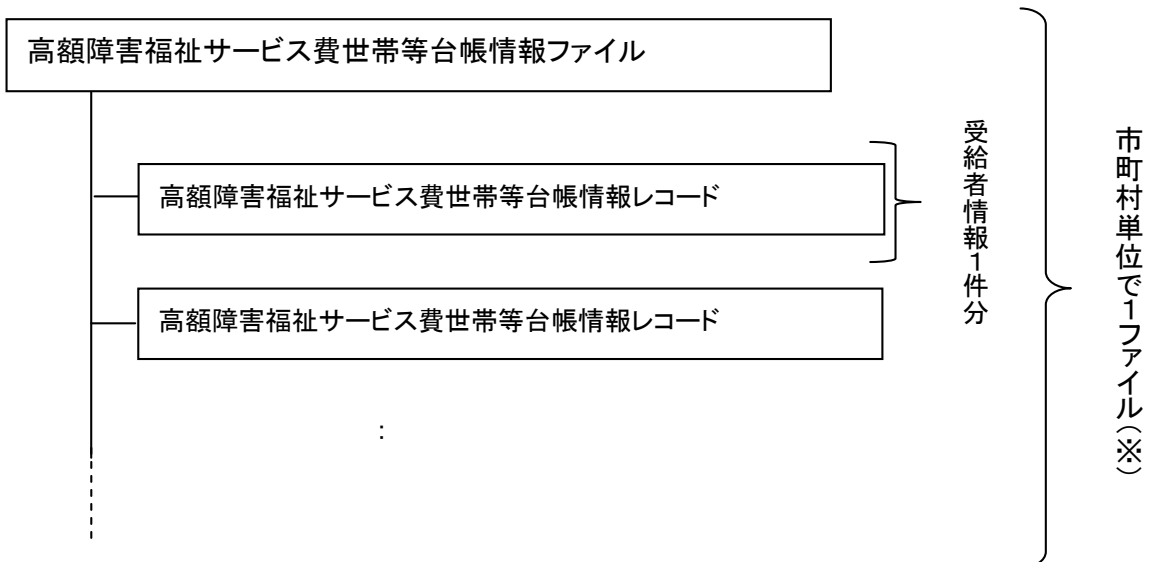
※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

## 高額障害福祉サービス費世帯等台帳情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



※政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、政令市単位で1ファイルとする

## (4) 高額障害児給付費世帯等台帳情報 (C431)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B	
2	異動年月日	コード値	8	世帯等台帳情報に変更等が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	※Y	
3	異動区分コード	コード値	1	異動区分コードを設定する	1:新規 2:変更	
4	訂正年月日	コード値	8	世帯等台帳情報に更新が生じた年月(西暦年月(YYYYMM))と連番(異動順)を設定する	※Y	
5	訂正区分コード	コード値	1	訂正区分コードを設定する	2:修正 3:削除	
6	異動事由	コード値	2	世帯等台帳情報の異動事由を設定する	※C	
7	証記載都道府県等番号	コード値	6	受給者証記載の市町村番号を設定する	※C	
8	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	※C	
9	受給者情報	受給者氏名(漢字)	漢字	40	受給者氏名(漢字)を設定する	
10		郵便番号	コード値	7	受給者の郵便番号を設定する	
11		住所(カナ)	英数	75	受給者の住所(カナ)を設定する	
12		住所(漢字)	漢字	128	受給者の住所(漢字)を設定する	
13		電話番号	英数	15	受給者の電話番号を設定する	
14	児童氏名(漢字)	漢字	40	児童氏名(漢字)を設定する		